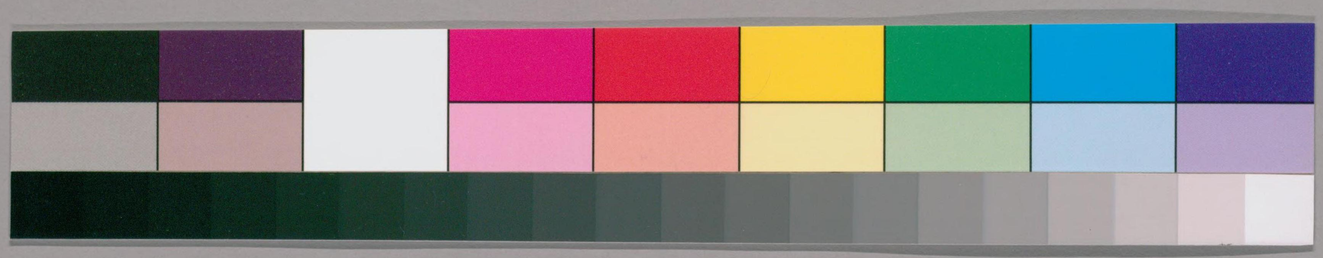
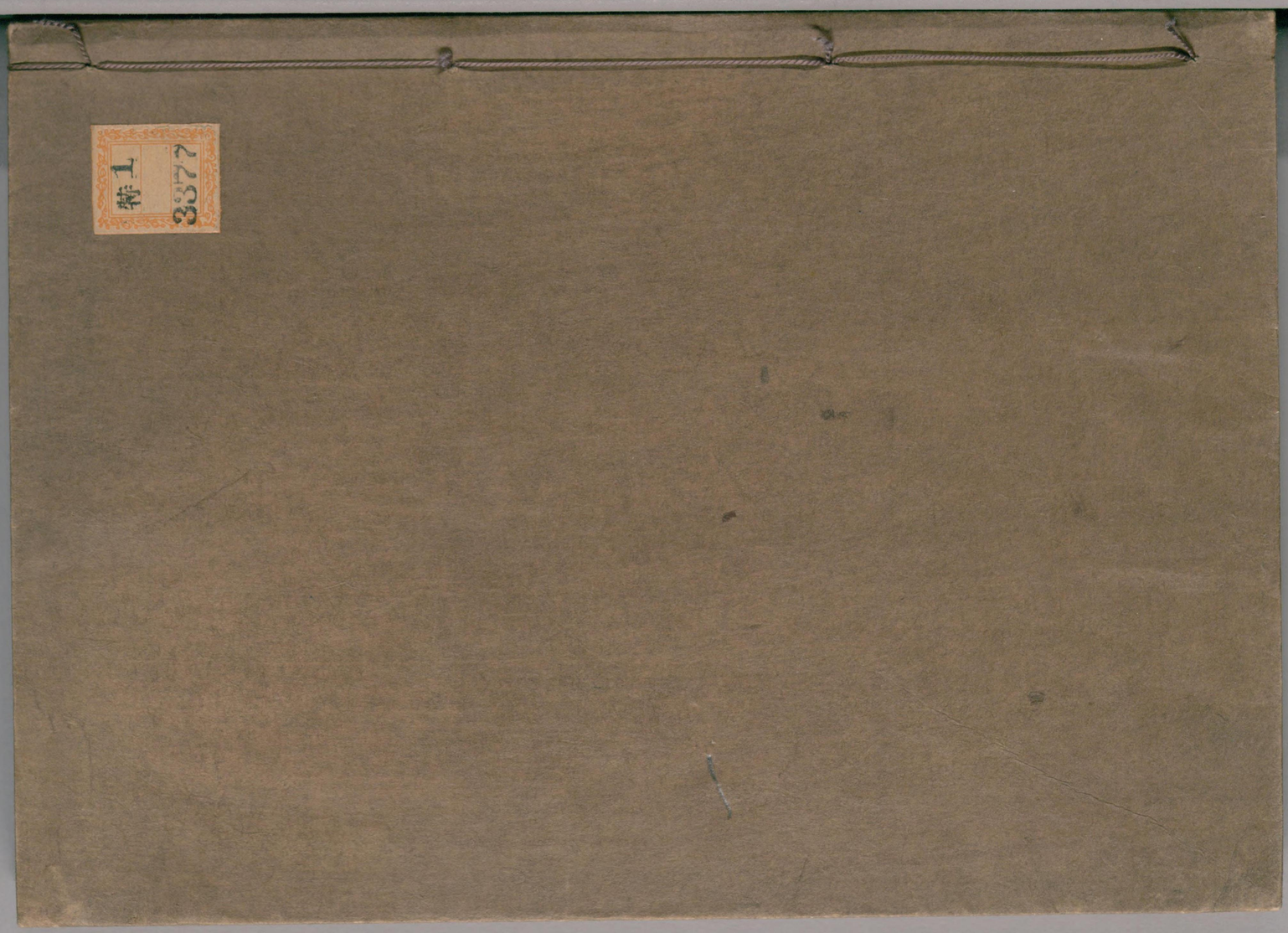



特1
3377

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377

特1-3377

藥性歌浅井氏筆記

第一

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377

ガラス使用

威靈 廿九　茵蔯 七八　羚羊藿 十二
鹿茸 四二　麥芽 六二　麥門 十二　漏蘆 卒
半夏 廿二　貝母 十九　苧硝 辛　防風
白礬 二廿　白鮮　巴豆　防己 四五
硼砂 四二　冬二　肉桂 五四　栝子
壯丹 四平　壯蝎 二廿八　蒲黃 六八
蒿蓍 五二　鼈甲 八九　杜仲 二廿七　破故紙 二五
檳榔 二一　沈香 五三　丁香 五三　獨活 廿五
陳皮 廿九　豬苓 廿五　地骨皮 廿八　知母 十八
貝齒 二廿　地榆 四五　地膚子 九三
玲珠 二四　竹茹 二九

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

竹葉 五九 竹瀝 五九 茶茗 六五
龍膽 四三 龍骨 二四 龍腦 四五
遠志 四四 黃芪 四 黃連 十三
黃精 三二 香附 廿六 香薷 四四
甘松 四九 乾姜 五 蓽茇 廿六
何首烏 三三 訶子 五九 海鰾鮹 九十
莪朮 六六 粳米
大黃 四九 大戟 六三 桃仁 六九
連翹 十六 蓮肉 六七 羚角 八七
靈砂 四四 慈白 六二 續斷 二四

薏苡 五七 龍眼 二五七
硫黃 二四五 雄黃 二四九
黃芩 十四 黃檗 十五 良姜 六十
甘艸 七 甘遂 六三
葛根 廿三 艾葉 六一
乾漆 六七 海藻 六四
當歸 八 大黃 十九
澤瀉 廿六 澤蘭 二三
練根 二一 練子 二六
蘇子 六三 蘇木 六九

豆豉 二六七 南星 廿七 瓦楽 廿七
枯蓼仁 四四 藿香 廿二 蠶麦 六五
枸杞 二三十 槐花 七六 款冬花 八二
益智 九四 益母 九二 麻黃 廿三
荊芥 決明子 六六 玄參 四六
牙皂 二二 玄明粉 二九
茯苓 六 茯神 四六 浮麥
牛膝 二廿七 牛黃 二五十 牛房 七七
胡巴 胡桃 二六三 五味 二三三
五倍 二六 琥珀 二九十 延胡 九七
烏梅 八四 奴汁 鰾金 六九
苦參 四三 苦楝
滑石 十八 瓜蒂 二三
麻仁 蔓荊 六
葶苧 六五 芫花 六三
附子 五一 腹皮 廿三
厚朴 廿七 吳茱 九七
虎骨 胡黃連 二廿五
五靈脂 六七 五加皮 四三
天門 七三 天麻 七一

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

天花 八四　天靈蓋 二罕　釣藤 二九　萱草根 六五
阿膠 二罕　鼈甲 罕　山梔 廿三　紫胡 二十
山茱 廿　山查 六　豈根 九二　細辛 卌
草蔻 九　蒼朮 三十　皂刺 三稜 六六　酸棗 罕
車肉 二七　犀角 八六　車皮 八三　枳殼 廿七　杏仁 八三
桔梗 廿三　羌活 廿五　菊花 八五　金銀花 十
薑黃 六　寄生 三九　龜甲 八　金沸草 八三　紫苑 八二
密蒙 八五　紫蘇 廿二　秦艽 八十　赤芍 十三　車前 廿七　生地 十二
砂仁 五四　熟地 十三　梔子 十五　青皮 九　升麻 二十一　生姜 二九

神麯 六二　萵苣 六四　菖蒲 罕　常山 十　朱砂 二四
蛇床 七二　蒺藜 七十　史君 廿六　赤脂 二廿　鹿茸 二罕
白朮 五　白芨 十　白附子 七三　白芷 廿五　白蔻 廿
白芨 七十　白前 七三　百合 七九　檳郎 廿三　白芥 六三
枇杷 二七　木瓜 廿八　木香 五三　木鱉 七五　草解 九
木通 廿六　沒藥 二罕　川烏 五二　木賊 八六　川芎 九
石斛 二五　石決明 二十一　小茴 罕　石膏 十七　前胡 十一
蟬退 七三　青黛 廿七　穿山甲 二九　全蝎 七三
冰銀 二四　升麻 四　畢澄茄 五四　肉蔻 五八　水蛭 二七
蛇退 七六　蛇蛻 七四　雞仁 二五

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

花蛇七五　蛇退七六　瓜蒌
蕪荑二三　雷丸二三　胡麻二四　苍
蒼耳二四　青葙二五　紫威九三
穀精二五　白薇二五　白蘞二五　青
青蒿二六　葶藶二六　萹蓄二七
木蘗二七　木律二七　鬼箭二七　射
卷柏二九　馬鞭二九　鶴虱二九　白
慈姑二九　榆皮二九　萩蒿二十　葵
續髓二十　海桐二十　石南二十一　黑
側柏二十一　厄塾二十一　桜樹二十一　冬
覆盆二十三　合歓二十三　金櫻子二十三　楮
沒食子二十四　密陀僧二十五　伏竜肝二十五　石灰二十五

○薬性歌　性トハ前ニ通リ寒熱温涼平ヲモイヒリケレ氏此左ニ非ス此薬性トニハ氣味性情ヲ兼タル所ヲイヒリ歌トハ詩ハトンド人ノ生質一体ノスカヲヲ云ソレヲめテ薬ノ一体ノ所ヲイヒリ歌トハ詩トニ意ヲ韻字ヲ押テニト覚ヨキ故ニめ此レタモノ故テ此歌ハ余程能出来タモノテ偖カ十六字ノ中ニ大抵コメテアルナリナレ氏是テ尽ルニハ非ス今日是ハ只是丈ケノコヲ覚テ居ル為ニレタモノテ且テ此謀スル為ニハ非ス今日薬性歌トニモノハ只是丈ケノコヲ覚テ居レハ薬性歌ノ本意ニモノヲ是ヲ説ソニモノハ譬ハ人参ノ下ニ於テ色ト語説ヲニトニモノハソノ人参ニ付テノコヲ何モ是ニアツカルコニ非ルナリ然レ氏兎角是ヲ語テ暗誦シテ語家ノ綱目ヨリ色々本

草ヲ讀ス皆此ノ十六字ノ中（入、様ニルカ第一ノコシ人参功ナラ
バ此ニ何トアルハ是レ甘草性歌ノ中ニ大補元気ハ中ヨリ出ダトニ根ニコ
ノ中ノ句（ツニシテ入、根ニルカヨキナリ究角書ヲ語ニハ博ト約ニカ
第一ノコテ博（モノヲ讀ス約ルヲ知リ約タモノヲ語スハ是ヲ博
メルト如何ニコヲセンカ第一ノコソ諸書ノ注ニ博約ノ二ツハ離レヌコソ
○扨又此ノ薬ニ味甘ニ性溫ニ或ハ何モ性味ノミカアリ或ハ甘溫ト
ニ根ニ性味共ニ出シテアルモアリ是ハ必竟此ノ前ヲ押タモノ故ニソノ
語路ノ通ヒヨキ根ニニタモノテ何モ此ニ深キ意味モナキト見ルナ
リ○且又備用中頭書ニ十劑ノコヤ一味中ノツニシヲ辞松カ出テ
居ルアレハ陰ヨリ出ル薬タモノニテ手近ニ覚ルニハ甚ヨキナリ陰ヲ

乙

人參味甘
大補元氣
上渴生津
調營類衛

可採用

○人參味甘ニ云　性溫ナルモノテ扨テ此ニ例ヲニコカアル此ノ性
味モ古人薬ニ人ニ遠テコカアル是ハ何テモ穏ナル沖和ノ説ヲ擇取
用ルカヨキナリ性ヒモモラレヌモノ味ハ陰ヲ心ヲ用ルト出ルモノナレ
ド容易ニコノアラ（テハ知レヌコソ是モ嘗テ見ルニ甘（モノヲ本草ニハ
辛（ト云ルコガアルソレヨリステ浸リ抔トニテ大ナル誤リトニモノテ全ク
我ニカ嘗テ甘（ト思カンレカ甘（ト斗リニモノニ非ルナリ是ヲ能心得ル
ヨキナリ扨テ氣ニカヒテ大切モノテ本草ニハ味ヨリシテ立タモ
ノ此ノ氣味ノ説ハ内經ニ出テアルナリアレテ大抵思過半ルモノテ人
參ノ甘溫ナルモノテ甘ハ何テモ不上不下シテ真中ニモツトヒ味ナリ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

故ニ經ニ甘令ニ人中滿トアルモ中ニモツ味故ソレゾ溫ニシ寒熱ノ中ノ
ナリソコノ人參ノ和トニテハ當テ脾胃ヘ入ルコトカモアレル甘ハ
中ニモツ味故ニ脾胃ヘ入ルコトカモアレル且ツ甘ハ脾ヲウツモノ溫ニテ溫
養トニテ養ノ意ガアルシ脾胃ハ寒モ熱モ共ニ嫌フモノテ冲和ノ好ク
トニテソ寒熱ノ中ノ溫トニテソ好ク溫陽気ヲ補フソコテ甘溫トニテ
胃中ニ入テ秋気ヲ補フトニテハ知ルルナリソコテ氣味トニカ大切ナモノゾ
扨テ第ノ中ニハ本末トニカアル所謂大小主客本末ノ中ノ本末ナリソコテ
此歌ハ格別難ケ等テ此ノ十六字ノ中ノ本トホトノ初ヲ挙テアルシ
ソコテ此ヲ能ヒルト綱目ヲ讀ニモ皆此ノ中ヨリ外ノコハナ(キ)リ先ツ補
元氣ト是カ本ノ主ナル切ト云モノゾ補ハ何テモ我リ不足ヲヤフレテ益

元気ヲ胃ノ秋気トサスニハ故アルナリ

スナリ元氣トニハ直ニ胃中ノ秋氣ノコテソ陽氣オサレノコテナリ
大ニ補(ヤフスモノトニテ是テ尽テ居ル心扨テソ秋氣トニハ何ソ
モノトニニ此ノ陽気トニニハ湯氣ノ中ニツユヲ含テ居ツユノ中ニ陽気ノ中ニ
ツユヲ含テ居陽氣ノ中ニツユ水気ヲモツテ居ル気ノコテ毎度ニ陽気津
液トニカ此ノコト心仲景ノ亡津液亡陽トニハルハ皆此ノ湯氣ニ水気ヲ含ハ
陽気ノコトオホナリソコテ此ノ陽氣ノ補ハ
ヤフスモノ故ニ乾ヲ陽気テ氣トニコト見セン為ニ生津トニテ水ニシタ陽
氣ヲ生スルナリ且又氣斗リヲ補フテ氣イトニハ
コヲ見セン為ニ調榮トニテ營氣ノアチコチ行渡ラス所ハ程能行届カセ
ルヲ調伝又水氣中リ補テナイトニコヲ見セン為ニ養衛トニテリソ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

テ元氣トニハ即胃中ノ陽氣ニ
而ノ末テニ大補元氣生津止渇腹内ノ自ニ見（又所ニ
モノナリソコテ胶内テ津液陽気ヲ
トニ至ルナリ○扨テ大補元気ヲ
トナレハ汗気ヲ補フトニハ附子モ
ナリソレデハワカラヌナリ故ニ人参ノ陽気トニハシメリタル湯気ノ
指テニフトモワヌトナラヌナリ附
テ乳タモノソコテ警式モ水ヲ
タモノソ結句ニツユヤリニ非ス
トニナリ故ニ人参ノツメタ効ハ胃中ノ陽気ノ本手ヲツケルトニモノ

ナリ是ヨリ外ニハモイコソ人参
ラヌモノソ又一茅巻レキ所テハ
テ至テワカレモノ故ニ寒ニモ
ノカレタヒレタル外ヲ養育テ
トナルキハ参附ト組ノ附テ寒ヲ
熱盛ニナルニハ参連ト組テ連ト
真中ニ入リテ胃中陽氣ノ元手引タテ補フモナリ扨テ又
火ヲ退ケルトモコガアル是ハ東垣ノ湯ヲレタ処テ陽氣カ
ト火モルノ火ヲトルナリ然ヲ腎陰虚火動ノ火ニ用ルト如
殺人此ノ所能ク心ヲテ居ルヤコソ○去ル芦ハ吐サスルモノソ人参

ハ朝鮮カ尤モ上品ナリ大補元気ハ実ニ朝鮮ニ限リタルニアラズ然レドモ價ツトクシテ難得代之ニハ御種人参カヨキナリ尤モ土地故ニ因テ欠甚劣ルナリソノ次ハ廣東人参ナリ是ハ西ノ方ヨキシ婦人トニ格ナシヨキナリ又朝鮮参緊ニ是モヨキシ亦難得故ニ唐人参ノ緊カヨキナリ並ニ是又多ク沢山ニハ液ラスモノゾ又参葉トニテ葉モ随分カルイ妓ノ時フリ〳〵スル時清暑益気扨又用ユルカヨキナリ人参ノ切ノ色テ粧キ物ニ用ユルモノゾ又直根人参アリ是ハ純テ別種ニシテ味モ苦ク寒ナモノテ瀉剤ナリ近来ハ何トリ遠タルヲカ古方家ニハ用ユル淡竹筎トニテ黄連粽実トニ格ナル(用ユル薬ナリ

黄蓍性温

○黄蓍性温〳〵是モ味甘モノテ脾胃ヲ入ルヲハ見ユナリ時ニ

収汗固表
托瘡生肌
気虚莫少

此ヨリ次ニ三十味ノ中トニモノガ至テ大切ノモノニテハタラキ力廣ナリ是ハ所謂君子不器テ此等ハ上品ノ薬故ニ何ニモナルナリ故ニ廣ヘコゾ先ツ是モ性温テ胃中ノ陽気ヲ補フモノニシテ固表ニカ本ナリ胃中ノ陰ニモノ上ヘ外ヘト出シテ温張ラセテ固メルトニカ持前ノ功ナリ故ニ止汗シ表ノ陽気ヲふさスルト汗出ルナリソレヨリ胃中ノ陽気ヲ表ヘ満セテ固メ粧ニスルニ毛ハ内ヨリ推出スルテ膿ヲ為ハ膿ヲ張出シ未膿ハ毒ヲ張出ス何テモ外ノ方ヘ張出シテ内ノ方ヘ入ラヌ又托ニ内陥セヌ托ニスルモノニシテ生肌トハ瘡後ホハ肌肉カワルノ里ノナトナルモノソレヨリテ好肉ニスルニ表ヘ外気ヲ張セル故ニ生肌トニテ此ノ本ハ固表気虚トニアルナリヨセルト表ノ気ヲオヲ固ムトニナリテ気ノツマル処ハ胃中ノ陰気ヲ

白朮甘温
健脾強胃
止浮除湿
為殿痰痞

ツト表ノ方ヘ張出サセ充セルトイモノ故ニ参苓ト組ト胃中ヨリ表迄ノ次気ヲ補フ一身中皮ト肉筋骨トノ四ツナリソ中皮肉ハ陽ニ気ヲ筋骨ハ陰ニ血ヲシソコニ黄芪ハ肌肉表ノ陽ヲ主切ルモノニ〇赤芍ニ防風ハ組ヲ切断大ナリ和ルハ防風ハ表ノ風邪ヲ取ルモノニ表ニ風邪カアルト陽気カ行リ兎ルモノソコニ防芪ト組ニ行ト表邪ヲトリ陽ヲ行ラストイモノカラ切弥大ナル箸ノモノゾ〇綿木ノ二種アリ固表ノ切ハ唐黄芪ニアルコゾ箭幹ハヤガラノコトニツ直ナルモノニゾ

〇白朮甘温ニシテ昼モ甘温トイヘハ胃中ニ行クトキハ苦トナルノデソレ丈遠リ健トハ健固ニテサモ弱ニノ無ク達者ニ手丈夫ナル丁強モ丈夫ニスルト脾胃ヲ手丈夫ニ達者スルモノゾ脾胃ヲ達者ニナルト水穀ヲ能ク消化シテ栄衛血気トナルカラ得ル脾ハ磨食ニテ水素ヲ磨スルモノゾ然ルニ弱クナルト水素ヲ消化シテ運ラスコトカナラヌアトニ餘リノアルモノカ出ルトソレカタメリテ下ニテルソノ運リヲ能ク故ニ下リハ止ノ箸ノゾ苦トニ味テ温ヲカワカスト脾ハ薬白朮ナモノテ薬白ニ水穀アルト物ヲ引コナスコトハ出来スソレカ出来ルト挽消スルコトカ出来スソレヨリ苦テ乾シ痰トモ脾胃次第ニ運ラストキハ痰ニテ殿ルトハトリノケルコトナリ脾胃ノ湿気ヲトリテ運リヲ能クスルモノナリ〇麦芽油ー油カ麦ノモノ炒リテトルナリ米油ニ浸ス米油ハ脾胃オクソロケルモノニ製法ノ一端ヲ示ス

茯苓味淡　滲瀉利竅　白化痰涎　赤通水道

○茯苓味淡ニシテ淡ハ甘ノ薄味ニテ胃ニ入ルト知ルベシ内経ニ辛甘發散為陽淡味滲泄為陰トニアリテ是ハ淡ノ味ナリ性ハ辛トニモノニテ温涼寒ニカタヨラヌモノ是又脾胃ニ入ルノ証ナリソコテ淡平皆脾胃ニ入ルナリ湿ハ水気ノ凝テ滞テ腐肉ルヲニナリ淡トハイカキニ水ヲ入テ泄ス格ニテ引テトルコトソノ湿ヲ滲シ泄スケレモソノ湿ハ泄出スアテカナケレハナラヌソノ竅ヲ利スルヲ竅ト云モノニテ此ノ竅ハ勿論毛竅疎通ス処ヲ利真ノ利トニモノハ何ヲスルモノトニ湯氣津液ノ通ヌ処ヲ利スルトニヨリ外ニ無モノソ扱モトオリノヨキコトシ茯苓抔ト云モノハ何モ水湿ヲ破ル祛ノ切ハ無モノテ利トニカ右ノコトテ自ラモトオリ付テ通シ利スルトニヨリ外ニ無モノソ扱又此ニ赤白ノ二種アリテ白ハ皐モ高ク上陽ヲ入リテ痰涎ヲ化スルナリ

化トハ今迄ノ形ヲカヘテ変スルナリ赤ハ何カナシニ水通シテヤ半行スルモノニ本文ノ苓ノ本功トニハ白ニアルコトソ白ハ補ナカラ通ズルモノソ是モ白朮モ脾胃ヲ補運ラス二進食トアリ茯苓モ補運ラス利竅トアルハ如何トナラハ朮ハ脾胃ヲ磨スルモノテ茯ハ脾胃ノ白ヲニテヤル根ナモノナリ脾胃永カアルト物ハヒキ磨スルコトカナラヌ白ニ水気カ根ナモノテソノ水ヲトラヌト磨セヌソノ水ヲトルカ茯苓ノ故ニ利竅トアルソノヒキ二ハスモノハ朮ナリソノ索ヲヒキ二ワシ磨運スル故ニ食ハ進ノ苓ノ又茯苓ノ温ヲトルハ外ノ温ヲトルトハ違テ此ノ温ハ脾胃ニツクリトフサカリテ居ル才取カ切リ脾胃ノ気ニテ居ルトニ根ナル陰気ヲトルモノテソノ処ヲ陽気ヲカニ助テヤル故ニ陰

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

甘草甘温
調和諸薬
灸則温中
生則瀉火

気ノクモリアツマリテ居ヲヒトルノ候ナリ全体湿モ陽気ヲカヽヘ助ルテ為スモノゾソノ證ニハ千年ニテトト琥珀トイヘルモノニテ心肝ノ陽気ノ鎮メ補フモノニテナリ

○甘草甘温ニシテ甘味ニ松トイヘルモノハ色ヲ切ノ膚ノモノニテ土ヲ尽ステモノナラヌモノ心ヲ指ニ此ニ松ノ殊ノ外能ニテアル誠ニ尽テ居ルナリ調トハ二ヨニテナリ物ノ能入ル合ヲ和ノ臨暁中ヘ入リテ両方能言ヲヒヤワラゲルテニツアルモノヲ一ツモノヽ様ニスルテナリ諸薬トイヘルモノハ色々ノ寒ルモノヲ各ソ切ヲ為サス心松ニテヤワラゲルモノナリ又甘緩中ニテ緩メルモノニテ何テモ上中内外邪正ノ急迫ナルモノハ皆緩フスルモノナリ且又諸薬中ノ甘ヒ土ノ味テ然ラハ先土ノ純粋ノ湯タル物ナルニヨリテ切ノカワルコソ灸ルト温中トハ中ト脾胃ノコトソ倩又製法ニ肉リ

茯テ陰気ヲ補テ木ヲ運磨スルトキモノジヤガラヨキ筈ノ二四君子湯ニ附テハ意味ノアルコトゾ

○當歸性温ニシテ是ヨリ血ノ薬ノ四物湯ノ意味合ノ薬ヲ語テアルヤリ當歸ハ甘ヲ辛温トニモノニテ是ハ正シクソゴニ生血ニモノカアルユヘ心祇モノ故ニ生血トニヨリ心ハ何ヲ臭ニ喜フトニ血ニモノカアルユヘ心祇ニ自ラ臭テ居ルフヤスモノカラ補心ト云モノニナリ扶益スルコトヲ扶ハ世話ヲシテ久ケ力ナヒ即チ心ノ虚損血ノ虚損ヲ扶益スルコトヲリテ居ルコト滞リ溜ル血ヲ逐新カテヤルコト逐瘀ニ血ノ流ヌトニヨリテ滞リ溜ル血ヲ逐新シキ血ヲ生ズルヲ逐瘀トニテハ水蛭蚤虫抔ト同ジ効ノ様ニキコユルユヘニ異ナル所ヲ見ニ為ニ生新ニヨリ蛭蚤ハ瘀血ヲ破テ仕舞モノ當

歸トニモノハ牧シキ血カ出来ニ瘀血ハトレルコトゾ是レカ潤燥ニテヨリヨウツ裕ナ切カアルヨリ脾胃カ乾リ陽氣カ生セヌナリソノ乾タルオシメリヲウツ裕ニ潤シ血ヲ生スルモノナリ故ニ潤燥ト云テカアルシ又地黄ハ血ヲ補フトハ違ヒ地黄ハ陰ヲ最初カラ手ニスルモノ此當歸ハ陽氣ヲ手ニスルモノテ胃中ノ陽氣ヲ補フモノユヘ血中ノ氣薬ニヨリ運血補氣ノモノテ面白モノゾ

○川芎味温ニシテ是ハ味ハ辛ク薫リ辛温ノモノヨリ是ヒ宣剤ノ中テ宣トニハ何ナルコトゾトナラハ發スル揚ル陳ル散ストニ抗ナモノカ宣トニモノテ辛温トニモノテ亢ニ滞ラスハツト散ラシ發スルトニモノゾ外ヘ浮ニ上ノ方ヘ升リ上下ヘ浮散スル抗ニスルモノヨリ疾痛

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

ヲ止ル抔ニテハ殆ンド格ナルニ〳〵書ヌテモヨキコトナレモ実ニ痛
白コトテ故アルコトナリ頭痛モ色〻アルナリ先ツ何テモ頭ハ陽ノ
會トモアリテ頭程陽氣ノ盛ナルモノハ皆ナリ陽氣ノ上外ニ泄ル
ルカアタリノモノ此泄ル氣カ陰寒ノ為ニ閉ラレテ腎レコモルト
頭ニナルナリソコテ陽気ヲ閉ルモノニ色〻ノ病モ寒モ湿モ毒モ
種〻アルニ攻手ニハカワルケレモ閉ル時ハ何テモ陰寒ニモノゾ此ノ
芎ハ辛温テ発揚散布ノ氣カアルニ故ニ閉テ居ヲウチヤブル故ニキ
〳〵キ筈ノコト急ノ頭痛氣ヲモシヲレメテ腎レコモルトノ頭痛ニナ
ルナリ扨又新シキ血ヲ生シ養フモノハ當帰ト同シキ抔ナルニ
ニソノ異ナルヲ見セン為ニ閉腎上行トイヘリ此ノ閉腎トハ眼テ腎

ト云ハ腎陳トニテ血ノ中ニ腎レコモリカゾテ居ル古ビタ抔ニナル氣ヲ
ト散シテ開トニモノニテ気ハ上〳〵立ヘルナリ第トニモノハ上〳〵外ヘ當
リ〻イノコラ全体第ノ補ヘ扶ル効ハニモノテ血ノ運ラスモノナリ
故ニ氣中血氣ニテ血ノ氣ニテ血ノ氣ノコトモリ腎レテ居ルヲハツトウチヤブル
モノテ血ノ運ラスモノハ氣カ行ラスト血ノ行ラスモノテ何程當帰カ血ヲ抜テモ甚ク行ラス経脈ニアルト用ユルソコテ
ソ氣ノ行ラスカ川芎ノ血中ニ結ンテ居ル氣ノ行ラスカ川芎ノ
モノテヨレ芎抔トニケレモ効ハ大ニ遅モノゾ當帰ハ血ノ血ヲ補フモノ
芎ハ氣ノ結レテ居ヲトリテヤルモノソコテ芎帰用ヲ互為テナリ
此ウラカ木参ナリ木ハ陽氣ヲ運ラレテヤルモノ茯ハ氣ノ水

白芍酸寒
能收能補
瀉痢腹疼
虚寒勿與

カアルト氣カ連ロトレテモ運レヌモノソコテ荅テソ水ソトル立ニ木テ吹氣ヲ運ラスコカナシ立ニ荅木切ヲお為ス芍ハ氣テ無形ノモノ故ニ開骨上行トニテ上ヘ行キ荅ハ有形テ水濕立ニ滲濕利竅下ニテ行スルナリ

○白芍酸寒ニ――寒トニモノテハ毫イ微寒ヒアリテ涼トニ位ナモノニ此ノ芍薬ハ至テ切ニ〻ヒモノニシ傷寒陰中ニモ桂支ニモ真武ニモ大柴ニモ入テアルテトキニクヒモノ酸トニ味テレメルニヒモノテ物ハレメルトソコニタヘルモノシ涼トニモノテ陰分ニ入リテ陰氣ヲお手ニスルコトヲセルソコテ是ハナキモノヲ補フモノニアラズアルモノ、散ヲカリテ居ルヨリ外ヘレメテヨセルモノ立ニシテ又補ニナルモノシ此等カ能ク至テアル所テ故ニ収メレメル立ニ能補ト

ルレメル立ニ補テル何ニモ無イモノヲスルヤスモノニ非ズソコテナラレメルナラバ陰氣ヲレメルナリ是ハ痛ニタカツハメル故ナモノテタガ無イト水カ漏リテ仕舞ソコテソレヲタカテレメル立ニ氷ノ漏ルノハトニルト同シテシ腹疼モ取ノ内ノカワヘテ引ハリテ疼ヲレメテ再ヒ津液ノモレヌ故ニスルモノ立ニ疼ハヤケリ然レモ若陽虚寒ノ瀉利腹疼ナラハ用ルナトニテニ虚寒勿與トニリ立ニ真武ニ用ルモアレ陽虚寒ナル氏陽氣ヲ脱モレヌヤフニスルモノ絶スルニ非ル立ニ用テ何テアロフ氏津液陽ソレメテ脱モレヌヤフニスルモノ

全体酸寒トニモノテ血ヲ陰カラシ其ヲ血ヲレメルモノナリ血ソレメルニモノ立ニシノ津液陽気ヲレメテ世サヌヤフニスルモノ

○赤芍酸寒――是ハ白芍ノワカタストニ況モアレ氏何レヲヲ

能瀉能補
破血通經
産後勿犯

生地徹寒

ハナラヌモノゾ先神農本經ニハ別ニナシ色ヲ論カアルケレ共已ニ別
錄ニハヤ別テアルサスレハ古ヘ処ヨリワカツメート見エシ初モ大事ナ
モノ是ハ白芍ヨリハ全程勢ノ急ナリソヨモノデ能瀉シ能破ルモノナリソハ
何ソヤフルトニ血ノ瘀シテ居ルヲヤフリ通ルモノシ故ニ産后ハサシ
遠慮スルカヨ(左モ是ハ白芍ト同シモノナレモソノ用ノ強フナリメ
ルカ是シレメルトニ故ニヤフルトニ云ヒタルニシテ
内ニヨ(加減ニ水ヲ含テ居ンソレカ一番強ノ紋ルト水ハ皆脫テ仕舞ト同
シニシテレメキルトハスルナリ下ロニ血ヲニ熱ノアル滯ヲサシナカラウチヤ
モノテ血熱ヲトルモノト思カヨシレ

○生地徹寒ニ　是ハ寒トニモノテ徹裏位テハ無イモノナリ血

能清澁熱
骨蒸煩勞
血消瘀血

熟地徹温
滋腎補血
益髓填精

分(行モノテ寒スルハ石膏ヨリモ甚シ(トニテアル位ノモノ心能清澁熱
スル心澁熱トニモノハ免角ニソレ(ハ下焦カヨシレタ処(熱カタクルト湿ヒ
左モニソレ(ハ下焦カヨシレハ下焦湿ヒヲトルモノ心
ソコノ下焦ノ功ヲリナリ骨蒸ハ骨中ヨリ蒸ス生ス処テ腎ノ
陰虛ヨリ起ルモナリ又(ニ是モ下焦ノ濕ヒナリ煩勞トハ此ノ身ヲ
勞役シソカラシ虛ヨリ起ルモノ心瘀血モ色ニ肉モアルコナレモ此ノ大
寒テトルモノユ(ニ熱テ為ス瘀血ナリハ血ヲ陰カカケニアル処
オトルト思ハ可シ

○熟地徹寒ニ　此薬カ製法ノ大切ナル処テ大ニ功ノ遠コソ
前ノ生地ヲ酒テ一偏蒸シソモノユ(ニ大寒ノ勢カトレテ酒ト合シテ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

平補トイヒモノニテ左陶カ考（故ニ温上ナルナリ滋血ヨリ減ニ水ヲモタセル腎中（トツクリト水ノモタセ含セルスルト腎ノ子ノ肝ノ蔵近フイテ肝血足補心ヤフニモ滋腎ニ益髄填精肝ヲ補フテ、髭髪ハ皆血ノ餘リナルカソノ血カタツフリトスル（ニ真里ニナルナリ精ハ腎中ニ多ク又テ骨ニハナラヌモノソノ腎ヲ益スル故ニ填精スリ、リ肝腎ニ蔵ノ血ト精トヲ補ヒウルナスモノナリ

麦門甘寒

○麦門甘寒ニシテ――是ハ甘リ寒スモーデ補心清肺トアルハ受ケ手ノ方改手ニ虚熱ヲおキニスルモノテ心ハ火テ寒ヲ好ミ肺金テ温ヲ好ムソコテ是カ至テ治療ヲ六ケツ（処ナリ然ルニ此ノ麦門ハソノ心肺ノ二蔵ヲ治ムル心ノキツスイ（水氣ヲ補ヒ肺蔵陰氣

麦門甘寒
酥渇祛煩
補心清肺
虚熱自汝

ヨタレカニスルモノ故ニ虚熱ノ浮ムヨレツトリト捺付スル伝切ヲ持テ居リナリ虚熱ハ心肺ノ虚ニテ居ルカケニ熱ノ出来メガ虚丸トニモノソ心肺ノ津液ヲ燥シ陰氣ヲ補フテ虚丸ヲトモノナリ

○天門甘寒――是ハ面白モノデ當時ハ餘リ用ヒヌカ切ノアリソナモノソ肺痿肺癰ハ肺蔵ノ陽氣津液ノ不足ヨリ来ルト咳ニナルノ肺痿ニソノ陽気津液ノカワリ処ニ一種ノ湿熱ノ毒カアルトノ論ニテルナレニ二ツナカラ津液ノ不足ノカワキシ是カ乾キョウルオスモノユヨキ心是カナレモ冷テ居ルヨ用ニコハナラスユ（ニ喘急有切トニナリ麦門ト能ク似タモノナリナレモ此カ触クめテアルシ麦門ハ解渇祛煩補心清肺渇ノ補ノ称ト書テアリテカニテ熱ヲトルコヨ書

天門甘寒
肺痿肺癰
消痰止嗽
喘急有功

黄連味苦
瀉心除痞
清五明眸

テアル天門ハ実斗リノ肺癰ノ咳心肺ノ虚五ノウチニ一種ノ湿五ニ毒ヲソヘテ見セ者ニ陽五有切ト書タトテハ余程面白キ一ソコテ湿五ヲトル二ハ殺虫ノ切アル肺ニ湿五カアルト蒸虫ニテ細カナル虫カ生ズルコトモアル肺ハ濕熱カ多ク故ニ兎角生シ安モノ故ニ大門テ去テハ愈スモノゾ何デモ一種ノ湿熱ヲ去ル手ノスルモノシ麦天テ別ツト麦ハ心熱ヲトリ天ハ肺ノ熱ヲトルシ故ニ麦ハ生地ト組方多ク心腎ニ行キ熟地ハ天門ト組方多肺腎ニ入リテ用ヲル者ハ陽カ多ク(ス)ルヨリ知ラスト用立又叔テリノ黄連味苦ニ一ハ此ヨリ黄芩栢梔翹連ハ皆苦寒トモカアリ胸ニ熱カアルト痞ニナルソノ胸ノ熱ヲトリ推下スユ(ニ)痞ハ愈ルナリ寒ヲトルニ非ス伝テ清五ト熱ヲトルニテモ見セ熱カアルト赤目赤筋ガ出心熱ヲ清スルユ(ニ)明眸ヲ瀉シ腸ハ即ハラノ事ニ熱カアルトユヲ(テ)燗ノタヲニナルソノ熱ヲトルユ(ニ)カツレリト堅クナルナリ尊ニカツレリ堅クスルユ(ニ)痢止シソコテ瀉心清五尊ヲ腸ハ切ノ奉ヲ云陰痞明眸止痢トニハ切ノ事テニクモノ殊更眸ハ上焦痞ハ中焦痢ハ下焦テ上中下三焦ノ熱オトルコヲ知ルニ能書テアルシ

○黄芩苦寒 ― 湿熱ヲトルハ勿論枯肺火ヲ瀉シテ芩ハ大腸

眸即目ノ

黄芩苦寒

ハ右ニ以テ湿熱ヲトルニハ苦寒テレルナレモ五味ノ如何ナル湿五ヲトルニヲ知ラスト用立又叔テリノ黄連心ノ熱ヲトルナリ扱テ心下ハ水欲カアリ胸ハ熱カアルト痞ニナルソノ胸ノ熱ヲトリ推下スユ(ニ)痞ハ愈ルナリ寒ヲトルニ非ス伝テ清五ト熱ヲトルニテモ見セ熱カアルト赤目赤筋ガ出心熱ヲ清スルユ(ニ)明眸ヲ瀉シ腸ハ即ハラノ事ニ熱カアルトユヲ(テ)燗ノタヲニナルソノ熱ヲトルユ(ニ)カツレリト堅クナルナリ尊ニカツレリ堅クスルユ(ニ)痢止シソコテ瀉心清五尊ヲ腸ハ切ノ奉ヲ云陰痞明眸止痢トニハ切ノ事テニクモノ殊更眸ハ上焦痞ハ中焦痢ハ下焦テ上中下三焦ノ熱オトルコヲ知ルニ能書テアルシ

○黄芩苦寒 ― 湿熱ヲトルハ勿論枯肺火ヲ瀉シテ芩ハ大腸

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

柏瀉肺火
子清大腸
涇热皆可

ノ熱ヲ清ムル柏子モ何レモ濕熱トモニモノナラハ皆用ユヘシ時ニ柏
苓子苓ニカアリテ柏苓ハ古根ノ子苓ハ新根ニテ古根ハ腐テ
中カ空リ新根ハ堅ノ実ルニヨリテ上（キヤウ）ニ行（キクト異ニシテ薬ハ皆ミ此
ノ性カ此ノ又一例ニシテ是ヲ加何ニ処（ヘル）カ又右モ黄連心熱黄
苓ハ肺熱トニハ誰モ知ル所故ニテ連心ノツリ合テ肝（ヘルソコテ麥
ノ薬ニ苓ハ肺ノツリ合テ脾胃（ヘル）ニ行ク薬ニ脉ニテモ左手ハ血ヲ
見ル連ヲ左薬ニ右手ハ気ヲ見ル苓ヲ右薬トモニ是ニテモ々タ右ニ又
手近ニ連ハ熱ヲトルニハ勿論ナレトモソレヨリハ心下ノ痞ヲ推スニ力本ノコテ
苓ハ熱ヲトルモハツトシテ居ル熱トリサスモノニシテ是カヨキニ瀉心湯モ
チニモ苓連トアレトモ苓ハ熱ヲトル計リテ連カ痞ヲオストニカアノ切

ハ立ナリ苓ハ熱ヲトルノニ柴胡陽大ニ柴ハ表ノ
テ九ハ心下痞ノ病モアレトモソレハ別ニテシ苓
ハ別ナ雑（モノ

○黄栢苦寒、――是モ濕热勿論シ降火ノ
古来説ヲソレ本君火ト相火ニテ立レヨリ起リ金視ハシキニシ火ニ
熱ニト同シアツ（モノニ同シカルヘキニ火ニトト熱トニト別アリ栢ナト是
非火トニノハナラヌシ熱ニ又苓連ニハ々タ熱トニハルシ是ハヨリ外来
ヨリ来ルモノナラハ皆热トヨリ内ヨリ起ルモノナラハ皆火トニキシ此カ
腎ノ陰虚ヨリ来ル火故ニ降火トルシ腎虚スルト火カ起ルスルト上（逆ス
ルモノソノ火ヲ下（推降スヨリソレテ陰ヲヨウルオシ滋スルヨリ滋ス

黄栢苦寒
降火滋陰
骨蒸濕热
下血堪任

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用

梔子性寒
解鬱降煩
吐衄胃痛
火降小便

ニ降火スルヨリ何デモ逆ス火ノ降ス上ニ此ノ功ヨリ骨蒸モ腎虚ヨリ起ルモノ湿ヨリ下血ス亦モ比自従ヒヨリ下血ノ湿ヨリ常用ノ薬ヨリ當時湯火傷ヤスリ傷ニ細末附ルモ散ヲ思ハ誤リデ熨ノ降シデ推下ケテ下ノ落付ノヤルモノニ焼ハ急ニソ

○梔子性寒ニ一昼モ湿ヨリ勿命シ昼モ解鬱デ尽テ居ル兎角肺ヒモルオトリニ煩ハ降リ答ノ清ニ焦内屈ノ火ニアリテ兎角何デアロ疾デモ食デモ血デモカメ蔭ニカゾレテ居ルヨナラバ皆トルナリ丸カアルト吐血ヨリ衄血ヨリ胃脘痛ノコデ是カ中焦ノ食ヤ水ノカデニヨカアルト痛ムシソ丸サトリテめ何ルトナラハ便道ヨリ下スシ三焦ノ丸ハトルトアルケレモ上下ニ焦カオモシ上中下ハニモノ、

連翹苦寒
能消癰毒
氣聚血凝
湿与堪逐

上焦カ九モオモノコデ上焦ノ尉丸ヨリトルモノナリ

○連翹苦寒ニ一昼モ湿ヨリトルハ勿命ノコデ能癰毒ヨトルシ氣聚血凝トニデ癰ニテ牽シ何レ腫物ハ皆気カ聚リ血凝来ルシレニ血カ凝テヨリ氣ノアツマルモアルナレモヲハ氣カ聚リテ血カ凝ルモノソ氣血共ニ行ルト腫物ニハナラヌモノカアツマルト湿ヨリナリ此デ湿ヨリナルシ兎角甚水ノ渾ルヤフナモノデヨカアルト水カ汚濁ニキタナイモノニナルナリソコデ此ノ連翹ハソノ氣聚血凝シテ腫物ニナル程ノ切カアルトニコニ湿ヨ堪逐伝ナリソコデ翹ハ湿熱ヲ散スル功カアルシ時ニ芩連梔柏モ皆苦寒ナルニ如何ナレハ是ハ分リチラス伝モノトナラハ是ハ宣剤トニモノデハット

チラレ居ツカ又柘ニスルモノシ立ニ外ニ遠ヒチラスノ功アリソコテ湿ヒ
ヨチラストヨモノ立ニ癒ニヨキナリ○扨テ此ニテ五味ハ皆湿ヲトルモノ
兎角ソノ赤ヲナラントカヨキナリ。連ハ熱ヲ下ス推下スモノ。芩ハ
ヨサスモノ。栢ハ下ヨリ逆ス心火ヲ下スモノ。梔ハ蔭ノ熱ヲトル。朝気
瘀血凝ノ熱ヲトルヨ。ヨヤフニ覚ユレ此ノ五味ノサバキサ出来ルト熱ノ
去ルアンバイノ白ニツギルコソ成程芩連梔栢黄連解毒ヲ解ス
種梁メルモノカ宜哉○是連翹ハ防風荊芥トヨヤフナモノニ能ク
アル黄連ヤ黄芩ハ表邪ヲトル功ハ無ニ非レ共先ツハ表ニ連翹ハ表邪
ヲ散スルヨモアルシソコテ表薬ト組ヲ多シ是又宜剤ノ意味ヨリナリ
時ニソノ理ヲ何トナレハ膿物ニハ瘡疽ヲ始メ風疹迄皆本ハ同シテ

テ人ノ皮膚上ニ生ズルヲ立ニ毒ヨモノト思ケレ共人ハ風疹ニテ
毒氣トニモノハ衆人アルモノテソノ毒氣ニ浅深アルヲシソノ毒氣ニ
風邪カ着ト容易ニ風邪ハトレヌモノソ當時風ヲ引テソレカ容易
ニトレヌノカアルモノソレニ色ニアルヲナレ共大抵有ニ如何ニソレ先ツ胸痞
ヲラヘリテトレヌガアリ服結レテトレヌアリ又風疹ノホロ
ホロトナルヤ程ノ毒ヲ立ニ風ノ散セヌカアルシ種々因モアルナレ共大抵大條ハ是ニ
ヒカ胸痞ノ為ニ散セヌハ天疱ヤ指蕖ノ行ノ乳腫結ルハ道理
散ノ類テ毒ニ急ニ愈又彼ノ毒氣ニ付テトレヌハ此ノ連翹テ無ト行ヌシ
ソコテ方彙ノ清解ノ方カアルモノヲ理ノアルヲソ古人ノ翹ヲ風薬ニ
用メ栢ハ面白キ理ノアルヲソ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

石膏大寒
能瀉胃火
發渴頭疼
解肌立安

○石膏大寒ニシテ大寒ヲ殊ニ外寒スルモノヲ能ク浮胃火ヲ瀉シ金裡ノ効アリ（モノテアルオ胃火トハ成程書テ居ル胃府ヲ熱スルトイフモノ火トアルケレモ之トメ見ヨ何テアロウ氏胃府ノ領分ノ五ツノサシスモノテ内ニハ胃外ニハ胃ノ外ヲ皆トルモノヲ故ニ外テハ肌肉ノ五ツノサシスモノヲ能ク肌肉ト此ノ五ツノサシスハ石膏ヲ發渴ノ目的ニ用ユルモノテ春甫抔モ渴無ハ用ユルナトヲタヽカレヲ渴モ程ノアルナラハ苟モ頭疼ヲ陽明ノ五テスル頭疼オトルソノ陽明ノ五テスルニ見セン為ニ發渴ト上ニアル渴ハ熱ノ内ニアル候ヲ解肌ハ肌オトノクトニアテ肌肉ノ向ハ幾筋ニカテリテ居テ宛角ヲカヽリ外ヲ衛気ノ結ヲ安キ所ヲノ結ヲ去トカヽハナラスソレヲホトクモノヲ此条下

滑石沈寒
滑能利竅
解渴除煩
澁止平癒

胃府ノ領分ノ肌肉迄ノ热ヲトルテハナク裏ノ热ヲトルモノテ沈ムヲモノトルニ此石膏体重性ノ軽（モノテ外ニ發スル意カアル）ヲ以テ軽（モノヽ大青抔モ水ノ心下ニ結テ居ルオホトヽテ外ニ散スルト云意カアル）ヲ以テ肌肉ノ向ノ幾筋ニカテリテ居テ宛角ヲカヽリ外ヲ衛気ノ結ヲ安キ所ヲノ結ヲ去トカヽハナラスソレヲホトクモノヲ此条下ニ通ス

○滑石沈寒ニシテ石膏ト同シヤウナレ氏遠ヒ所ニ在テ石膏ハ胃府ノ領分ノ肌肉迄ノ热ヲトルテハナク裏ノ热ヲトルモノテ沈ムヲモノトスルニ滑石ハ沈ムモノヲ下ル（ト下リ沈ムモノヲ故ニ下ル）ト云モノヲ以テ裏ノ热ヲ下ス（ト下ス

ノ結シテ居ルヲトフシテヤル立(ニ竅ヲ利スルシ鮮渇ノ渇ハ是ヲ焦ニ
水カツカ(テ居ル立(ニ渇(上テ)タルモノナリ且ツ下ニ水カツカルト上テハ煩スルモ
ノ五苓散渇猪苓湯ノ煩抔是ノ如シソコテ渇ヤ煩ヲトルニハ水道ヲ
付クルニ(ニ渇モ煩モトレルシ兎角下ニ水カ結レルト心煩スルモノゾソコ
テ何テモ下ノ湿ヲナラハ皆瘧スルナリ水トニモ勝先ノ如ニヤケ毛
ツリ寒テカヲヲトル況テノ塞オトフシテヤルトヲモテ下ヲ魚ノ水道ニ
塞リテ居ル湿ヲヲトルモノシ

○知母味苦ニシ(おレニクシ(モノテ辛苦ニモノシ知母ノ熱汁リ
ヲトルモノテ最初ニ熱渇ト出スニキ等ノコテ渇モ種ニアルケレモ熱
渇ナラハ用ユレ骨中ヨリ熱テ蒸出ス故有汗内熱カ甚シク外
蒸出ルシノ有汗カ目的ニ是ハ熱ヲサシテウルオストヲモノシ辛
ヨリ潤スシ何テモ燥ヲトヲモノナラハ知母ノ必用ナリ受取ノ切リ
上焦ノ燥疾ヲカツクト咳テルモノソレ等モ皆解ルシ舒ハ韻字ヲ押
故如此ナルテレモ即愈ルニヨシ麿ハ西風ニ雨ノアルニカ此ノ切ノ嘗然
シツリ三度ノヲヲサシテカラ潤レトルモノナレモ下(下
ルニ切ハ無故ニ大黄芒硝ト組ムヲハナ、傷寒論ノ組合モ考ヘシ
○貝母微寒ニシ是ハ開痙除煩ト云カ本ノ切リヲノ内ニ痙シ
ヨモルヲトルモノナリソレデハ熱カ寒カヲレヲ故ニヲノ痙レコモルヲトルヲ
サシ考ニ除煩トヲクモノヲヲ明レクモノヲヲ下ノ痙レ結レタルヲホリ
モノナリ故ニ止嗽化痰ノ切アリ化ハ痰ヲ水ニシテスカタオカ(テヤルヲカ

貝母微寒
止嗽化痰
肺癰肺痿
開痙除煩

知母苦
ヲ渇能除
骨蒸有汗
痰咳能舒

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

大黄苦寒
破血消瘀
快膈通腸

裡ノ血ト痰ト鬱結ヲセシ一切ノ故ニ肺癆肺癰ヨレソコノ具母ノ鬱シ結シテ居ルテ無シハトラヌモノシ連翹抔ト同シク宣剤ニモノテ發スル伝意味カアルシ物ノ鬱結スルト毒ヲ結フモノテソノ鬱結毒ヲ發スルモヨリ婦人ノ帯下ノ湿ト毒ニ着ト肺癆肺癰トニヤフナモノニナルモノ婦人ハ兎角鬱火ノ身ヘモノテ彼ノ鬱火ノ肉ニ痰抔ト結シルト是ヲテ無テ治セヌ必用ノ品シ。當時大ヤ猫ニ噛レタル毒茉ニルモ大猫抔ウルキ湿ト毒ノ痰ニ含テ居ルユ用テ治スルヨリ兎角当リハ胸中ノ鬱結ヲホトキ去ヲトルモノゾ

○大黄苦寒ニ一大黄苦硝ハ似タモノヤフニ心得テ居ル舎程遠ヨリ大黄ハアチラニアタリノアル大テノ形ヲヤフルモノテ何テアロトモ痰血テモ食テモ痰テモ有形ノモノテサヘアルトヤフルシソコテ初ニ破血ニハ有形ノモノヲ破ルニヨリ見セシ為シ快膈通腸テ何テモ膈ヨリ肛門近ノ飲食ヲ痰血テモ痰飲食トモヤフナ有形ノモノサヘアルナラハトルトニテシ血氷ノ入ルモノテ有形ノモノ寒テ居ルモノテハ用ユレス又血ナラハ破リ下スモノナリ

苦硝苦寒
寛去積聚
蠲痰潤燥
疏通便牢

○苦硝苦寒ニ一鹹モノテ去ヲ目的シ実ヲ積聚トニテ一ト所ニ年月久シリ積聚シタル虚ヲテ必用ユレス実ノ積聚シタルモノヲ鹹キテクダクトヲ実ヲ積聚シタルモノ実ヲ聚リ結テ居ルヲ外ヨリヨリカニスルモノ実ヲ聚リ結テ居ルヲ外ヨリ効カアルシ鹹ニ突堅テ物ヲテウルオストニ効カアル大黄ハ去ヲ帯テ居ルモノヲ蕩滌ニ下スモノ

芒硝ハ下スヿハ勿論ノヿ結レテ居ル塊ヲ破ルモノニシ堅リ岩ノ如ノヨリテ居ルモノヲ破リトルモノ是ハ大黄ハ水ヲ吸テツキナカスヤフナモノ芒硝ハソノ結レ滞テアルモノヲ細カニ砕テサソレテヤルカ芒硝ナリ兎角大黄ハ湯液ニテスカ主芒硝ハ結聚ヲトリホカ主シ此等カ能湯ヨリ三承氣ハ自済ゐし芒硝ハ結レ輕(重)ニアルコソヿニ大承氣ニアリ又柴胡加芒硝抔ヘ芒硝ノ用(アンハ)ヘヲ見ヨ

○柴胡味苦ニ(一)已上ハ解表ノクスリ此ヨリハ普表ノ葉オ挙ルシ柴ハ普表シナカラ表ノ退ケシ普表ノ氣ハ温ナルモノナルニ此ノ柴ハ寒ヲサスシ尤桂湯ヲ助ケテ表普スルシ性徹寒トニモノテ涼トニ位ノモノシ肝火トニハ肝火ノ一是カ如何テ

柴胡味苦瀉肝火寒热往来瘧疾均可

肝火ニナルトニハ肝膽ハ少陽テ兎角春ノ氣ナレハ上ヘ(エ)ノヒクソットヨケレ氏ソレカ尊レテ能ノヒクソト散スカ柴胡ヒ是ハ下ノ普スルソトニモノニナルナリソ尊スル火ヲスカシテ(後レスカシテヤルモノシソコテ肝火ト斗リニテハ称膽ノ沿スルモ肝火シ同シヤフナルユ(ニソノ肝火モ外邪外ヨリヲサ(テソノ為ニ出来ル肝火トニソン寒热往来トニナリソコテ外邪ヲ為ス肝火ヲ治スルシ瘧疾モ寒热食疾色ニアレ氏何レモ少陽テツカルユニ均シノ用テ可シ之食ヲ進レハ柴ニ食消スルヲ加フルナリツリハ半表半裏ノ間ニ邪ヲ解ストニモノニ非スヒヲスカシテヤル第ソホト(ニソサヘスモノシナレ氏此カ解モノナリ尊草ニ升陽トアルモ火ノ尊ヲスカスユニ陽氣ハ自ラ升ヲ尊ソスカスユニ陽氣ハ自ラ升

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』　請求記号 特1-3377　ガラス使用

ルシ脾胃ヲクツロデルトアルモ此ノ意ナリ

○前胡徹寒ヲ一ハ是モ發表ナリ發表中ニ下氣ナルシ胸ノ方ヘタヽルヲ引下ルモノ苦參トイフモノデ咳嗽ス程ニテ吐雲ノ水ノ巻クヤフナモノデ痰ノ巻挙ルナリ化痰トアレハ如此ニト咳痰モ内傷ヨリ出ルモノニ疑ハ邪ヨリスル咳嗽トイフヨウナカサシ為ニ寒ヲ頭疼トセシ痞ハ胸ニ氣ヤ痰ノアツマルト痞スルナリソコデ下氣スルモ表邪ヲ發ス為ニ下氣スルナリ發表ハ本ノ功下氣ハ末ノ功デ発表ヲカケテ下氣スルト知シ枳朴下氣ハ遠ナリ下氣ト思フハアシヽ

○升麻性寒ヲ一ハ是ハ輕剤宣剤ノ二ツノ薬デ居ナリ故ニ上ヘ外ヘト行クモノナリ上外ヘ行クモノハ溫ナルモノヲノモノナルニ升麻寒ヲ發行スルシ是ヲ溫ニハ非シ苦寒ノモノシ扱テ胃ノ次第ヲ上ヘ升ルハ結講ナル精氣ナル氏升テアルコスハト濁ヲ去ルシソコスルノ上ヘ升セテ清メルニ二ハ胃中ハ清ナルナリソコヘ入ル第カメンドヲ毒ナル蒼朮ハ發ヲトルシトキホドクシ是陽氣ノホセル二ヘナリナル氏清胃解毒トニテハ只發ヲトルノヤフニ聞ユルニ二升提下陥トニテ下ヘ風陥ス第ヲ引上ルノ陽氣カ上ヘタチノボルデ胃中カ清解スルヲ見セルシ是迄ハ内ノ陽ノ上ニソノ濁ヲノ痰ヤ如何ニハ牙痛ノナス等ノ病ヲ為ニ牙痛ヲ治スルヲ主トスル故ニ是ヲ下ハ淋便閉痔等ヲ是ヲ下ス

外感ハ切用ハタラキトニモノデ大切ナシ矢張發表デ解ヲニヲズ

○桔梗味苦ヲ一 苦溫ト云モノテ散ラシテ行ラスモノナリ咽痛ノ治スルモノハナセナラハ咽痛モ急ニ治ス尼何ニ胸ノ第ノアツマル故ナリソレヲトルモノニ咽痛ニハキヤウ等ノ一是モ外邪ノ表ヲシメルユニ胸ノタマルモノヲ治スルヲ主トスレモ治スルし何テモ病毒ノアツマルヲトルモノヲ載薬上外トニハ是ハ第ノ独トニモノテ性非ス是桔梗ニ持合テ居ル故トニト同シテソノ味ヲ持合テ居ルト天辛キヨノナリソニし舟撗トニハ此ノ義し中裏ニテリテ上ニ行ス將ハ是ヲ入テ上ヘヤル故是ナリ胸利壅ハ胸ノ閉リユニキノトニーソ見セリモノゾ大抵前胡ト同シヤフナリ

○紫菀味辛ふ一 是ハ第ノヒラキノクラスユニ發表スルし

元ト是ハ第ヲサワダヘセルモノテ故ニ發表スルナリ桔ハ下第スルし諸ト云ハ第七情皆第し故ニ諸第トモし薬モ下気ハシテ居ル是ハ輕剤テ宣剤し湯第ヲシタテ、表ノソスルモノし表ニウキテ居ル第ヤ胸ニ外リタマル第ノハツト散シテシマウモノし○蘇湯分ハタマル第オハツト散スカ主し○桔ハ胸ノ三ヲヲヒキサゲルカ主し第ノニモリテアルヲハツトテラス意味ユ外邪ニカキラス第滞ノ用桔トニモノハ今人併不用可惜

○麻黄味辛ヲ一 桂ハ補ナリ麻ハ潟ナリ可考桂ト組ト血脉ナリ石ト組ト肌肉し細辛ト組ト風ヲお手ニスルトニ参ト組ト濕ヲお手ニスルトニ開勝理トニニキノ細桂ナトニ組メハ浅し杏ト組

メハ浅深別アリヒロノ条ヲ(ヲ)ノフサカリヨトフスクット深ミニテハ還硬ノ意味可知

○葛根味甘ミ(ニ)ー葛ハ悪中(コモン陽気ヲスゴシフシナカラ外(悪スルモノ周ハ下陽ノ秋気ノ涼シフシナカラ上(ヒキノベテルシ相侶タリ周ハ上下シ葛ハ内外シ故ニ葛ハ解毒カヨシ周ハ解毒カヨリ腫物ナトヨシ人ニヨリ切ハ道理ノオセンケレ氏ソノ物ニキリ処ハ奈何知シ芦根ハ解金石毒檄橈ハ解魚毒塩ニ軽粉ノ毒ヲ葛根ハ解酒毒ノ類シ内(コモン熱ヲサマシナカラ邪ヲ外(発スルヤウニ升陽散火ノ意シ升発スレハ上ヘ昇ル故九竅皮肉ノ筋骨ノ用ヲナス(ヰ陽ニモ中(コヅミコモレハミナ悪シ陽明ノ主

心領ヲヒイニキリ(ヘ尉実シテ居ル邪ヲ悪ノ外ノ葛根ノ別ヨリ心ヲ(ヲ)ツシ

○薄荷味辛ミ(ニ)ー味辛ノ条悍シ辛味ハチラスアツマル条ノハツト散ラス上実陽ヲ欺目眼中ニモモリアル風邪ヲ散スルモノ骨茎ヲハ腎ト肺トハ上ヘ膈リテ居ル所ニ条泊道ニテ皮毛ヲ閉レハ骨髄ニテ(ホトン道遥荷ト風邪ヲナトナリカリテ用テ切アリ氷片ト相近キモノシ濁ヲ清ラカニスルキミシ

○防風 ○荊芥 二条脱落見ル可シ益条巻四レヤセニシ巻ニ故補附ス

○細辛辛温ミ(ニ)ー辛ト云モノテ外(開リコハヲ温トモテ陽条ノ助ケルトミニハ(ヲ)ちレん叔テ鎮痛モ色ニアリテ先ツ六経ノ

頭痛トニテ色ヽワカルナリソレニ宿ノ疾ヤ食ヤ氣トニヤフニ色ヽ指ソヘ
故ニ萬魅ニカワルナリソヤ陰証ノ歌痛ヲ治スルシ七竅ヲ通利シ
關節ノ壅リヲ開キ血ヲスルレハ経ニハヤ陰七竅モ浅ヤフナレ氏
五藏ヲ通テ居テ深シ關竅モ勿論内裏ノ深ニナリソコテカ
ヤフニナル病ハ何ガナスコトニハソ為モノナリ風濕ノ開テ頭痛不利スルヲ外ニ開キ散シテ湯ニキヲハラセ
トニナリ風濕ノ開テ頭痛不利スルヲ外ニ開キ散シテ湯ニキヲハラセ
ルモノナリ兎角深ミノ風寒濕ヲトルニカヽシ立ニ中風ノ卒倒ニ用立
ルモ此ノ意シ古人重濁ヲトニヲヲ云是等ハ辛溫テ濁熱ヲトルハ閉
（メコナレ氏面白キコテ兎角ソハ深ク入ルト熱カ前ニテ濁リタモノ
シヲコテソ深ク入ル風濕ノレメル病ヲ取ルニ濁ヲ取ルトニシ濁

ニ処カ主意ノアル処ナリ又潤燥トニコカアル是モ兎角水氣ハ処ヲ
ニルト外ニレメリカ行届カス燥リモノソヲ此細辛ハソノ水氣ヲクツ
ト開テ散スニ外ニ水氣カワメリテ潤ヤフモルナリ小青龍ノ細辛ナ
トモ此ノ意ノアルコト見ニルナリ

○羌活徹濕、一一○獨活甘苦是ハ一処ニスルトワカラヌシ大抵緯
ト組ノモノニ筋骨ノ風濕ヲトルニ筋ノ風
ニテアルモ節骨ノ分ニ風濕カアリテウツテモタヽテモ覚無トニヤフナオ
モトリテ活ニテヤルナリ獨活ハ甘苦ニテ性ノ溫ナモノニテ本一物ナリ
ニ二物トスルトニ物ニスルトノ処アリナレ氏是ハ別カヨキシ須頂難
舒モ風濕ノアル故濕痺モ然リ諸風ヲ治スルトアルシ是カヨキナリ

遊風トハ表ニアリテ定ラス風ノ一伏風トハ内ニアリテシカリト
沈固シテ居ル風ノ一シソコテ差治ハ兎角大陽ノ経ヘ行ソモノ獨治ハ
少陰経ヘ行クヤリ方去何レニ物モ風寒湿ノ気ヲ外ヘ開キ發ス
ルモノナリ

○白芷辛温ーー芳草ニ一例アリテ總テ臭ノヨキ薬
ハ何ニテモ濁水ノモノヲ去ル手ミシトル伝ニハ皆モッテ居ルヒ扱テ辛温
ニテ陽気ヲハラセテ風ノ一ハタラレルソレハ何ニテモナラハ陽明経ノ病
毒ニテサヘアルナラハ皆トルナリ陽明ハ肌肉ニアルガソ肌肉ニ風熱
カ尉タルト血気カ沸テ痒ヲナスナリ膿ヲ排ソトキハ膿物トキモノハ
兎角内ノ気カ弱ヘト陥リ込ミ入ルモノヒ白芷ハソトヘ内ヨリ推出
シハリ出スモノユヘニ腫物ヨヤキヒ膿ヲナスモナサスモ皆ヨキヒ古人ノ
薬ト云テ澡薬ニモ肌肉皮膚ノ濁熱ヲトルユヘヒ殊ニ大陰ニ
モ入ルモノテ然レハ手ノ大陰モ通フモノテ皮肉ノ分ノ風熱ヲ發
ヒ瘡瘍ノモノヲトルトキハ力主ナリ

○藁本辛温ーー是ハ面白キモノテ痛ノ顛頂ハ即是カ
大陽ノ頭痛ヒ寒湿ーー是ハ風ヲ祛風ヲ中除ハ是ハ大次経ノ次第
ヲ運ラスソ経ノ風寒湿ハ皆祛ルテハナレタトソ督脈ヘ入ルモノテ
兎角大陽ヘ行モノヒ是ハ木ノ稍雪ノアルヨトキタトヘ三尺ヲ
居ルヒ大陽ヘ風寒湿ノ邪アルヨクソト陽気ヲ上ヘヤルモノユヘ直
ニトレルヒ兎角頭ノ冒ワレタヤフテ辯冒シテアレキ病人抔ハヨクハ

大汗ノ風湿ナルモノテソヤフナ時ハ甚効アルシ他薬ノ及ハサルコトカアルソ
○香附柔甘ニシテ是ハ功ノ度(モノシナレ氏快薬テ毫テ居ルナリ此ヨリ薬ヲ語ルニ此薬ニモノハ風薬ト似タモノシ皆無形ノモノニテソ大抵功ノ似タモノテ風薬ニ薬ヲ運ラレ薬ハ風ヲ止ルモノシ此ノ裏カアリテ血薬ハ水ヲ去ル功カアリ水ヲ去ル功カアリ水ヲ去ル薬ハ血ノ行リモノテ所謂水血分利トニハ此ノ如シ是又一例シ扱テ快トニハ薬ノ(テヤフニ思(氏左ニ非スタンノフスルコトナリ何テモ手前ノ肢一ハイノコオレ達スルカ快トニモノソコテ香附ハ兎角薬ハ滞リあリ鬱シ安キモノシソレ薬ヲ領分メゲ持分ヲクット滞テ塵カラヌヤフニタツフリト運ラレテヤルモノシ薬ノ領分丈(ハタツフリト

運ラレタリタンノフサスルカ快薬ニモノテ香附ノ功アリ兎角ソレモ用鬱キ鬱滞スルト痛クソレヲ治シ女人ハ月事モ兎角調又モノ無ク薬ノ先導ヲ受ルモノニ(ニ薬サ(是レハ無調アリ調ト補フテハナ(程能クスルテ薬カ不運ナト脾胃ニ滞ル滞ルト宿食テルシ薬ノ運リノワル(ニ(シ且ツ婦人ハ用(ヨ(テカアリテ外ノ気剤ト遠テ是ヤサレ無分(行クト云意カアルナリ故ニ婦人ニ必用ノ薬ナリ

○烏薬辛温(テ是ハ順薬トニテカ心面シ兎角五臓六腑皮肉筋骨手足迄各薬トニモノハ塩處テ異ナルモノテ皮行ク薬ハ順トニモノシ順逆ノ次第テ

筋ニ遠ク八皆不順ヨリソコテ皮ニ行リ寒ハ皮迫ヤリ蔵ニ行気ハ蔵ヘヤリ各ソ場所迫届ヌルカ順寒トヲモノシ故ニ例ヲ挙ケテ
心脾痛トハ兎角下ニアルヘキ寒カ上ヘ逆スルト心脾テ脹ルシソレヲ下ヘ
帰スルヤフニスルモノシ故ニ脹痛ハ治スルシ又下ヘ通フヘキ寒カ通ワス上
ニアルト下集シヤリワルリテ滑者アリソノ寒ヲ下
帰スルヤリ是ハ上下テ寒ノ順ニスルトヲフホシレタモノソ効ハ尤廣キ
モノテ世等ハ鳥渡一例ヲホシタモノテ兼シリ書ト一枚モ二枚モ書ル
ルヲソナレモ順寒ヲ盡テ居ルナリ

○枳實味苦シ　枳殻ト同物テ別ル人モアリ別ノメモノモアル

シ枳実トハホタノカキ時ノ下枳殻トハ赤タ時採ルモノヲヲヲナリ

共ニ瀉剤トモノテ寒分ノ薬ナリ破寒ニモノテ寒ノツカヘ滞テ居
ル処ヲヤブリテ通スルヤフニスルモノテソレタテ瀉ニモノシ性ハ微寒トヲ
位ノモノシ寒カ滞ルト食カ消セヌシ痞モ寒ノ滞リヨリシ何レソ
ノ寒ノ破ル上ニ沿スルシ積トヲモ種ニアルシ何ソナルト寒カ滞ルナリ
ソレヲ扨破ルシ尤モ食積カ尤主シ化痰モ寒滞
ヲ通スユヘシ墻モ壁モカヘノ一ツテ高屏ノ一ツテ有形ノモノヲツキ破ル
トヲヲソタトヘタモノヲ兎角枳実ハ有形ノモノヲ破ルモノシサスレハ大
黄ト同シヤフニ聞ユル時ニ大黄ハ有形ノモノヲ破ルカ半シ枳ハ
破ルヿハ破ルナレモソノ破ル蔭ニアル滞ル寒ヲ通スヤフスルモノナリ

枳殻微温ニシテ　是モ微寒トヲ位ノモノシ快寒スルモノシ

寛ト小寛仁大度ナルト同シ意ニテ寛ニセヨ外ヲユツタリト
ホクツロケテ廣フスルヿシ腸ハ此カ宛角蒸合テ狹クナリ安ーモ
ノニテソコテ寛ニスルヿシ胸中氣ノ結レオトリヤフニ氣カ結レルト心下
ヨリ氣カ張滿スルモノヲ然ラハ上中下三焦ノ氣ノ寛カニ開クモノ
ヿナレ共実ハ中焦一キリモノニテ組合テソレハ如何ヤフトモナルヿゾ
枳殻ハ枳実ト違テ気ヲ開クト云モノテ破ルヿハ無イモノシ
参蕪飲人参ノ敗毒ノ枳殻ノ意ノアルヿゾ

○白薇羊温ーー行氣ノ剤シ辛温ナルヿ多ハ補劑ノモノゾ
ヨテ陰湿ヲヒラキ温テ陽氣ヲ助ルヿニおヒレモ去瘴翳ノ瘴
障ト同シ眼翳イラシ此ノ翳ハ脾胃ノ陽氣ノ不足ヨリ来ル

瘴翳ヲ去シ脾氣ヲ益シ脾ノ元気ヲ調ヘ且ツ止咳シソレハ和胃ニシ
去瘴翳止咳ハ病ヲ益ス調元和胃ハ本ヲ治シ脾胃ノ陽氣ヲ取
立ニハラスルモノテソレハナセサスルトナレハ宛角胃口ノ辺ニ水氣湿気ノ
アリテソノ水湿ニシメラルヽト陽氣カ不足スルナリソレオハラセテ水湿
ヲヒラクユヘヨキナリ老人小児却テ咳ニ能ノ効ノアルヿゾ

○青皮苦寒ニーー氣ノ猛烈ノモノシ師説ニハ寒ニハ非ス温伝
位ナモノシトナリナレ共微寒ニ位ノモノシ陳皮ノワカキモノニナリ
攻ニ攻ノ字カ意ノアルヿテ氣ノ塞リヲ打破リクダキ攻ル意アリ
削堅トニテ堅ヲ柔ニスルテハナリ氣ノ滞リテ堅ニナリテ居ルヲケ
ヅリトルモノシ是カ削ル丈ケ瀉ノ処ナリ肝蔵ヲ宛角元リ安

イモノテソノ肝ノ平ケ安ラカニスルユヘ脾ヲ安穏ナラシムルユヘニ食ハ下ルシ此ユヘニ呕不止ニハ半夏抔ヲ用テ愈サルモノ青皮ハソノ肝ヲ平ルユヘニ呕ハ止ム答ノ一ソコテ栄青ト雖用テアルモノテ栄ハ肝ヲ裨シ青ハ平肝スルテヨキ答ナリツヽリハ左ヨリ右ヘメクルヤウニスルモノナリ

○陳皮甘温ニシテ是ハ青ト大ニ違フタモノテ補剤ニモワレヌナレモ先ツ補剤ノ中ヘハテモ可シ順氣寛膈カ主ノ功ナリ頻氣ハ烏薬ノ如ク廣ク手テモ足テモ何テモアルコソ兎角スチニチヨリ立テヤルユヘニテ此ノ陳皮ハ何ンテモスルナレモ尤胸膈ノ処テ順氣スルカ主トユヘテ順氣寛膈ト膈ノ字ヲ入タモノゾ胸ニモ膈ニモ凝ヲ治スルニ誰モ知ヌナレモ用ルコナルカ効ノアル答ノ一且又胸濕ニ用ユルトヨキハ燥剤ノ意アリ脾胃ノ濕ヲトリ氣ヲ順スレハ補剤ノ意アリ陽氣ヲ発達サスルト見レハ下ルトモ云ヘル陽氣ヲノホセルヲ見レハ上ルモノテ補モ瀉モ手次第ニ因テ何ヤフモ種如何ヤフトモ云ヘルモノテ補カワルヽ是カ四君子トミテ人参茯苓ト肩ヲ並ル位ノモノユヘ留白トハ白ハ甘シテ脾ヲ和ケ赤白ト橘紅抔トアリテ痰ヲ消スニヨキヽ

○蒼朮甘温ニシテ　白朮ト似タモノナレモ別カアルシナレモ條理ハ同シ
全ク發散ニ非ス先ツハ發散ノ中ニテ十劑ノ宣劑ナリ甘辛温ノモノニテ苦味ノ強キモノニシテ健ト云ヒ前ニ通リ達者ニスルニテ補ト云ヘ共補劑ニ非ズ脾ノ藏ノ通リヲ能クシテ達者ニシテヤルモノニシテソレハ如何シテ丈夫ニスルトナラハ燥濕デノミシ脾悪濕ニテ濕ヲサヘルト脾ハ達者ナリテ運リハ能クナルニ依ノ濕ト指ス脾ノ内ニアル内濕ニシテ脾胃ノ中ニアル濕ヲトル伝ナレ共又發汗ニテ是モ外ヨリ入ル風寒濕ノ二ツノ發タシ宛角濕ト云ヒ外ヨリシテルト中ハセツケルシソレニ依ノ濕ヲトルニハ必ズ口ヲシメ更ニ癖疫ト云ヒ癖ハ嶺南ノ山章ノ気ノ如キテ山間ヨリ起ル濕熱ノ気ニテ中ニ種ノ毒ヲ結フモノヲ癖ニ伝ヘ是ヲ悪気ヲ含ンテ居ルモノゾソコテソノ悪厲気ヲ含ンタ裡ノ濕ヲモ取ニ伝ヘテオリソコヨリ上ノ句ハ脾胃ノ中アル濕オトルナリ下句ハソレオトシ横ケテ悪気所ヲ中句ハ外ヨリ入ル邪デモトル伝ナリ上ノ二句ヲトキヒロゲメモノゾ白蒼ノ別ハ必ズ蒼朮ハ白朮ノ切ヨリ性カ白朮ニ無ノミノ事ゾ平胃散ニ蒼朮ハ濕ヲ相手ニシ陳皮ハ氣ヲ手ニスル伝モノテ后世濕薬ノ本トナルハ宜乎哉

○厚朴苦温ニシテ　苦テ滞オ下シ温テハツト散ラス伝モノ深剤ニ消脹泄滿ニ句テ第一タリ滞ルオヲ散ラス伝ニシテ尤モ中焦ニアルモノナリ脹ハ中焦ニアルモノナリ痰氣ヲシテハ本

ト求トヲ云モノヲ第一ノ薬トシ痰トナリ亦アツマルトキノ気滞ルヲ第一上ヲテ滞ルト喘嗽トシ下ヲテ滞ルト瀉利トナルヲ厚朴ハ枳殻ト切ノ能似タモノナレ共厚朴ハ下ノ方ヲ主ニシ浮剤ヲ枳殻ハ破気ト云カ主ニテ毒ヲ破リテアトニ厚朴ノ如ク為スモノ厚朴ニ第ヲ下シテアトニ枳殻ノヤフナ切ヲ為スモノナリ

○南星性熱辛苦ニ大燥ノモノニテ毒カアル本草下品ノ薬ヲ熱薬ヲテ燥剤ニ治風痰ト叔ヲテ痰ニモ寒ノ痰湿痰ニカアリソノ中湿痰カ最モアルモノ叔ヲテ風ニハ風ハ肝ナレハ肝蔵ノ辛リヲソノ肝ノ何ヲ主ルトナラハ同筋駭ニヤフナモノヲ主ルニ風痰カアルト同カ眩レタリ轉筋トタリ症ニナリ多驚タリ大人ナラハ中風症頭眩ニ児驚風皆風ノ為ス所ナリソコテ風痰ノ為ス病ヲヨキモノナリソノ風痰ニモ寒ニモ亦ニモ南星ニカアルヲ以テ又牛黄モ風痰ヲトルナレモアレハ亦風痰ヲトリ湿ヲカハカスモノナリ半膿南星ニカアルヲ以テ半膿ニ入テ製シタモノ丈ケ心ノ方ニ行リ狂乱抔ニ用ルヒ鬼箭所病心ニ及フモノナリ

○半夏味辛ヲ一健脾ニ同シク痰厥頭疼ト雖テアルモ燥湿ノ湿ト風湿ノ二ニテ痰厥ト一ヲ以テ蒼ト違テ外ニ発スルヲヨシトスルモノナリ是ハ痰カ腹ノ中ニ居ラス胸ノ方ヘ逆ヒ外ニテ痰厥ヒ又ハ陰寒カ下ヨリ推上ルニ陽気ヲ逼止上ヘ逆シテ欬疾ヲ

リ又胸ヘメルト呕ニヤリ噦ニナルシ蒼ハ外ヨリ入ル濕ヲ外ヘハロ
フテ内濕ヲトルモノ其ハ逆スルモノヲ下ヘ推モノシ塗薬ヲ推トル
モノテ發スルニハ無キ

○藿香辛溫ノ一ニヲテハリ出入濕テ陽ヲ助ケ甘テ脾胃
ヲシツトリト活付ルニモノシ時ニ人ノ脾ニモノハ陽氣テ立ツソノ陽
氣伝モノハ天地ト一枚ナモノシソコテカヤフニ虫キナカラ〳〵テ居ルハ陽
氣ニソノコシソノ陽氣ハ即脾胃ノ陽氣テシ扨テソノ次気トニモノハ
至テスナオナル安カナモノテ逆フノ證ルノトキニハ無モノ沖順沖和気
ニモノシソコテ寒ニ遇フト鬱シテ热ニ変シ濕ニ遇ト重ドフナル活水ノ付タヤフニナルシソコテサレノ邪氣モ据スモノ
ナリ内外ヨリ起ル邪ハ皆此ノ陽気ノ目的ニ攻入ルテソ扨テソコテ此ニ
藿香伝モノハ脾胃ノ気ノ厥濁ノ気ノ合テ居テ風寒濕ノ気ノ
感シテ居ルヲトルモノシ呕吐ハ脾胃ノ發遣ノ所〳〵ヘ厥濁ノ氣ノ
付クニ〳〵呕吐トナルナリソノ痰稽ヲトル二〳〵ニ念ルシ發散風寒トハ
本ト宣剤ニ〳〵發散スルシ尤痰濁ヲ合ム氣ヲ發散スルシ霍乱ハ脾
胃ノ陽氣ノ運ラヌ所〳〵何ソ外ヨリ稽痰ノ氣力入ルト霍乱トナルナリ
芳香テ痰稽ハハラフニ〳〵ニ念ルシ兎角内テモ外テモ脾ノ領分ノ内
〳〵悪気ヲ含テ居ル風寒テモ内ニアル痰濁テモ皆取ルモノシツ〳〵リノ
所ハ何ソ内ニ稽ノ濁気ヲ含ムトヨロ〳〵邪ノアタルオトルモノナリ

○桃柳辛溫〳〵――破気トニ稽ノ氣ノ厥ニモノハ並ノ二非ス殴シ

第ノ多リ滞テ重ナリテ居ルモノテ毒ト破ル伝ハレ又シ第滞ルトソノ中ニ虫ハ生スルモノ第カ滞ルト水ニナル又ハ痰抔ニモナルシサスレハ虫テモ水テモ第ノ滞リヨリ出来ルモノナラハ留取ルモノシナレ共ソレテハ何テ破第スルカモレヌソ扨又腸胃ノ中ナリ腸胃中ニタマル実ハ皆破ルモ腑第ニ能用ル物モシ是ハキクヘキコテ元ト脾胃ノ同ニ営シテ居ル湿第シソ湿カ上ヘ逆スルト衝心ナトニナルシ此ノ横痃ハ腸胃ノ湿ソト云ニ腑第ニハヨキナリ痞ハ気ヲ破ルモノナレ共湿テメ実ノ破ルモノシ乾タ第ニハ不宜ナリソコテ別テ此ノ気ニヨキシ瘧抔ニ用ル物モ湿気タモノユヘヨキシ故ニ水ヤ痰ニヨクナフニシテタモノヲトルモノゾ

○肢皮微温、一是ハ痞極ノ皮ユヘ大抵ハ似タモノゾナレ共皮丈ケ遠カアルナリ能書テアルシ此ノ通リノモノシ是ハ気ヲ下スモノシソ下気ハ何ソナラハ胸膈ニ於テアツリタル気オ下スシユヘニ下腸気ニ扱テ脾胃ニモハ気カ虚スルトソノ気カソノ為ニ第カ運ラスタメル何ト当気湿カアルトソノ為ニ第カ運ラスタメル湿熱カアルト蒸シテタメル何ト当気カメルシソコテソタメル第ヲシ下サケルユヘ胃モ安穏ニナリ脾胃ノ湿熱ヨリ立上ル気ヲトルユヘナリ浮腫ヨリウソバテハツト腫ルヽ是カ即腸気ノタメルユヘノ腫ハ水ナスモノニラズ第ノ滞リテ第ルモノソ偏ニ枕無シ臥スルト腫ルヽアルモノアレモ水ニ非ス第滞ルユヘニ腫ルモノゾソコテ腸第ヲ上ルユヘソノ気滞ノ浮腫ニ去ルテソ悪腸胃第滞ナトリ肢皮ハ皮丈ニ腸ノ上方ヘ行キ皮膚ノ表ヘ行ノナリ

○香薷味辛――香薷扁豆ト挙テアル是テ暑邪ノ義ハ大抵二味ノ意テおレリゾユヘニ二味ヲ挙タモノゾ皆アッテ中ル容易ニリテ挙テアルし暑ニアタルト便溏スルモノ暑邪ヲアタリガツクナリソレハ如何ナルユヘトナラハ水道伝ハ即脾胃ノ陽気カ亦豆スルしソコテヲノ水道ノ方ヘアタルモノし是ハ発散スルモノテ宣剤し外ヘ肢気ヲ通テ皮膚ニ処迄ハツトし涼レフレテ発スルモノ且ツ内裏テハ水湿ノ脾胃ニアルモノヲ利スル伝モノテ暑邪ニ適当ノ薬ナリ

○扁豆微涼――香薷ハ暑邪ノ表ヲすり扁豆ハ暑邪ノ裏茶し消暑ハトアリテ暑熱ヲ水ッウツテ消ス伝ヤフナモノゾ轉筋ハ霍乱ヨリ来テ脾胃ノ陽気カ上下ヘ一度ニ脱ルト津液不足ニテ筋カ乾ク故轉筋スルし又本草ニ補脾トニ所アリアレハコレソノ人参白朮ヤフニ補フモノテハ無ケレモ脾悪湿ヲ主トナルモノユヘニ補脾トニコモアルし真ニ補フニ非ス下ノ条和胃ニモ脾ノ湿ヲ取ユヘニ宜ハ下ル胃ハ和スルし消毒能化ノ消トニモノハ熟物ナレモ本湿テ水ナレハソノ湿ヲトルモノニ消毒モトルし全体ハ脾胃ノ不運リノ処ヘ湿カアリテソノ所ヘ暑邪入ルモタトルし脾胃ノ湿ヲトリ暑熱ヲハラフモノし香薷ハ暑邪ヲハラフユヘニ湿ヲトルモノ白扁豆ハ脾胃ヲ止ヘニ暑邪ヲ解スル伝モノナリ

○猪苓味淡――是ヨリ以下ハ通剤ヒ是ハ利水伝モノヒ水ト湿トハ同物ヤフナレモ細ニスレト別し水ハ寒湿ハ土ユニ別答リ

ナレモ水土一体トシテ同物ノモノ
シ土ニ有湿無水アリ有水無湿
湿ノトリテモ水ノ利セヌカアル
通淋モノシ故又面ニ燥多ク滑多ニテガアルシ榆白皮冬葵滑
石赤小豆色ノモノシ此ノ猪苓ハ甚水モ湿モトルモノシ
シ是ハ通ノ字ノ義ナリ淋モ色ニアレモ何レ湿滞ヨリ来ルモノナリ除
リ発ノ燥スモノ土ニ多ク服スルト損腎ノ患ヒアリ立ニ戒タモノゾ是
ハ何ノ一モナフ水ノ通スルモノシ功ノセニモノテ何テアロフトモ水ノ塞リ
滞テオル所ヲトルモノシ膀光水カアルト陽気ハ下出スニ
傷寒論ニ発汗ニ用テアルナリ

○澤瀉苦寒――消腫止渇除湿通淋皆猪ト同シコトゾ
ナレモ陰汗自竭トシカ作者ノ用心タル処シ陰汗ハ前陰両股辺ニ
汗ノ出ルヲ是ハ下焦ノ湿熱ノアルヨリ出ルコトゾソコテ猪苓ハ湿ヨリオ
トルモ沢瀉ハ湿ヨオトルテ切カヒロヘシサスレハ消腫ノ腫モ是ハ下焦
ノ湿ヨリスル腫シ淋モ湿ヨノ淋ヲトルナリソコテ沢瀉ハ熱ヒ
ヤスニカ主シ是ハ湿ヨニモノハ如何ナルモノトナレハ流水ノ如キモノシ
ソノ流水モ急湍ナル所ハ水モ色テ冷ルモノナリソノ流ノ遅ク所ハ水モ
温ナルモノソレカ即湿ヨニモノシ立ニ腎ノ蔵カ悪ルト熱カ出ルシ
悪ヨナリソノ熱ヲヒヤシテ湿ヲ乾スヨニモノシ立ニ八味丸ニ入テ居
ルシ陰汗ニモ是ハ下焦ノ湿ヨテ腎ヨリ閉蔵

スルモノナルニ肝ノ陳泄ノ化ノ入リテ汗出ルニモノハ忽チ小ソコテ猶ホ湿計リヲトルカ主リ澤ハ忘ヲトルカ主リ三ハ是ハ渾スルノナラスモノゾ

○木通性寒ノ――人身ノ水道ノ塞リヲ通スモノニシソコテ利水ノ薬トハヲワレヌ性寒ナルモノニ依リテ水道トミハ膀光ノヤフナレ氏膀光ハ津液ノ府テ水道トハヒレヌレ氏小腸ハ泌ハ水ト糟粕トヲ分ツ処ノ水道ニモノゾ此ノ水道ニ滞リ塞ルモノヲツトヲ通シテヤルモノナリ其テ二ヶ所ノ関又ハ利竅ヲ通経テ兎角塞リヲトフス伝フシ見セメモノゾソノ水道ニ寒リ滞テ居ルヲトルトミヲテ最能導滞ヒナリ扨又ソノ水道ニハ温ナルソノ水ニ寒リ滞ルトハ小便ノ出ヌ浮腫ノ病ヲ発スル道ニ塞リテ居ルヲ通ストヲヨリ外ハナイモノニシ通スニヲ大事テ煙管ノヤフニトオスヤフナモノクツト稲荷ノ通スハ三ツレニヤニハ着テ出ヤフナモノゾ又后世ハ通草トオ木通トハ異シ後世ハ通草トハ通脱木ノヲナレモ古ヘ傷寒論抔ニアル通草トハ木通ヲテ当時四通ニアル通草抔カヲレハ小腹私ニ湿忘ヲトルカ為シナセナラハアレハ小腹ノ処ニ湿忘ノ結レテ居ルニハ三ハ通スルニハ三ハ木通ヲ用テソノ小腹ノ湿忘ヲ通スカ為ニ又導赤散抔ニ用テアル抔ハ面白ヲテ蔵真通於心ニ主血脈ニテ通トニテアリテ心ニ伝モノハ燈ノ陽光ヤフナモノテ何処ニモ指テ通テ居ルモノシ心ハ小腸ト表裏タリトアリテ心ノ忘オトルニハ小

腸ノ滞ハ通スルヿ故ニ心小腸ニ入リテ水ノ滞ルヲ通スモノナリ

○車前氣寒ヽ――性寒ニテ水通ト似タモノナレ氏大ニ異ナルモノゾ溺渋不爽陰肝ニ入リテ尿ノ多ク出ルヲ主ルヿ車前子ハ肝ニ入リテ尿ノ出ルヲ主ルヿ

○小便ノ秘スルモノニ大便道ノシブリテ小便ノ秘スルモノニラヌヲシレツカリト実サセルモノ

○小便カ閉ルト大便ニ走リテニルヿモノシニ水通ハ小腸ニ入リテ水道ノ塞リヲトフスモノ車前子ハ肝ニ入リテ尿ノ出ルヿヲタレソノ眼モ肝ノ主ノ尿ノ出ルヿヲサスルモノシ是ヲ小児ノ眼ノ薬ニ用ニルヿモ肝ノ目ナラハヨキシ又是カ肝ノ虫ヲウツモノニ虫ヲトレハ陰氣ハ長スルシニ補肝腎ハトモアルシ古人ハ味丸ニ車前子ヲ加フルヿ多クテヨキ名リ是モツヽリハ肝腎ノ陰氣ヲ益スモノナリ

○地骨皮寒ヽ――是等ハ腐モノテナシ難モノシ扱テ總テ薬性ヲトリニハ此ノ意アルヿテ先ツ此ノ條下テニト肌骨陰血ノ亟ニ多ク出テアルサスレハ肌骨ト亟ト陰トノ分ニ入ルヿナレハ又退ヲトアレハ也ヲトルヿハオレルニニ地骨皮ハ血分ニ陰分ノ肌肉ト骨トノワタリテアルヲトルモノシ兎角ソノ虫ノ結ヲ勿論肌ノ虫ヲトルナリ左モ熱ヲトル伝ニテ退ヲトルシ骨蒸モ有汗カ目アテシ壮丹ニ無汗骨蒸ト汗ル伝ハ外ニアル熱カ陰カ血多ヽ結レテモ浅レテ結レルトモ有汗ナリ同シテモ深ミテ出レフ結レルト無汗ナリ地骨ハ浅ミテ開テ泄ルヽヲ治ルモノニニ是ハ肺ニキクモノ壮丹皮ハ深ミヽ出レフ結レルヿ閉シ

無ノ方ニ肝ニ入ル〻地骨ハ陰分ノ血分ニ深リ結レテアル故ヲシテ
ルモノナリソコテ是ニ甘ハ組合セテ深ニテモ浅ニテモトフモ行クモノ
ニ青蒿柴胡ト組ト組ト表ニ行キ柔白皮ト組ト肺ニ入テ喘ニ
効アリ知母黄柏ト組ト深ニノ処ニ行リナリソコテ表裏内外ニ何
方ニモ行クモノシ當帰風労ト云テ風ヨリ盗ニテ起ノホカ一ト云
リテトレヌニ用ユルナリ素ト血ヲ補ヒ此ハ冰氣ノ弱ニ入テソノ陰氣ノ
弱ニ乏シノ処ニ奥カツリニ何ツ点モ起ノトレヌモノソノ陰分ノ起ヨト
ルニ三ヨキ答ノ一何ノコモナク冰気ノ弱ニ着テ居ルヨトルモノツ
リ陰分血分ニ表ノ入リテ深ニ滞テ居ルモノヲサ〻シトルモノソ
○水汎味酸〻――是又知難ニモノデ全体酸ニ属テ腑ノ

方外ノ方ニヒカリテアルモノ泄ルヽモノヲシメルモノナリ酸テ外ニモル〻
陽気津液ヲチントシメテ出サヌヤフニスルモノソシメル故ニ和中ニ中
実ヲ和ス効カアルシ筋ノ轉スルモツトリハ筋中ノ気ノ泄ルニ故ニ
ナリ筋中ノ気ノ泄ルニ故ニソレヲ泄ヌヤフニシメル故ニ三ウルオフテナ
オルキヲソ湿腫脚気ト故テ湿ニ属モノハ重フナルモノシアレハ湿ハ泄ル
モノテヒカルモノシ一滴ノ水汎ニ落ルトヒロガルヤフナモノテ湿ハヒロカルモノシ
ニ湿カ旦ニテタルト旦ニアル湯気カ泄ルニ故ニ肺弱スルシ霍乱轉筋モ
中実テ津液カ泄ル故ニ又ニヨキシ本草ニ和中和食ト云ルモ何中
実ニ陽気津液ヲシテ補フ中モ和シ食モ和スルシ筋ニヨクキクモノシ
筋ト云モノカ津液陽テ通フニ〻ニ屈伸便ナルモノシ然ルニソノ津液

陽氣ノ本ニハ脾胃シ脾胃ニ何ゾ二アリテ筋ニ津液カ通ヲ又ト拘
攣モナリソコテ是ハ脾肺ノ津液ヲレルトヲモノテ右ノ方ノ脾肺
ノ氣通ノ津液ノ無ヲレメテ補フモノシ此ニ故アリテ是ハ溫劑シ立ニ
氣道ノ行ヒナリ芍藥ハ同レヤフナモノナレ氏左ノ方血分ノ肺腎ニキリモ
ノシ故木瓜芍藥左右氣血ノ分アルシ○問酸ニシテ肺ニ入ラサルハ
何ヲ此ノ酸トヲハ肝ヲレメテウツトヲ云ハレヌケレ氏本トウツト云酸ナリ
○蔵雲菩溫ノ一風濕皆用トアレハ風寒濕ハヌモルシ然レ氏
腰膝冷痛モ風寒濕ノ邪カ入リテ久シフ痼滞スル立ニ膝冷
痛スルシ痺痛ト塊ノナレ氏乗レト脇股ノ方ニアルカタメリヲ痺痛

トヲコソ内ニ積痰抔カアル或風寒抔ヲ受ルト痺痛抔ニモナルシソコテ
是ハ宣剤ノ中テ尤モ強宣剤トヲニハ非ス故ニ鬼角風寒濕ヲ去
ラス去月久シフナリタルモノヲトルモ新シキモノニハ能リ効無モノシ
是ハ金花陽氣ノ力ヲ強クスルモノテ鬼角風濕抔ノ早速トレ
又ニモノハ内ノ陽氣カカ(十)立(ル)故ニソノ陽氣ヲクツト力ヲ付ル立(ル)
ニ年月久シ(風濕ニハヨキ告ノテソ年月久シフ痼滞シタモノヲ
陽氣ノハリヲ付テクツト逐出スモノナリ立(ル)ニ宣劑ノ中ナリ
○牡丹苦寒ノ一味ハ辛苦トヲモノシ深剤シ破血トアル
寒ヲトル立(ル)ニ丸ノ瘀血ヲトルモノシ瘀ニハ寒迚トノ二因アルシ是リソノ
丸ニヨル瘀ヲトル立(ル)ニ經ヲ通スルシ血分有迚ト牡丹ノ奥功能テ是

有汗ハ津液外ヘ
モレモノ死汗ハ津
液内ヘ留ルモノ

ヨリ外ナヘ〳〵ト無ク無熱ヨトル主薬ナリ無汗骨蒸ト迫ニ上ニ云通リ血分ヘ熱ノコモリヤフノ深カヘトモ無汗ナリ地骨ハ浅ミヘコモルユヘトル骨蒸ハ同シケレモ浅深ニ分テ遠カルシ傷寒ノ桂麻ハノ場モ浅深ノ有汗無汗ノ分アリ如此同意ノ地骨ハ血分ヘ入ルト云ヒ無汗ナリ散リヒロカリテ居ルオトルモノ牡丹ハ血分ニ結シテ居ヲハツト散シテヤルモノテ古人ノ伏火ヲ心ニハハ此ノ理シ公薬陰分ノ血分ヘ入ルト云コオ書テアル古ヘノ語ハ各故アルコテ牡丹ハ血分ヘ入ルモノテ陰分ヘ入ルトハニヲワレヌモノテ血分ヘ入ルモノテ血分ヘ入ルトハニヲワレヌモノテ血分ニモ陰分トニモ同シカラヌヤウキナレモ各異シ此ニ各面白ヘアリテ牡丹ハ味丸ハモ入リテ八味丸ニ下焦ノ火ノ動キナリソノ火動スルト上ヘ

外リテ心ト心主トヘ付リナリ彼ノ下焦ノ火外リテ心包ニ付ケト即伏火ニモノソソノ热ヨトルヤリテニハ味丸ニ入ルハ全ノソ伏火オトル為シ古人降心火抔ニモ此ノ意テ降心火ニハ非レモソ伏火ヲトル

十三心火ハ降ナリ

○玄参苦寒ヽヽ悪ハ補剤テ腎ノ陰薬ヲ補フモノシ清無根火テ尽テ居ル無根ニ下中ニ一朝夕テ済スコテ解セヌコシ陰陽無根シテ居モノナニ陽ノ自分ノ根トナル陰気カ無ト上ヘ外リテ火トナル兎角下焦中焦ノ所ヘコワツヘノ居ル火ヲ無根火ニシ近世ノ陰虚火動ニトト大抵同意シ無根トハ自分ノ〳〵ニナル根ノ切レタルモノヲナリ下ノ一段カ切レト上ヘコワツノモノナリナレモ

下ニ水ハサツハリ昏テ居ルモノニアラズ下ニ水カアリテモ上ニツ上ルト無根ニシテモノシ下ヲ離レテ中切ルト無根ナリ井ノ釣瓶ノヤフナモノテ水ヲ離ルカ無根トニモノシ消腫膿物ニカ皮肉ニ出来テ筋骨ハ離レテ居ルモノテ矢張無根ノ意ナリ補腎薬ヲテ薬モ元無根ノ火ヲ清スルニ補ニナルテ尤ヨキ書ヤフナリ是ハ咽喉痛ニ能用ユルモノ又鮮毒ノ効カアル纏喉風ニ用ユル皆鮮毒ニヘナリ兎角水ト熱ト結レルト温忠トナルスルト毒カ結レルモノナリ

○沙参味苦、一甘苦微寒ニ位ノモノテ陰気ヲ補テ肺ノ邪ヲトルモノテ補肝トハニワレヌハナケレ氏全体アシキシ肝ト肺トハ克シテ相助ルナノナラヌモノシ兎角是ハ肺ノ忠ノ清シニゴリタルヲ清スルモノシ並肺ニモノテ肺ノ忠ヲトル二ニ並ストニナリ腫物抔ハ皆皮ノ分ニ出ルモノテソノ肺ノ忠ヲトル二ニ消腫膿ヲモ推スト云ヒ尚時能肺癆肺癌久嗽抔ニ用ユルハ皆肺ニヨリタル毒ヲ消スルニヘシ肝ト肺トハ相克ユニヘシ両補ハ出来ヌモノシナレ氏退忠除風トテ肺ハ忠ヲ昔ミ風ハ肺ニ入ルモノ二ニソノ忠ヲトリ風ヲトル二ニ補肝並肺ニタモノナレ氏是ハ補肝トニ雑解シ左唐ノ甄権カ云タ語ナリ古人沙参ヲ人参ニカヘテ用ユルアリ胸ニ忠ノアルモノハ人参大ニアレハノ時ハ沙参カヨキナリ二ニ人参ハ全リ大補ナリ沙参ハ瀉ノ意ナリ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

○丼參味苦、——是ハ面白キモノテ古方ニ用テアルモノニ
補劑ニ何テモ瘀血ヲ破ルニモノニ調經ノ主行モ色ニアレモナ
ニテモ調又ハ調ルモノニ破瘀血トニハ水蛭ヤアナレモ左ニ非ニ此
他ニ易リテ瘀血ヲ破リテ補フニ効カアル而シテ血ハ去リテヨキ新
シキ血ヲ生スルニテ大ナル腫物ノ癰疽ト癌ハ總テ
○苦參味苦、——癌腫トニハ大ナル腫物ノ癰疽トアルカラハサテ出来モノニ而ヒ
ノ腫物ノナレモ此等ハ上ニ癌腫トアルカラハサテ出来モノニ而ヒ
易リテ居ル出来モノヲヨリ扱テ是ハ味ノ苦ヘモノテ百菜ノ苦味
中ノ最一ナルモノニシテ二ヘニ苦ニテ濕ヲ燥シ志ヲウツテハおレルヨリ是カ深
剤ニ扱テ又病ノ理テハ風ニモノハ浅淺テ各病ノ要ナルモノテ此ノ

風カ外ヘ出ルト瘡腫ニナリ内裏ニコモルト下血腸風トニヤフナモノニ
ナルニ或ハ衄血吐血トナルニ或ハ驚風癲癎トニヤフナ類モナルニヘニ
風百病ノ長ニ有之故ニ此等カ瘡腫下血腸風トニハ殊ノ外遠ノ
ヤフナレモ内裏ノ病理テハ同シテ同風テモ外ヘ出ルト瘡ニナリ内
ニ溜ルト腸風下血ニナルニシソコテ大カ甚シヘト風火相扇ノトニテ
ニ生ジ熱トニモノカ出来ルヌ温カ甚シヘト虫ノ生スルナリソコテ此
ノ條下ノ病ハ皆虫ノアルモノソ下血腸風モ甚シフナルト痔ニナル痔迚
ト虫ハアルモノニ是ハ浮火モノニ火トニ中ニ温志ノヌメテ見ルヘ陰
氣ノ補フモノテ肝膽腎腸胃トニヤフナ陰ニ付居ル温志ノ瘀
濁ノ燥シテトルモノテ風ヲモトルモノニ

○龍膽苦寒ス――下焦ノ湿ヲトルモノニシテ下焦トハ大腸小腸膀光膽五藏ニハ肝腎トヲモニシテモノニシナレモ左肝膽ヘ入ルカ故ニ肝膽ノ湿ヲノ逆シテ起ル眼赤疼ノ癢ヲシ是ハ肝経ノ主ヲ浮スル伝モノニシ甚深ハ膀光ヨリトルニ小便ヲ利スルトヲ効カアルニ三通剤トニテモ非レモ先ッ通剤ニシソノ湿熱オ小便ヨリ導リ伝モノニシ又下焦ハ肝ト腎ト通スルモノニシ肝腎ハ筋骨ノ間ニアル寒熱ノ邪ヲトルトヲ効カアルナリ一ト通リハ肝膽下焦ノ湿ヲヲトルモノニシ今一等深キ所ニハ筋骨ノ湿ヲオ

○五加皮寒ス――是ハ本経上品ノ薬ニテ寒ニハアラズリテ辛

湿ノモノニシ痛風痺ハ風寒ノ邪カアルト痛風痺ニナルニシ健歩堅筋ニハ筋ニ入ルモ益精ヲニハ骨ニ入ルト知ルサスレハ筋骨ニ入ルモノニシ若シ風痺痛モ去ルヰトゾ健歩ニニテ肝ヲ補フニハ宜レル益精ニニテ腎ヲ補フニハ宜レル止瀝トハ除瀝トアルニテ腎気ノ弱ニノヿニシサスレハ筋骨ノ痛ミ風寒ノ入リ肝ルヲ肝腎ヲ補フテトルモノナリ養生ニハ必用ノ薬ニテ能用テアルニ

○防已寒ス――全程寒スモノニシ風湿脚気トアル脚字ニテ下焦ノ病ニテ下焦ヘキクトニテハナレハ左ニテ病モノニキクトニテオ見セン為ニ換積膀光ト換ノ字カアルニシ扨テサスレハ兎角下焦ノ水

道ニシ湿ヌヲトルトニカカヒル汚已ハ水道ヘキクモノナレ𤍠血分ヘ入ルモノシ
血分ハ物カデ渋ミノ所ニアルユカヲヌクアルユヘ下焦血分ニ結シテ居ル湿
ヌヨトルモノシ𤍠モ甘シヘ通剤テ誰シモ小便ヘトルトニテ斗リ心ガルハ
誤シ血分ノ結ヲトルモノナリ𤍠小便ヘ斗リ包スルテナノ但シ剤ニモ
ノテソノ混合テトフモナルナリ大黄ト組ト大便ヘ通スル木通ト組ト小
便ヘ通スルナリ

○地楡沈寒ヽ――切用ノ狭ヘモノニテ沈ヤヘモノニテ渋ミヘ沈テ
血分ヘ入ルモノシ血炎堪用テ血分ノ九ヨトルコトハシレル上ヘ血痢モ下焦
渋ミヘ熱カ入ルトナルシ常前モ一度失血ヲ見ルテ金瘡疽角切疵ハ
元ヨリ湿気ノアツルモノ𤍠南ヲユヘ三事モヨリテ来ル熱ヲモツ上ヘ癰
ヘシ是ハ湿ヌヲトルモノシ然ルニ湿ヌニ種々アルモノテ皮肉ノ分ニ結シ
ルト瘡腫疥癬ノ類ニナル又血分ヘ入リテ筋ノ湯ノ沸揚ルヤフナル
モアリ地楡ハソノ筋ノ湯ノ沸揚トニヤフナ時ニ用ルモノシ上ニ沈ノ伝
性テ無ヒナラヌナリ沸コボルヤフナ熱上ニ此アル病カ皆外ヘ泄ル病
斗シソノ沈ムトニモノテ沸コボルモノヲ上カラオサヘテシメル気味カア
ル地楡ハシメルトニカアリテ是テ無ヒトフキコボルモノヲ止ルユハナラヌ

○茨神補心――是ヨリ以下ハ補心菜ヲシルソ補心ノ条ヲ
ツヾ遠カアルシソレラナラヌユヘトナラヌヌシ是甘平ニシテ毒トニモノテ茨苓
ト同シモノシ𤍠苓ノ中ニ松ノ気ヲ多ク承テ居ルカ茨神シソレ丈
遠ユ斗リシ𤍠補心トニニツアリ先ツ心ノ血ヲ補トニヲヲ補フト

ニツアリ皆汝ハ血ヲ補フモノ此ノ神ハ氣ヲ補フモノシ兎角心気カヌケスルト物ニ驚キ少シノ事モ胸ニドクヽヽ動気カウツテ怪ヲスル症ヤフニナルソレソレツトリテ鎮メ落付ケヌリ恍惚ハ有カ無カウロリトシテ居ルヿ健忘シタリ心氣カ上ヘ上リテ怒悪ヤ拍子ヨキシ皆浮立ツ氣ヲシツトリト堅メテ痰ヲ付ケルモノテ是迄ノ通リニテハリ扨テ前ニ参ト同シトニカ参ハ水道ヲ通スルトニモノテ大ニ遠ヤウナリナレ共道理ハ同シヿシ是ハ五藏テハ神ハ心ヘ入リテ氣ヲ補ヘ参ハ小腸ヘ入リテ水道ヲ通スルトニモノヲ心腸為配故同シヿ又参ハ濕ヲトルトニモノテ濕ト云モノハ曇リ久モノテ陰氣濕氣ノ心方ヘリタルヲトルシ是ハ譬ハ日輪ニ裏ノ時曇リテ陰氣アルトキハ濕ヲ

カ蒸シテトフモナラヌヤフニナルモノテ心ノ蔵ハ陰氣濕氣ガカルトキハ濕熱テナラヌナリソノ陰濕ノ come ハロテヤルカ茯神シ立ヘ茯ト同シヤフナ功トニナリ立ヘ心落ヲモノナリ此方茯神ハ真功ノ所ナリ

○遠志氣温ニ一是ハ又心ト腎ト入ルモノナリ兎角心氣ソノ協付ルモノナリ令人ヨク記トテ覚ルヤフニナルモノニシ又物ヲ覚ヘテモ又立面ニ出サネハナラヌ出ネハ用ヲヌソノ物ヲ思案シ歩スニモノハ腎氣ヲ落ヘ通ヘ出ル立ヘニ物ハ立面ニ出サルヽシソコテ心氣ハ腎ヘ通ヘ腎氣ニ通ハネハナラヌモノシソコテ是ハ心ヘ入ル立ヘニ腎ヘモ入ルトモシ

ニ心氣ノ補フテ下腎ヘ返ツテ行クトヽ云モノナリ左モ味ノ苦ヘモノテ下ヘ沈ムモノナリ丁ド月ノ雲リヨリヨトリ拂ヽ茯神ノ如キリノ月影ノ水底迄ニ徹ルニハ遠志ノ功ナリ

○酸棗味酸ヽ――味酸性寒ルニモノテモ非レモ涼トヽ云位ノモノナリ補剤テ潤剤ヨリ心ノ落ノ潤ヲレメトメテレツトリト立收付ルト云モノナリソノ心ノ潤トヽ云ハ血ト汗トヽ云モノヽレソコテ心気カウロ――スルト汗ハ出ルモノヽレソレメトメル立ヘニトヽモノヽレソコテ心気カウロ――スルト汗ハ出ルモノヽレソレメトメル立ヘニ斂汗ヽ煩心ノ潤ノカワキ脫タルヽレソコテ斂汗祛煩テ功ハ昏テ居ルヽ妥眠ハ生用ニヽハ叓テ人ノ心落ノ寤トヽ云ハ何ナラハ陽気ナリソノ陽氣トヽハ即チ心ノ陽氣ヽ神氣ハ遠ナル地茅テハ同レテソノ神氣カサヲ――レテ浮ヘト眠ラレヌモノヽレソノ神氣カ沈テ伏シヲサヘラルヽトヽ妥眠モノヽレソコテ眠リ不眠ハ心氣ノ開タ閉ルトノ二ツアルヽレソコテ眠リ不眠ハ心氣ノ陽氣ニ預ル立ヘニ一味テ治スルヽ丸モ生用スルトヽ冷スナリ心落カ沈テオサヘラルヽト同ニコモル立ヘニ心落カ熟スル立ヘニ妥ル立ヘニ生用シテモヲサヘストヨノナルナリ又炒ル迄ナリ心落ノ陽氣カ胸ヘ鎮ニヲズフヲ――スルトヽ心ノ内カ冷シ立ヘニ炒用立シ溫ムル立ヘニ眠ムルヤフニナルトヽ此迄ハ通例今一等ヲト是ハ実ハ補心トヽモノニ非ズ肝胆ヲ補フニモノカ本ノ功ヽソノ肝ハ將軍ノ官テ武威ノ感ナル落ナリソレカ冷ルト眠ラレヌヤフニナルモノナリ

○葛蒲性溫ヽ――是ハ旬ヒモヨノ草ヽモノテ性溫ナルモノヽ

白ノ如ク濁リ泡ノ消ノ遅キハ濁陰ノ氣ヲ以テ散シ
テ上ニ通ゼズ竅補心トシテ心ノ落ニ七竅三毛ニテアリ賢愚ニ因
テヨクアルケレ氏アルトシアナヲ濁陰ノ氣カ塞ルオハット開テア
ナヲ開テヤル立ニ開心トシテアルシ利竅ト竅ハ七竅ソレ〳〵五藏
主ルハアルナレ氏皆心ノ陽氣ノ通フ所ニシテ陽氣ヲ五ニスルモノニ
竅伝竅ハ皆利スルシ開心利竅テ心ノ陽氣ノ通ノ竅前(アタル)モノニシテリ
濁陰ノ氣ハ皆トル伝モノシ去痺除風ハ皆血脈(アタルモノニシテリ
出声ハ皆陽氣ノ通ノ道(陰気カサヌルト声不出ナルソノ陽氣ヲ
通スル故ニ声ハ出ルシソコテソレヲ古人禁ヲ利ニ用メモ腸胃ノ毒氣上
胸中(逆スルソノ濁陰ノ毒ヲトル故ニ食ノ出ヌル様ニナル用テアルシ

兎角通竅補心ニ切ノモノシ

柏子人蓯智二氣脱漏見求蓯蓉巻四シヤセンシ巻二依附于後

○甘松味香(ヨキ香ハシキハ脾胃ノ入ルナリ)ニ誰モヨク(旨ハ
スキナルモノテ脾胃(触入ルニシ故ニ香トミテ脾胃イ入ルヽヲシ
悪氣ハ冷メ悪ハトルシ活体スルト肌肉ヲモ香シフスルシ心腹ノ痛ニ
モヨキシソノ香テ悪気ハ何ルモトルナレ氏モ脾胃ノ領ラニヨキシ二
外ハ肌肉内ハ心腹トミシ脾胃ノ分野ヲ主ニアルシ且又理気醒脾
トニ方アリテ理ハ糸ノ乱レタルヲ治ヲ立テサカシモシテ心スコシ分後
ノ気ノスヂミチ立テヤルナリ又脾胃ノ悪阻ノ気ノ昌テ居ルヲサ
ツパリト拂(トリテ陰気ヲ拂ニ醒脾トモアルナリ

○○小蒿性溫
○○大蒿辛寒――是ハ大蒿小蒿ト云ヒ小蒿ハ性モ知レルモノナレ
大蒿ハ船来ノモノテ往往知レヌモノトシ形ハ大ニ異ナルモノニシ小蒿ハ
細ナルモノ大蒿ハ八角蒿香ヒニテ八角ナルモノテ大ナルモノニ効ノ
似タモノユヘ一所ニ説ナリ性溫ナルモノテ能除痘瘡ニ効アル
モノニシ痘ハ氣ノアツル病ニシテハットト散シテヤルナリ病カアレ胺痛
ヤ奢痺スルモノナリ陰寒ノハットチラス立ニ中焦ヲ調ヘ胃中ヲ
後ルナリ中焦ノ陽氣ヲメクラス立ニ○大蒿ハ味ニ辛トアリテ
小蒿ヨリハサシ強テ辛杰ト云位ノモノニシ膀光ト即下焦ヲ胺トニコ
レ逐フ立ニ痘氣腑氣ヲ治スルニ陰氣ヲ開ク立ニ
止呕調胃モ陰氣ヲ開ク立ノナリ陰氣カアルト呕スルモノニシソコテ大

蒿ハ同シヤフナモノニシ是ヲワカツト大蒿ハ脇下命門陽
氣ヲ補ヘラスルモノニシソノ下焦ノ陽氣ヲ補フテ陰氣ヲ開ク立ニ
痘ヤ脚ハ治スル筈ナリ小蒿ハ光脾胃ヘ入リテ陽氣ヲ補
フガ主ノ効ナリ
○千蓋味辛――辛杰ノモノニシテ蓋附トテ補陽ニハ能用
ユルモノニシ是カ製法ノ妙テ生蓋ヲ干テ乾姜トスルモナルガ大ニ
効ハ異ナルナリ表ヲ解風寒ニト雖ノ心モ表ヘハキカスヤフノ氣カスル
時ニ表ノ風寒ヲ解スルニ兎角乾姜ハ陽氣ヲ大夫ニスルモノニシ
ユヘハ如何ナレハ陽氣ヲ守ルモノユヘニシ陽氣ハ何程出来テモ散
リテハ用立ヌシソノ陽氣ヲ散ラスヤフユヘ所ニ守ル立ニシ陽氣ハ丈

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

虚杰ノ症上ヘ逆スルト眼赤耳口鼻ノ病トナリ

夫ニナルヽソコテ一身中上下内外共ニ冰ニ冰ニ手丈夫ニスルトニモノヽシ二三風寒ヲ辨スルモノヽシ炮スレハ苦トニテ旦又製法テ炮ハツニ焼テ真黒ニ焼クヽスルト苦トニモノニナル大ニ効力亦異ヽシ即チ前ノ乾姜ノ切カ等強クナリテ逐寒トニモノニナルヽ苦ハクツト深リ沈ミ込ム堅ムルトニ切カアルソコテ乾姜ノ切ノナリヲクツト深ミテスルモノニナルヽ如此ニナルト陽ニキヲヨブコトカ乾ヽシコトナルナリナセナレハクツト深ミヘ沈ミ込テアツヽツテ居ルトニモノニナリ虚杰トテ冰気ノ居場ヲ離レテ出ルト外ト上ヘト熱カ出ルヽ此ノ虚杰トハ血虚衰ノコトリツヽリ陽氣ノ浮散スルヲヽシ時ヲ云ハ血中ノ陽氣ノ浮散スルモノテ此ノ虚杰ニ考症血症ニテ或吐血崩血抔ニナルモノ皆血中ノ冰氣ノヽレヽリ無ナルユヘヽシソノ血中陽氣ヲ

ニテ外ト上ヘフヲ〳〵スルヲレツカリト血中ノ深ニテ陽氣ヲ守リ冰氣ヲヨフトニモノ冰氣ヲヨンテ陰中ノ守リカ出ヽ立ヘ陽氣カ泄レヌヤフニナルヽ兎角干姜ハ腸胃ヘ入リテ陽氣ルトニカ主リ炮並ハソノ功ヲ血中テスルトニモノナリ

○附子辛熱〳〵―姜トハウラハラナルモノテ姜ハ辛温佐ノモノ是ハ大ノ辛杰ノモノヽ性之不守トテ守ラヌモノヽ体中ノ陽氣ノニチハアレモ何ソユヘテ寒テ居リテ行支ニ所ヘ附子ヲ用ユルトハツト走リテヒロガリテ一身中ノ冰氣ノ路ヲ通スルナリ是ハ硫黄ニ火ヲ付ルヤフナモノニテ硫黄ハ陽氣ノヤフナモノヽ如何トナレハ硫黄カ無ト火カアリテモ付ヌナリソコテ附子ハ陽気ノ絶タニハ用ラレヌモノヽ冰気

ノ何ソ故テ五蔵ノ間カ胸膈ノスミトカヲヤフナ所ヘカクレテ居ルトヲヤフナ所ヘ用ユルト真ソノ隠レテ居ル陽気ヲ燃付テ一身中ヘハツト行ラレテヤルモノヽソコテ並ニハ厥冷トハヲワレヌナレモ此ノ附ニハ何ヒ四肢厥冷トヲワルハナラヌモノナリ四陽ノ有テ是カ四陽ノ気ヲ挽モトストヲモノヽ鬼角附子ハカラタ中ヘ何ソナク陽気ヲ運シテヤルモノナリ又此テルヽ命門ノ火ヲ補フモノナリソノ命門ヲ補フニサヘ陽気ヲモ引モトストヲヒテハ出来ヌナリ

○川烏大棗、一一 蜀川ヨリ出ル好ニ川烏ヒロヒ附子ノ如シサホニハアルヽテ元ト同物ナレ共ソノ母丈厳シク生レキヽ附子ハ

ノ附ガナドヤカシニヘニ上品ヽ此ノ川烏ハ下品ノモノヽヒニ大熱ナルモノヽヒ当リハ矢張附子ノ如ヲサスニシテ強フシテ烈所カ此ノ如ク捜ハ無理ニ出スヽヒ附子ハ陽気ヲ能ヽスルニヒ寒湿ノ陰気ヲ能ヽスルニヒ寒湿ヲトルトヲモノヽナリ川烏ハ陽気ヲ補フヽハナラヌモノヽヒ是カ内経ニ乙通リ壮火食気気食交火ト云ル所ヲ川烏ハ附子ヨリハ漸ヽニ用ユヽ陽気ヲ益シテ仕舞ヒニハ陽気ノ寒湿ヲ除ヒテソノ陽気ノ寒湿ヒシメラレテ居ルヲハラフテトルヒニ湿痺寒疾ニヨキヒ鬼角風寒湿ヤ疾欬食ヤ心ト云ヤフナ何ソ毒物ノヤウニ取リテ居ヲトルモノヽヒ是ハ補瀉ヲ命ズルヽハナラヌ

モノテ燥剤トミテ燥カスモノテ却
テ故剤トイフモノナリ

○木香微温ノ――此辺ハ湿ヲ
サバク気ノ薬ヲ挙テアル時ニ此ノ湿ヲ
サバク気ノ内ニ気分ヘ入ルカアルモソノ気分トハ肺脾ノ一血分ニ
テ五蔵ノ内ハ心肺ノ二ツソ肺脾ノ奉ル右ノ命門ヨリ稟ルト又心
肝ノ血ノ本トニハ左腎ヨリ稟ルトソコテ薬ガ入ルサキハ多ク命門
ヘモ行キ血分ヘ行クサキハ左腎ヘ入ルト是カサキノ一例ト叙テ木香
ニモノハ辛苦湿ニモノテ気ノ滞リヲ散スルモノト時ニ気滞ニツ
アリ気亢アリテアルニ因テ気ノ滞リモアリ又気カ虚シテ運リカ
違クナリテ滞ルモアルナリソコテ此ノ木香抔ヲ気ノ虚ヨリテ滞
ルトニ場ヘ用ルモソ尤モ何ク迄テモ気ノ滞リヲ居ル所ヲ皆散ス
ルナレモ主ニ胃中ノ気ノ滞リヲ和スルモノナリ二ニ和胃トアルトナレモ勿
論何ノ気テモ能ク調ヘルモノト行ラレ上テハ肺ノ気ヲモスカシテ
行ラレ肝ノ気ヲモスカシテヤル程ノモノトニナレモ真ノ血ヲ
気ニヨリ之ヲ瀉ニモスカシ散ラス位ノ程テ他ノ瀉ノ如ク強カラス又血分ヘ
モ行リモノナレモ元ト瀉肺ノ力ヲテ気ヲ行ラスニ血分モ行ル位モノト
是ハ主テ稽ナルモノテ有形ノモノヲ取コトタワスナリ無形ノ気ヲ相手
ニシテスカシテヤルモノナリ二ニ稽実ト迫テ有形ノモノヲトルソノアトヲ
調ルトニモノニナルナリ

○沈香降気ノ――重剤テ宣剤トニモノテ上ヘモ沿ニ下ヘ
モ沈ムモノト降気トハ関ヘ無ルコテ破気推気トニテガアル能似タ

物カタサレカメ〳〵モノシ兎角陽氣ヨリノボト推サケテ後ガ付ルカ降氣ヨリ是カ香芳ノモノニ脾胃ヘ入リテ陰氣ヲ掛フコハオシレ追邪ハ邪悪ノ氣ヲ取掛フシ通天徹地ノ勿カアルシ氣ヲ衛ルコハ能外ヘ出ヨリハ自慢ノナルモノトシ是ハ胴腹ノ間ニ陰氣邪氣ノアリテソノ為ニ陽氣ノフルーシテ外ヘツカリテ居ル陽氣ヲシメテ守ルモノ附子杉ハサナキ以氣ヲヒロテヤルモノ沈香ハ升リテ浮ム陽氣ヲ能ク胃中虚寒ヲ治スルモノナリ

○丁香辛熱〻――丁子ニテ能ク胃ヲ暖メ氣ヲ降シ寒吐ヲ除寒吐トテ寒イ病ノ本吐ヲ病シ氣ノ芳ナルモノヲ胃ヘ入リ辛テ寒ヲ散ラスコハ知ルソコテ寒湿陰冷ノ氣ヲ燥カスモノテ鬼角寒冷ノ氣カシメルト痛ミヲリ逆スルト吐ヲナルヲリ去邪悪氣ヲ動モアルナリ

○砂仁性温〻――辛キモノヲリ遠アケレモ大抵黄芪杉ト位ヲ同シフスルモノテ万ノ藥ヲ養胃トアル養ハ字眼テ養トヲ中ニ行気滞中ノ意アルシ養トハソタテ養フ伝モノテ胃ヲソタテ養フトヲニテ胃ノ氣ヲソタテ養フ伝ラスルナラハ胃ノ邪ヲナルモノヲトリステテ胃ノ為ナルモノヲフヤシ掠テヤルカ養育スルトヲモノヲ云ニ脾胃ノ邪ヲ広スルモノヲトリ為ニナルヤフヲスル云ヲ正シソレヲトル云ヘ安胎スルシ脾胃ヲ陽氣ヲタレカシテ行ラス云ヲ通

経道滞ヒモノナリ砂仁補フモノナレモ養トミカめナリ

○蕪澄茄辛――胡椒ノ类トミテアルナレモ物産家ノ説ニモ胡椒ト功モ似ノモノナリ辛忠ツ出ス胸腹間ノ冷テ居ル陰湿ノ温ノテトルモノニシ是茅ハ功モ亦モノ心胡椒ヨリハ逐鬼ノ类トミコカアル斗リ止嘔追ハ椒ト同シテ寸胃中ニ寒冷カアルト張ヌル食モ化又痰ノ冷テ居ルヲ消レ水ニアル冷ルト氣カ咽迄届カズキヂ〳〵ツカヘルモノナリ

○肉桂辛熱――○桂枝小梗ニ古所テハ皆桂ノモチヒテアル本経ハモ桂斗リシテ千金方前後ノ方書ヨリ桂心肉桂桂枝トカレタト見エシカヘツテ遠ハアルキナレモ当リノ当ル功

肉桂辛熱
善通血脈
腹痛虚寒
温補可得
桂枝小梗
横行手臂

血脈トハ十二正皆ヘテ血脈トミモノ心

能ハ三味共ニ皆同シテシ辛甘温ナノ性味ハ三味皆同レソコテ辛テ発シテ居ル所ハツト共ニ散ス甘テ陰気ノ急ノ緩メ温ス陽気ノ助テ陰寒ノハラフトミコハ性味ヲ云レシ是ハ通血脈ニテ別録以来ニテナルカ効ハ尽テ居ルコシ血脈ノ塞リテ居ルヲ通スモノソノ塞ニ乱ミアルシナレモ肉桂ハ何ツレノ上カニウズ塵リテ居ルヲ通スシソノ血脈ヲ通スルニ栄衛血気ヲ通スルコト知ルヘシ腹痛モ寒ヨリナルモノヨキリ脾胃ハ中焦ヲ血気ノ生ズル所ヒソノ衛栄ヲ通スル程ノモノニ寒ノ迫ル腹痛ハヨキ筈ノ温補可得テ虚寒ハ温メ陽気ヲ引ヒ補テ温補ズルコハ随ヒ得ラルヘシトミコシ○桂支小梗トハ少サヘグキノコテワカレシ枝梗ノコシ是ハ即チ前ノ肉桂ト

同シテナレモ此ニ東垣之所謂洁家ト云ヲカアリテ自然ト根(ネ)茎花実
ハソノナリニキクモノニシソコテ桂支ハ花稍(キノト云効カアルニソコテ豆ノ方下ノ
方ヘモ行カステハ甘ケレモ豆腸ヨリハヨモ手臂ニ梭行トハヨキニキクトヲコニハアラズ外ノ
ヨリハ手カ花枝ノヤフナモノユヘニ横行トハヨキニキクトヲコニハアラズ外ノ
方ヘ行クトヲコニ行手臂テ通血脈也。止汗ハ汗ノ出ルハ血ノカレテ
リカワルフナルト汗ハ出ルモノナゼナレハ陰虚ニ陽気カ乗リ込ムニソレヲ桂支ハ血ヲ
陽気カ乗リ込ムニソレヲ桂支ハ血ヲ
スルユヘニ汗ハ止ムニ桂支ハ發表ニテアルニ止汗トハ矛盾スルヤフナレモ陽
気ヲハラスルユヘニ汗ヲ出シテ發表トヲワルニソコテ是ハ汗出ルモ不出
モノレニハ目ヲ付ズ肉裏ノアイヲ考フルカ肝ナリ是ハ川芎

麻黄ノアルトキ浩水ニナルトソノ塵芥ハ自ラ流ルニ此カ桂支ノ功ニ
ソノ芥ヲ引カケテトルトヲハ黄耆ノ功ニ舒筋ハ筋モ血脈ヲ潤
ヲヘテ屈伸スルモノソレカ乾リト屈ヌレトヲ云モノニナルニ此ノ桂支ト肉桂トノ別ヲハ乾姜桂ト組キハ肉桂カ
ヨレヲ黄桂ト組キハ桂支ノ方カヨキニ扨テ又兎角血脈トヲモノハ
気ノ張リト血ノ盛ニナルトテ能流行スルモノニソコテ桂ハ舟ニ帆ヲカケ
タヤフナトヲカ花ノ譬ニ舟ニ帆ヲカケルハ風カ無ト帆ハ用立ヌ水
カ芝ト舟ハ行カヌニ水モアリ風モアルテ無ハナラヌニソコテ水ハ血
ノ風気ノニ桂ハ血ヲ芝ニ通シテ張ラスルモノニ又抑肝風ニテ
アリテ節ヲ用ルト補肝ニナルナレモ芍ヲ過ルト瀉肝ニナルナリ

總テ物ハ甘シテ久テ瀉ナルモノヽ少ナセナレハ桂ノ釘テ初生
ノ木ヲウツテ置ト枯レルト古来ヨリ云ソレハナセナラハ木ニ生モノハ少
陽ノ氣ヲ得テ生レテ居ルモノナルニ桂ハ格別辛烈ノモノ
ユヘニ能リ陽氣亢ルユヘニ枯レルナリ又下ニ氣ノ上ラヌ症ニ桂ハ上テハ
ノ氣ヲ辛烈ヲ以テアルユヘニ肝ノ火ヲ散ス又補命門トモアル是ハ氣ヲ
補フ薬ハ皆脾肺ヲ主トシテ附子ハモ命門ヲ補フモノヽテナセナラハ
辛烈ノ薬脾肺ノ氣ヲ補ヒ能ク陽氣ヲ補フトニモノナルヘシ又下ニ氣ノ上ラヌ症ニ桂ハ上テハ
命門ノ陽ヲ補フトニモノニナルヘシ是ハ桂ハ上テハ
心肺ヘ入リ中テハ脾ヘ入リ下テハ腎ヘ入ルトニ焦ヘ入ルヘシソコテ沈香
抔モ如此テ上中下三焦ヘ入ルモノハツト下ヘサカル意カアルナリ又ニ兩

トクツト下ル道カ開ケテ付ク又ニ下氣スルナリ

○吳茱萸辛烈苦テ推下ル力アリ寒ヲ散シ苦テ推下ル力アリ辛苦ノ毒トニモノテ燥剌ス辛テ
カストニモノテ此ノ中ニ滞陰冷ノ氣ヲ温テ推下ス力アリ手ニスル毒テニヨリヲトル燥テ温ヲカヲ
ヲいたル開クナレ氏吳茱萸ハ辛トニモノテコモリ
テ居ルトニモノヲ開リモノヽ能調血氣ソノ温ヲシメテ上ヘ升ル氣ヲトルモノヽ
冷ニシメラルヽト血氣伝モヅソノ温ヲシメル證據テ吐酸呑酸皆同シテ
ヨキ酸水ハ是カ熱ヲシメル證據テ吐酸呑酸皆同シテ
脾胃ノ嘗シ脾胃ノ寒冷カシメルト酸ニナルシメルニヘ上ヘ薬ル
ヨリ中焦迄升リテ寒氣ヲトンモノナリ肺氣ニヨリ用ユルハ

脳腹寒疼モ寒カシメルニヘ疼ニテルヽ

吳茱萸辛烈能調血氣腹寒疼酸水通治

応気ニ用ユルト同シ

延胡索温温――是ハ活血ノ剤ニテ死テ居ル血ヲ活シテ運ラス気モノシ死血カアルト気モ行ラスヤフニナルソコテ傍ニ気ノ運ラシテ居ルヤフニナルソノ血ヲ活スル上ニ気ヲ運ルナリ人ニ血ヤリニ用ユルハアリテ組合テ気モ血モ行ラスモノシ茴香呉茱萸ト組ト気ノ運ラシ桃仁ト組ト血ヲ運ラスモノニナルシ瘀血ノ死血カアリテ気ニ陽気ヲタヽヒ下ス腹卒痛ニテ産後児枕痛ニ用ユル皆是シ此ノ活血ノ功ハ酒ニ火ヲ入ルヤフナモノソ酒ノ裏ヲモメスユヘニ火ヲ入ルト持説ニモ

甘入脾色白入肺涼ニモノテ肺ノ気ヲ降ス

○蒼苨味甘――脾肺ニ入テ湿ヲ降ス気ノ意ナリ

蒼苨味甘 専降湿痰 筋脈拘攣 肺癰肺瘍

フニトルモノシ元ト湿ヲトルモノテ行水ノ剤ニシ脾主肉肺主皮毛モノテ性微寒ノモノテ涼ナルニ(ニ)ヨッテス涼ナルハ金気テ湿ヲカハカスモノシソコテ肌皮ノ間ノ瘡ニ用ユモ湿ヲトルニ(ニ)シ修下痰湿痺ト湿ヲ降クトアルニ(ニ)キニ痺トアルカ字眼シ痺トアルハ年月久シテ痺シテ居ル下見ユルシソコテ是ハ鳥渡シタ湿ニハキカヌモノテ年月久シテ痼滞シテ引着テトフモトレヌトミヤフナヲトルモノシカヤフナ湿ユニ筋脈拘攣トカルシ兎角邪ハ何ニモアルテ最初ハ閉ルシカラ尚スルシヨリ結レルシヨリ堅リナルト邪ニ段格ノアルテソ此ノ蒼苨ハ能ク堅ヲ揚テ堅リ切タ容易ニトレ兎ルモノヲトルカ此効ヲ勤ヲヒタヤフナヲトルトハ是ナリ

肉蔻辛温　脾胃虚冷　浮腫不休　功可立等

○肉蔻辛温――補劑ノヤフナレ氏補劑トスモノニアラス溢劑トスモノテアルヘシ渋トスルニモ二様アルコテ泄ルヽモノヲヒトレセンヲスルヤフニ止ルモノモ渋シ烏梅栗殻是シ又泄ルヽヲトムルテナリテモシヽリヲ付テヤルモ渋劑トスモノナリ是ハ讃ニハ門ヲ番スルニ門ヲ閉テ番スルモ同テ置テモ急度張リテ居レモ番シ是ト同シヽシソコテ是ハシヽリヲ付テヤルモノシ芳香ナルモノテ脾胃ヘ入レ脾胃虚冷ニハ痰ヤ寒湿ヲノアルヽユヘソ容作テハ浮利ヲナルヽ是モ是斗リニ限ルニ非ス色ニアルヽ辛温テ脾胃ノ虚冷ヲ煖シ運リヲ付テヌレルモノナリ功立可等トハソノ功カ立ニヲ生ト等シフナルニテナリ尤脾胃ノ虚シタ利ニヨキモノナリ

草蔻辛温　治寒犯胃　作痛呕呈　不食能治

○草蔻――菓ト一所ニシテ状テアル同シモノトヲテアル備要ヤ時珍ハモ皆同シニシテ見テアルナレ氏本ト別品ヲ物異ヲ温テ寒邪カ胃ヘ犯シ痛呕味食等ヲ作スニハ位ノヽシ脇胃中ヘ寒カセミル立ニ考スヘシ斗リシソコテ干姜ヤ附子ト似タ格ナレモ姜附ハ陽ヲ補フトヲカ主ヒ立ヘニ寒ヲ治シ是ハ陽氣ヲ補フトヲ云程ノコトハ無モノナレモ寒温ヲ行テス立ヘニ陽氣ノ路ハヲヘテカヤフノ呕吐不食ナトモ治スルヲゾ

詞子気苦

○詞子味苦ノ――是ヲ味ニ取ルキビシクシメルモノテ固渋ニモノシ渋劑

渋腸止痢　テハ茅一盃ノモノヲ渋腸止痢モノテ是ハ最早病毒邪毒ナリ
痰嗽喘急　ロ虚シテ痢スルニハヨキナリ急ヲ緩リ甚シクシメルモノニハ若早ク用ユ
降火欬肺　ルト邪毒共ニシメテ大害ヲ為ルアリ慎ベシ左没火欬肺トニカ
功ノ本テ降火トハ肺ノ蔵ハ火ヲカ逆スルト肺カ浮アカルモノニナ
ルソコテハ喘咳ニモナルシサヤフニ逆スルト肺大腸表裏ソコテ気
カ上ハ逆スルユヘニ下テ気カ脱ルユヘニ痢テルシソコテ是カ本ノ功シユ
リハ大腸ト肺トヲシメルトニモノヲ左渋ヤニハ辛温ヲ以モノナル是
ハ苦モノテシメテ気ヲスカストニ意アルナリソコテ喘咳ニハヨキナリ
スカレテシメルユヘニ今声ノ不出ニ用ルモ肺ハ火ヲノ逆シテナルモノナ
テハヨキナリ肺ノ蔵ニ火ノ逆スルユヘニナルニハヨキナリ

○草菓味辛――此ノ根ノ辺ノ肉蔻草蔻良姜宿砂益
消食除脹　智ニ類ハサミツヽ異ナルモ大抵筋ハツモノシソノ自然ノ持ろハ
哉瘧逐痰　サミツヽアルテ透ヲ升リシ草菓ハ性温ナルモノテ脾胃ノ寒ヲトルモ
辟瘴　ノユヘニ消食除脹シ乞モ飽サヤト遠テ是ハ兎角内ニ滞テ気
ヲトルトニカ此ノ触シソコテ痰ヤ寒湿ホノ滞スルト瘧ニモナリ且
ツ胃中ニ寒ヲニ痰ホカアルト外邪気トウナツテハ瘟疫ホニモナル
ソノ滞ヲトルユヘニ皆用テヨキナリ又可カ達原飲ニ草菓ヲ用ルモ其ノ
意ニ邪滞ニ居ルモノユヘナリ此ノ菓ヲ附テ加タモノゾ

常山苦寒　○常山苦寒――近世瘧ニ触ニ触用ユ斗リナルカ古人ハ
截瘧呈痰　追ニ多ク用テアルニ吐痰ノ功カアルユヘニ瘧ハ治スルテゾ左吐剤ト
解傷寒杰

水脹能寛
ナレ𪜈至テ劇剤ニ上テ病カアルト吐シ下テ病ノカアルカ下スモノシ
ソコテ組合ニヨリテ如何ヤフニモナルナリ何テアロフ𪜈水トゝハ結シ
テ居ルヲトルモノヽ解傷寒ゝ水脹能寛スッゝトゝハ傷寒ノ
如キ大ゝテモトリ水トゝハ水脹トゝ程ニ一ツハ〳〵充満シテ居ル程
水ヲモトルトゝヲテ何テモ水トゝトノ結シヲ吐シテ下ルヽ𪜈モノヽシ
良姜性ゝ ○良姜性熱ヽ――下氣ゝハ胸中ノ氣ヲ下ストゝテ下氣スル
下気溫中 ニ溫中ナルシ下氣ハ辛溫テスルモノヽ苦寒テ下氣スルハ𪜈ナリ
轉筋霍乱 轉筋霍乱ニ胃ノ冷テ居ルヲ溫ゝ行ラス
酒食觸攻 是本草ノ一例シ下氣溫中テ胃ノ冷テ居ルヲ溫ゝ行ラス
ニ霍乱轉筋ヲモ治スルシ酒食ノ停滞ヲモ行ラスシ此ニアル
ヿハ良姜ハ尤物ノ腐シテ臭水ニナリタルヲトルモノテ食ノ滞ルモ

何シニアリテノヿシ同シ水テモ腐肉水ニナリタリ食テモ臭氣ノ甚シ
モノヲトルトニカ此ノ能ナリ

山査子甘 ○山査味甘ヽ――甘テ酸テ溫メルモノハ胃中ニ溫ノモノカアリテ
磨消肉食 ソノモノヽ為ニ抑ヘラレテ屈ムソノ抑ヘル溫ゝヲ行ラレテヤル
療痲催癈 モノヽシソノ中ニ是ハ肉食ヲ消スルカ主ニ肉食ハ別テ仰山ニ溫ゝカ出
消膨健胃 来ルヽ療痲モ胃中ノ鬱滞ヨリ生スル痲ソ治スルナリ催癈テ癈ヲハ
ヤラ出シタ〳〵ト思フ件用ニ𪜈疱癈ノ菜根ニ用ニ𪜈皆此ヽ是モ兎角
脾胃ニ鬱滞カアルト行ラヌニ出来ヌモノヽシソレヲトリ行ラスニ
く鬱滞カアル外ヘハリ出スモナリソレヲ上ニ消膨シ

神麹呆甘 ○神麹味甘ヽ――是本淫別録ニハ無リ甄權カ菜性論ニ

開胃消食　始テアルヒ古方ニ麴トミカアリテアレハ今ノ直ミカウジノコトテ酒母トモ
破結逐痰　モノ是ヒシ世神麴ハ造法カアリテ白麴赤豆杏仁青蒿蒼耳
調中下氣　蓼汁ヲ合シテ造ルモノナリソコテ是ハ余程効アル面白キモノシ
是ハ中焦ヲ辯滞シテオル結ヌヨドノモノナリ胃ノ前結ノ用ヒ
ニ進食スルナリ

麦芽甘温　○麥芽甘溫――能消宿食スモノテナレモ是ニ行ク効ガア
能消宿食　ルヒ是カ前ノ二味ト異ヒ左モ滞ル濕ホヲトリテ行ラスニ無自ラ
心腹脹膨　行ルモノナリ是ヲハヤメ用ルヿアリ是ハ中焦ノ前滞ヲ行ラスモ
行血散滞　ニ催生スルヒ乳ヲ出スニ用ルモ然リ○以上ノ三味ハ大抵ソノ効
似タモナレモ細カニ別ツト山査ハ内裏テツヽハルオトルモノ神麴

ハ中ニアルヲコナシテ結ヌヨトクモノ麦ハ無ヲ行ラスカ別ナル斗リ本ハ
同シナリ

○蘇子味辛――是ハ下氣消痰ニテ氣上ルヲ形氣トモニツレテサカルモノ痰ト痰ノ結ヌアリテ居ルヲ辛温テ用
ソレハ右ルヒ是ハ横行トシテ胳道ニアル痰ヲトルモノナリ二服

○白芥子辛――氣ト痰ソレハ右ルヒ是ハ横行トシテ胳道ニアル痰ヲトルモノナリ二服
テハ胳肢タデハ手臂ノ月トニヤフナルモノナリトカク横行ノ功ヲナスモノヒ
旁行横行テ專ラ胳痰ヲトルモノ

○甘遂苦寒――以下三味同シ効用ノモノナリ是カ本経ニモ
三味ヒニ下品ノモノ共ニ下劑ヒ故ニ効ハ似テ居ルヿ

薤子辛　破痰降氣　止欬定喘　更潤心肺

菓ハ上行下行　内行外行種ヽアルヿリ内ニハ　横行トニモノナリ

白芥子辛　專化胳痰　瘡蕩瘀塊　服之能安

甘遂苦寒　破癥消痰

ゾ二ニ別ッ人モアリ別タヌ人モアリナレ氏別ッカヨキナリソノ下剤ニモ色ミアルト性寒テ下スアリソノ物ニ濕ヲ持テ居テソノ濕ヲ下スモアルト下シブリカ川下ニ支ノアルハ川上ヨリ水ヲ流ストソノ支タルモノハトルモアルト奥堅シテ下スアリ又何カナレニ推下スアリ又鎮墜シテ下スモアリ又引カケテ下スモアルシ扱又下スモノニモ種々アルシ氣ノ鬱シコモリテ居ルヲ下スモアリ又ハ瘧毒胎毒帯下毒結毒蟲積寒濕毒抔ト色ミ下ス物モアルシ又場所モ種々アルシ五藏六腑ヘ入ルモアリ十二經ヘ入ルモアリ上脯ヘ入ルモアリ下焦ヘ行クアリ皮膚ヘ浮ムアリ筋骨ヘ入ルアリ又ハ風曲ノ所ノ邪ヲトルアリ色ミアルトソコテ下シブリモアリ下ス物モアリ

大戟甘寒
消水利便
瘕脹癥堅
甚功瞋脹

場所モアリソコテサマ〳〵ハ皆違ナリ不可系別也破徴ニモ水ノ主ナル癥ヘ甘遂ノ遂ハ遠也トニテ川筋ノアル所ノ水ヲ利スルモノナリ是ハ経脈ノ間ニアル水ヲトルモノナリ

○大戟甘寒、、一苦寒ノアヤリシ是ハ五苓散六腑ノ間ニアル水濕ヲトルモノシ花モ是ハ上部ノ水ニ用テアリテ芫花ト似タヤウナレモ此ノ大戟ノトル上部ノ水ハ本下ニアル水ノ上部ヘ升リテ胸膈ニ逆シテ升リテ居ルヲトルモノシ芫花ハ素ヨリ上胸ニアリ水ヲトルニ二ニ撃衝トモアリテ大撃ハ下ヨリ升ル水ヲ撃下スモノナリ案ルニキヒシキモノユヘ瞋脹スルシ扱又此ニ消水トアリ消字ニ意アルト云ヘモニテアルカ消痰抔ノ消ト違フテ此ハ意ノアルテソ消ハケスルニテ

煙ニシテ仕舞フシ此ニ工（アリテ氣水合一ナルモノテ水ト第ト八同
シモノテソコテ下氷ナレモソノ塲ニ周テハツト消テ散ス煙リシ
テヤルトニフカアルナリ大戦ノ戦ハ戦闘ヲニテサカラフトニテ
戦薄スルヲニナリ

○芫花苦寒ニ――消脹蠱ハ消蠱脹トニテシナレモ
韵カ協ヲ又ニ脹蠱痰吐トニタモノ痰吐モ吐痰トニテシ是ハ
花テ花ハ皆ノ上（行リモノテ是ハ上部（キリモノナリソコテ塲
所テハ皮膚（キ、五蔵テハ肺ノ蔵ヲ主リ居ルナリ又ニ上ニハ無キ此ニ止歌吐痰トアル胸中ノ方（キリ
又ニ痰トアルヒ又報讐効アリ総テ此ノ以上皆報ヒスルシ

ナセナラハ水温結ルト出ハ出来ルモノ又ニ皆報スルヒソ中ニ芫花
ハ効ヲサリテ居ルシ且又大便ヲ下スモノナレモ是ハソノ組合セニ因リテ
ハ小便ヲ斗リ通スルモアル（キテシ

○商陸辛甘――辛甘テ散スル性ハ寒ルモノヒ是又前ト
ハ違ヒ水ヲハチノトニモノナリ聚リテアル水ヲ内（トルヨリ外（ハヲ
ト散ラレハチノトニモノヒ是ハ刮腸トニテ金程キヒレキモノヒ腸
胃間ノ水垢ヲ刮ルヤフニキビレフトルモノヒソノトリメルヲ外（ハヂ（
テヤルモノヒ赤白ヲ別ツハ皆同レコテ赤ハ陽テ火ノ色ニ外（行
クニ外ノ腫レヲトリ白ハ陰テ水色ニ内裏ノ水氣ヲトルヒ是
ハ東垣ハ別テ用（ラレタモアルナリ　ハ格別当時ノ輩テハ

餘リ別ニ及ハス下リ

○海艸澁醎寒――ヲヽノ類ノアルモノテレモホダワラヲ用ユル
カヨキヽ海帯昆布皆効ノ似メモノアリ海艸澁ハモト水垢ノカ
一リタモノテ有形ナレモ無形モノヽユヘニ水湿ノ結
レヲトクニ用ユヽ醎寒テ熱アリテ固リテ居ルヲ突ニシテ下ル
モノナリ癭ハコブノ一消譫贅散瘰癧除腋腫破堅徹ルト云
モノハトフシテスルナラハ利水関閉ヲ通スルユヘし前ニ云通リ是カモ
ト水湿カタヽ下ヘニ矢張體中ニモ水毒ノアツリテ居ルヲトルヽ尤
是カ皮肉ノ分ヘ行クモノユヘニ瘰癧ヤ贅癭ノ類ヨリキノナリ
ナレモ内ヘ行カヌトニモノニハ非ルナリ兎角水毒ノアツリテ居ルヲ

奥ニテカメキオクタグモノナリ

○牽牛苦寒――誤テ牛ヲ午ト取違テゴノ音ト訓スル
誤ナリ牛膝杜モ同シテギフノ音ニ訓ルカヨシ牛ヲ辛ノ伝
ヨテ此ノ名アリ古ヨリ苦寒トアレモ東垣ヨリ苦辛寒トスウレタ
尤全程ヒニトシタ味ノアルモノテ辛トニ云ル功モ辛ノ意アルナリ何テ
アロフトモ内ニ溜リテ居ル水ヲトルヽソ溜リ久水カ外ヘ浴ヽト腫ニ
ナルヽソ水ヲトルユヘニ腫ヲモ消スルナリ脚気ヲ効アルナリ
是杜カ辛ノ功用ヽ辛トニテ白芥杜ト同意辛テハツト散リ脇
道ノ方ヘ行クヽ辛ハハツト推展ル意アルナリユヘニ疾癖ヲトルヽ是
ハ第一道ヘ行クモノヽ気ヲハ脾肺ヽ杖テソノ昔テ燥湿寒テカラテ

湿ヲトルヿハ知レルソコテ気道ノ湿ヲハツト散シテ下ヘ椎下ス伝
モノヽ如モ椎下シテ大小便ヘ水ヲトルモノヽ大便ヘヨワトルモノテハ便堅
ハサキモノヽ如ニ大黄牽牛ト組合セメヨキヽ如ク肺気上逆ヲ
苦トミテソノ上ヘ升ルヲハツト散ラス所ハ大戟ト同レヤフナレモソノ
遠ハ此ノ牽牛ハ一ツ毒トミテ悪テ来ルヲトルモノヽ如ク毒トハ湿湿毒
イヘヽ如ク二馬脾風トミヤフナモノカ疥癬ノ内攻ヲ用テアルガ毒
ヲソヒルヲ見ル二足ル所ナリ

○葶藶辛苦――是モ苦辛寒トミモノテ是 レヤセンシ五ノ下三丁ニ見ユ
○麦門冬甘寒――此ヨリ八九味ノ間ハ血剤ヲ語ルヽ時ニ此ノ血薬ノ内ニ行血トミアリ破血トミアリ活血アリ此ノ三ツハ皆浮剤

ノ如ヨキナリ又補血トミアリ止血トミアリ涼血トミアリ下痰トミアリ
散瘀トミアリ下血トミアリ又總テ苦ニ能通経トミテアリ是ハ月
支ノ閉ヲ通スルヨテ此ノ通経ニ各寒熱虚実アルヿヽ治ス
ト閉サスルモノニ寒熱虚実アルヿヽ治ス淋トミモ淋ニモ色ノアルト是ノ
ハ辛熱テトルヿヽ熱テ成ル淋ヲ治スルナリキビシテ破血スルヿヽ堕
胎スルナリ力程ニ用ヲ破ルヿヽ反テ催生ニ用ルアリヿヽ通経立應ス
是ハ本草ニ水血ヲ利トミテ下焦ニ水ト血トノ滞リテ居ルモノナラハヨ
キヽ古人ノ是ヲ霍乱ニ用メ却テ本霍乱ハ中焦ヨリ起
ルト下焦ヨリ起ルトアルヿヽ此ノ水血ヲ利ハ下焦ノ腎ニアラルヿテ腎ハ
胃ノ関ニアリテ此ノ腎蔵ニ於テ水血ノヲ利ヲ失フテ脾胃ヘ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

霍乱ニナルニ用ユルヲ以テ此等ノ病理ヲ見得テハ用立ヌ

○三稜　味苦――○莪朮　温苦――是ハ毒ヲ世保元ニハ次ノモ遠ケテ居ルナレ共似ノモノ且ツ能一所ニ組テアルモノユヘ三所ニヲヤリ

三稜ハ味苦トアリ備要ナトニハ性平トアルナレ共蘇ニ従テ温トスルカヨシ莪朮ト同シケレ共ニ浮剤ヲ止痛ハ消磨ユヘリ共ニ同シヤウナ効ヲリ共ニ積気ニ触キクモノ尤痛トヲヤハ触治スルモノシ此痛トニモノハ気ト血トノ行ルカ滞リ蘆ルト痛ムモノシヲノ気ヲ行ノリニナルニ先ツ気カ先ニ滞リテ血カソレニ従テ蘆ルカアリ共ヲサキニ滞リテ後ニ気ノ滞ルヲヤハ此ノ三稜ハ気ヲ行ノリヲヤリ行ラレテヤル故ニ気ノ行リナルヲ行ラレテ破血モノナリ莪朮ハ血ノ不行リヲ行ラレテヤルユヘニ気ヲモ行ヌストニモノシソコテ全体主客テ違アルヒナレ共今合シテ用ユルキハ同シケナリナレ共古方ニ一味用テアルキハ此ノ心得カ入ルヒヲノ二味共ニ用テアルモノシ是カ其カ大抵組合ノアルモノテ龍骨牡蛎当帰川芎陳皮半夏三稜莪朮ヲノ得ヲ其アルコソ

○五霊味甘――味甘性温ナルモノテ行血ノモノシ滞リテ居ル血ヲクツト流シテヤルカ主シ兎角ソコニ置カズ行ラレテノヤルトニカヲヲナリ湿ヒノ毒気ノ血ヲ〳〵ウツト血痺トナルナリ止血ニハ炒用ユル炒ルト温ニナリテ反テ浮血ノ方ハヌルフナルシ是カ行血ニヒケリ止血ニルトニハ大ニ異ナルヤウナレ共是ハ外テハ異ナレ共内テハ同シケナリ血出ルトニモノハタトヘハ吸血ナラハ陽明ノ中ニ滞リカアルユヘニ溢レテ蚊

トナルヒ亡ニソノ滞リテアル血ヲ行ラシテヤルモノユヘニ血ハ止ヲ答ノ一ヒサスレハ皆行血ニ止血モスルヒ尤是ハ服内ノ血ノ滞リニハキクモノナレモ手足ノ先ヘハキカヌモノナリ全体深剤ナモ甘温トニモノニテ何トナフ補フトヽ意味カアルモノヒ古人是ヲ崩漏ニ用テアルハ是ハ行血カリニ非ス是ラハ風ヲ取ルトヽ効カアルユトヒ尤ノテ尚白キ尤ヒ尤風トハ内風ノコトナセ風カ出来ルナラハ灰陰肝経ノ血カ虚滞スルニ風カ出来ルヒソノ風ノ為ニキヒシフ血分ノ動カサルヽトヽ崩漏ニナルコアリソノ崩漏ニ用ルナリ尤尚ヒ尤ノ

〇乾漆辛温、――是ハ書ラ破血ノモノニテ尤破無水蛭

蝕虫ノヤフニ大抵ハ寒ヌモノナルニ此ノ乾漆ハ温ナルユニ水蛭抔ハ異ナルヒ是ハ瘀血ヲ積ヲ虫トヲ相手ニスルモノヒソノトリヤフハ如何ナレハ又物ヲ以テ剤リトルヤフナモノヒ是カ皆破血ノ効ヨリナルヒ且ツ乾漆ニ限ラス殺虫ノモノハ皆墮胎スルモノヽ如何トナレハ人ハ血気之属トニテ血ヲ以テ生ヲ保ツテ居ルモノヒ然ルニ殺虫スルハソノ虫ヲ尤血ヲヒルメヤフルユヘニ血ハ死スルヒ尤程ノコヲスルモノユヘニ人ノ胎ヲモヤフリヒルメテ墮スコハスルヒ是ハ一体ノ心得ヒ尤乾漆ハ是カ本経ヲ上品ノサホテアルヒナセナラハ破無水蛭抔ヨリ陶弘景ヤ蕾洪カ仙家ノ薬ニ是ヲ用テアル兎角人ノ他ト違フテ辛温ノモノユヘニ外ニモキク陽薬ノ味方ヲスル意味カア

俾ハ血虚テアレソノ血虚ハ滞リタカルモノ滞ルト病ノ本ニナレシソノ滞ヲトル二用タモノ老仙家ノ茶ニ入レシキコゾソレニ上品ノ茶ニ入レシ尤モ寒タ虫ヲトルモノレ此ノ乾ハ瘀血ヲ破リテモ大便ヘトルノ表ヘヤルトニコノハ血モノヲ破血ス斗リナリ故ニ佗茶ト組テ用ルモノテ一味ハ用テ血モノレソコノ組合デトフモナルナリ大便ヘトルキハ大黄ト組小便ヘトルキハ蒲黄ト組トニヤフニ行ノナリ

○蒲黄味甘――是ハ甘涼トニモノテ是ハ又小便道ヘ瘀血ヲトルモノレ豚肉テ血ヲ涼レフスルユニ血ノ補ニナルナリ是ハ水血分利トニモノテ血ノ滞リヲ涼レフレテ蠃水ヲトルトニモノユニ水多利トニヨリ是又補血炒用破血生用ト大ニ異ナルヤフナレモ五霊ノ止血行血ト同レフソノ瘀ヲトリテ血ヲ涼スルトニ所アリ見ルト同レフナリ

○蘇木甘醎――甘醎辛涼トニモノテ又余程異ナルモノレ甘ユニキヒレフハセヌナレモ醎テ血ノ結ヲクダク効カアルレ此ニ匠樸跌トアルカ意ノアルコレ是カ辛涼トニモノテ荊芥薄荷ホノヤフナ意カアルレソコテ表ヘ行ノナリユニ蘇木ハ豚肉ヲトルモノナレモヨモ手足ノ先、表ニアル瘀血ヲトルモノナリ

○桃仁甘寒――甘苦寒ナモノテ甘テユルメルレ兎角物ハ燥トレバリテキビレフナルモノレ秋ノ風ノ烈ナルモ燥リテレソノ燥ニキビレフナルヲ甘テユルホニユルメルナリ是ハ大便道ヘトルモノレ乾漆トハウ

ラハラノモノシアレハ寒タントリ是ニハ煙タ吹ケ水ヲフウツテトルヤフナモ
ナリ下氣トニハ急テ仁ニ持合シテ居ル而シ肺ノ氣ヲ下スユニ下
テハ大腸ヘ入リテ大便道ヨリ瘀ヲトル功アルシ○此ニ段ニアル大抵似
タモノナレモサシツカハ皆異ナレ共五靈ハ腹内ノ瘀血ヲトリ乳漆行
血スル蒲黄ハ便ヘトル蘇木ハ腹内ノ瘀ヨリハ洛脈ニアル表ノ瘀
ヲトルト桃仁ハ大便道ヘトルノ此外紅花ハアレモ大抵此筋ノ味
味スルト盡ルコソ

○薑黄味辛――○鬱金味苦――此ノ姜黄ト鬱金ハヨ
ク似タモノテ物品モ似テ居ル上ニ鬱ハ功用
テハタモノ少シ遠アルコト姜黄ハ大寒苦辛ノモノテ是ハ上ニ逆
スル氣引サゲルトニ効ノ速シ鬱金ハ氣味共ニ同シモノテ是ハ下
焦ニ血ノ結シテ居ルヲ取ルトニカノ主ナル上ニ溺血血淋トアルシ病ニハ血
ト云ヒトノ病トニカアリテソノ血ヲ破血ナレモ薑黄ハ氣分ヘ入リテソノ力テ血瘀ヲヤブル鬱金ハ氣
ヘ入リテ氣分ヲ開クモノ何シ血ト云ヒトノ結ヲ解リ伝ヘハ遠ワヌシ
○金銀花甘――腫物ニハ最上ノサヒテ甘寒トニモノテ熱
毒ヲトル上ノコシノ花ヨリ蔓ノ方ニ意ガアルシ忍冬ノ花ヨカ
忍冬カ能濕ヲ取ルモノナリ蔓ノ濕ノ腫物トナリテ結シテオ
ルヲ小便道ヘトルモノナリ

○漏蘆性寒――苦寒ノモノテ悪瘡ト名モ付ラレヌヤ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』　請求記号 特1-3377　ガラス使用

フナウル〳〵腫物ナド是ハ血分ニ熱ノ結シテ紫黒色ニナリテ居ル程ノ热ヲトルモノ左様ニ強モノナルユヘ内ノ害ニナルヿキヲナニ補トニ効アルヿ是カ勝メルヿテ面白キ効ノモノナリ補血排膿ニ程効アルモノナリユヘ上証ニ上品ノ薬ニ用テアルナリ

○蕨黎味苦――血分ニ風気ノ浮テ痒痛ヲ為スト痒痛ヲ其風気ノ為ニ血ヲ吹散ラサルヿト白癜トナルヿヲ用ユレハ肝腎ノ気補ヒ浮テ為ス処ノカリモノナトニモ用ユレハ肝腎ノ気補フテ血ノ上ニ風ノアルヲトルモノ兎角表ノ方上ノ方ヘキリモノヽ心得ト組テ用ユレハヨキモノナリ

○白芨味苦ヽ――レメルモノニテ五倍子位ノモノナリ渋剤トニモノテシメルモノヽ性ノ徹寒味ノ苦ナルモノテ肺ヘ入ルモノテ肺ノ虚ヲシメルモノヽ大腸ト皮膚ヘ行クモノナリ腫物ヲシメン為ニ外ヘ出ヌヤフニスルナリ

○蛇床子辛苦――辛苦温トニモノテノ是精血ノ陰分ニ結シテ居ル風ヲトルモノヽ表ノ浅キヘキカヌモノヽ下気温中トアル是等ハアリフモナヘ〳〵ナルニ此ニ二アルヿテノ人トニモノハ陽気ノ陰分ニタヘルト陰気カ不得止上ヘ逆スルヽ又陰気カ陽気ヲ抑ヘルト陽気カ下ヘクダルヽ此ノ下気ノ陰分ヘ風ト云陽邪カ入リ込ム上ニ下ノ陰気ヲ抑止上ノ逆スルソノ逆スル気ヲサヘル上ニ中焦ヨリ温メテ下焦迄温ヽナンヽ此ノ下気温中ハ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』　請求記号 特1-3377　ガラス使用

精血ノ陰分ヘ風ト云陽ノ入リテソノ為ニ逆スル陰ニホヲ下シテ温
中スルモノニ悪瘡ヤ疥ハ癩癬癩病トニヤフナ筋ノ見ヘ瞳物ニ
ヨシ是モ精血ノ陰分ノ薬ニ風ヲ治ノ尊シテアルヨリケ様ノ
瘡ニテルヲ駆疥祛風モ精血ノ分ニ風ノ尊シテ疥血ニテ
タルヨキヨリ兎角風ヲトルトニヨコヲ見セン為ニ祛風トニクソ風オ
トルトニモ如何シテトルトナラハ全体補フモノニテ精血ヲ補フモノテ
尊ノ補フテヤル上ニ風ハ祛ルコソノ内ノ実ニハ効ナキモノ虚トニ所ヘ
用ルモノナリ

○天麻味辛――世ヨリ姜蚕迄ハ比高風ヲトルトニモノニ先
表ニル風ニハ非ス是等ノ薬ハ皆時風ヲトルトニテ風モクツト内裏

ノ薬ニ入ルタルヲトルヲ主シ傷風モ五蔵ノ中風モ同シ風ナレモソ
ノ場処ニ因テ大ニ病ノ遠近コソ湿ニモ表ニル湿邪ト又内裏ニル
痰飲留飲モ皆湿邪トニモノテ治療ハ大ニ異ナルガ如シ扱テ共
内風トニハ兎角風ハ肝テ同気立ニ肝ニツキ大(モノ肝ニ着ト兎
角動ク立ニ頭脳ニル或ハ驚癇トナル心肝ニ邪ノ着ク立ナリ世ニル
容体ガ皆内風ノ病ノ為ニ天麻ハ肝臓ヲレツカリト補
テサヲ――セヌヤフニルモノニ知レシ(モノナリ

○白附子温――是モ肝風ヲトルモノニ是ハ疾蒺ト効ノ
似タモノニ疾ハ血ノウワツラニ風ノ浮タヲトルモノトニタ白附モ
ノ通リナルモノナリナレ共サレ遠アリテ是ハ温ノモノテ有毒ノモノニ

ソコテ燥ニテキヒシ（意カアルヘシ）芹蒺藜ハ肝腎ヲ補フカ主テ血ニ浮タ風濕ヲトルモノ白附ハ陽明（ヘ入リテ血ノ上（浮タル風ヲ燥シテトルモノヘ陽明（ヘ入ルトニカキ遠（目ヘソヘヲ見セン為ニ面百病トアル面トニモノハモト陽明ノ持分ナルモノヘ顔色トニモノハ心ノ藏ノ主リナリ心ハ主血血ノ華ハ面ニアラワルヽモノヘソレユヘ心氣ノ憂樂ニヨリテ顔色ニ彩ルヽヘソコテ風ノ面顔色ハ陽明ト血トノコトニアツカルヘシ百病トハ總テ粉澤皆是ヘソコテヨキ筈ノヿヘ風瘡トハ不審ナレ共本草ニ触ノアルコトテ風氣ヨリ生ル瘡トニヨリテヘ中風痰癊モ陽明ニアツカル中風ナラハヨキヨリ是ハ芹蒺藜ニ天南星ヲ合シタ位ノモノヘ

○全蝎味辛ヽ――是ハ和産ヲヌモノ蝎トニ虫テ手足頭等全ク用ユヘニ全蝎トニヘ或蝎梢トテ手足斗リ用ユルモアルヘシ風痰ハ痰ニ風ヲ含メルモノヲヘヘヘ

湿毒ニ遠ハ無シ湿毒カアルト蟲ノ生スル事ノ生スルトソ虫カ湿毒ヲ食テ段々大ニナルシソコテノ是ハ運気ノ蒲ニ虫食甘黄トニーカアリテ虫ハ甘イモノ黄ナモノヲ食モノシ小児甘物ヲ食テ疳ニナルコト疳ニハ虫ノ意アルシ云ニハ虫ハムシトヲ意ハアルシ云ニ疳トニニハ虫ノ意アルシ后世五疳トヲーアリ九ノコテ九是モ五蔵ノ疳トニモノト、脾胃湿トヲコトハ離レヌナリソノ湿毒ヨリ虫カ出来テソノ傍ヨリ添モノカアルテ五疳トナルシ驚ヲ添レハ肝疳トナリ食ノ不運ヲ添レハ脾疳トナリテノ五疳トワカルモノ、本ハ疳シ此ノ疳ハ肝疳テヲレハナラヌシ肝ノ風毒ヲ降リ立ニヨキシ扨テ此ノ蝉退ハモト脱カラテ居ル毒ヲ脱リモ旦蝉ハ清浄ナルモノテ露気ヲ求メリ食テ居ルモノナレハキレイナモノテアルトヲキレイニ云伝

効カアルナリ兎角風毒ヲ凉散スルトヲ万千要ナリ

○蚕蛻味鹹一―蚕ニ作ル非シ僵ニ作ル是ハタヨレルトヲコトテ蚕ヲ養フ時ニ新蚕ノ養カ風ヲ引トソノマヽタヨレテ真白ニナルシ云ニ白僵蚕トヲシ扨テソノ蚕ハ綿ヲ出シタアトハ蝶ニ化シテ飛モノシソノ化気ノアルモノガ中連ニ僵レル云ニヨレタノ性清ナル風気ヲ含テモツテ居シ殊ニソノ風ヲ含テ死シテノ居ルモノシソコテ始終ソノ風ノ尊シコモリタルトヲ所ニユリカ此ノ効ナリ味鹹性漫ナルモノシ云ニ全蝎ハ効ノ強似タモノシ大抵同シナレモソノ別ハ全蝎ハ風痰トニカ主シ此ノ蚕ハ湿痰トニカ主シ鹹モノハ何テモ毒ヲトルモノシソコテ湿毒ヲトルモノシ兎角湿痰ニ一所カ主テ喉痺モ湿痰ヨリスルナラハ治

スルヿソ瘡毒モ風ヲトルユヘヿ癤瘍モ瘡ノアトノ何返モナヲラヌトヽ
ハ矢張風湿ノ毒ノアルユヘニシソノ風湿ヲトルユヘニ念ヒシ体是ハ風ノ入リ
テ僵レタルモノテ風ノコモリテオルモノテ即人身ニハ肝ノ蔵ヘ入シ時此
ノ肝蔭ニ風カコモルトソノ筋上肺ソレニ傍脾ソウツリソコノ肺ヘ
セルト即痰トナリ脾ヘ逼ルト湿トナルヒシソコテ疼湿トヽモヲトルコトカアルヒシ
是モ肝ノ蔵ヨリ肺脾ヘセルヲトルモノナリ兎角肝ノ蔵ニ風カコモリテ
筋レテ居ルヲ外ヘクツト散ラスモノナリ

○蜈蚣味辛――是ハ性温テキビレルモノ有毒ノ品ヒユヘ后世
ハ餘リ用ヲアレヒ千金抱ニハヨク用テアルヒ此等ハ毒ヲイトヘル
虫先ツ虫ノ数トヒ蛇虺ノ如キノクヘリ山神ノ霊トヽヤフナ類ヲ

是モ風ヲヲトルモノユナリ尤深ヽヘルヲユヘニ墮胎逐瘀スルナリ是等ハ効
ノセヽヘモノナリ

○木鱉甘温――是ハ二種アリテ番木鱉ハ中華テ
番木鱉ハ番産ノモノヒ馬仙子トテ一チンノコヒユヘ五木鱉ハ中華テ
出来ルモノ草ノ実ヒユヘ五トヽハ總テ本五トヽヲヲヒテサホヒユヘ五トヽハ即番産
テナノ本五テ出来ルトヽヲヒユヘ此ノ二ツハ形状モ効モ同レノ似タモノナリイ
ツレ風ヲヲトルモノヒユヘ五木鱉ハ甘温ノモノテ疾毒乳癰ノ腫物毒気オ
追ハニツモノヒケレヒ腫物斗リテナク腰痛ホニモキクヒ腰痛モ風ヲ
為スモノヲトルヒ消腫ニハ尤ヨキヒ叔テ番木鱉ハ是ト同レコナレヒ
タヽ甘寒ノモノテ風ヲノ中テ五木鱉ノ効ノ中ニ尤ノ感ナルニハヨキナリ

アヽチンヲ諸蟲獸犬傷ニ用ユルナルカアレカ矢張犬ニカヽル、
アレ丈ノ犬ニアル濕ノ毒ニ人身ニ入ルナリソノ濕ヲヨトル工ニヨキ
筈ノケナリ

○蜂房醋苦、——是ハ露蜂房トテ雨風ニサラサレタルカヨキ
是ハ風ノ毒気ヲトルモノナリ手足ノ陽明ニ入ルモノテ陽明ハ胃大
腸ナリ胃大腸ニアル濕ニ至テヨキ驚癎痰症ニキクトニモノ
モ脾胃ノ濕ヨリ為キモノナリ殺虫スルモ脾胃ノ濕ヨリ虫ハ
生スルモノナリソノ濕ヲトルニ殺虫スルナリ驚癎癇症閉ニモケ
レド脾胃ノ濕ヨリ為スモノテ無レ治セヌモノナリ

○花蛇溫毒、——能風濕毒ヲトルモノテ一通リテナク余程オ

モ病ニモチユルモノナリ是カ宣剤トニモノテハツトソト散ラスモノシ
左有毒ノモノテキビシ勢ノアルモノシ工ニコセガサ諸ノ毒氣ノアルニヨ
キモノシ左此ニ工アリテ烏蛇白蛇ハ有毒ノキビシ勢ノアルニヨヲ
用テ念ルトヨケレド若不念ルト此ノ苦毒カノコリテ終身念スモノシ
心得キヽシ扨テ又烏蛇トニモノカアリテ是ト同シ効ノモノナリ
モ是ヨリハ勢モ後リ此ノ白蛇ノ効ヲ後フシタ効能ノモノナリ是テ
ハサシ強シトニ寸ニ用ユカヨキナリサシ補ノ意アルモノナリ○反鼻仏
カアル五八霜トモ四十霜ト書モニモナリ是ハ水ト血ノ結シヲホトリモノ
ナリ

○蛇退辟悪——是ハ靈妙ナルモノ工シ辟悪氣ノ効アリ宣

刻テ風ヲ去ルヲ上モノトス○有毒ノ品ニ蟲毒痔ハヨキ報ヲスルヲ去風湿ニ驚癇ヨキシモト蝉退ハト同シテ元トアルモノ脫タカラノ一ニシテ意アルアトヲスツハリソ結シテ居ルヲ脫テ出ル意アルナリ

○槐花味苦――血分ニ入ルモノニテ血ノ热ヲスルヲスゝシフスルモノニシテ痔漏腸風モ皆大腸ノ間ニ湿热ノアリテナルモノニシテ塲所ニテハ大腸ニ入ルモノニシテ次ニ大腸ヲ利トシテ大腸ニ入ルコトヲシテ热ヲ利トシテ热ヨリ起ル痢ヲ治スルヲシソノ上殺虫ノ効アルヲシテ大腸ニ入ルヲ主トシテ小腸胃ニモ入ルモノニシテ腸胃ニ入ルトニカク九ヨキナリ總テ腸胃ニアル湿热ヨリナルモノヲトルヲシテ扨テ又此ノ病理ノ説アリテ痔ニナル湿热モ虫ニナル湿热モソ湿热ハ同シクシテ但ソノ湿热ニ浮沈アリテ浮ケト胃中ニアリテ蛇虫伝類ニテリ腸胃ノ底ノ大腸中ニ沈ケト痔トニモノニナルナリニシテ内経ニ為沈痔トモアリテアレハソノ位ヲニタモノソコテ治痔モ殺蛇虫モ十同一ノ理リ乍去何レノ道大腸ニキリモノナリ

○黄粘子辛――味辛性寒トニモノテ泻リ热毒ヲトルトニモノニシテ辛トニテハツト散ルテ普徹スルテ結レヲホトキリトニカアリテ兎角ノ結レヲホトキサヘスレハストニモノニシテ陳瘡毒テ瘡腫ノ毒ヲ結ルヲモ除クニ尤リタ瘡ニキカヌニハ非スト云ヒソレハ反テ標ノ働テ兎角ニ引リテオルヲトル力ヲ走ニソヒロカリテ居ルトハ癮疹風热テ苦ノ一身ニ出ル居ルヲトル尤ソノ湿热モ種々

アルナレモ風杰ヨリ九腫物ヲトルニハ固ル効シソノ風杰ヨトル二ハ固ル効シソニテ疱瘡ニ用ユルモヒロカリテ居ルニ処ノ筋シ扱テ腫物トスルモノハ何レ皆聚血凝トニテ此ヨリ外ハ無モノニシテ糟トアルニテ皆痰ト結レテナルアリ風杰ヨリナルアリ或癰瘡下疳ノ毒気ノ結レナルアリ無ノ滞リヨリナルアリ種々アルアルニ非ルニ茅ヲ用ユルハ如何トナレハ茅ハ其ノ半房子ハソノ風杰ヨリナル腫物癰疹ヲトルモノニハキヌヌシ風杰ヨリナルモノヲトルカ主ニ隠レテアル風杰ヲ沢ノ効アリ除癰毒トアルハ毒ニ依テ痰ノ類ヲ治スルカ主テ腫物トニハ反テ毒ニナリメルヲ散ラシ又咽喉ヘキノトニモノモ咽喉ノミニ非ズ総テ上部ノ庸ニハ皆キリシナセモノハ嘗テ又下ニ非ズ総テ上部ノ庸ニハ皆キリシナセ

ナラハ風杰ノ気カ上ヘ逆スルト咽喉ニナルメリ目ノ庸ニナリメリ目ノ中赤筋カ多ク出メリスルモノゾ又古ヘ胸ノカ〳〵ワルフナルヲトル是ハ如何トナレハ牛房子ハ取リ胃口之悪血トニ効カアルナリソノ悪血トハ如何トナレハ風杰ノ内攻シテ逆ニ胃中ノ邊ニ逼ルトニナルモノゾ是カアルト胸ノワルフナルモノゾ

○茵蔯味苦――是ハ黄色ヲトルモ黄疸ヨリ外ハナイ餘リキカヌモノ退黄除疸トハ韵字ヲフクムニ此ノ如クシテメモノテ即退除黄疸トニフシ浮瀉利水ヲスルニ二ソノ中ノ杰ハ清リテアトカ凉フナルトニテナリソコテノ湿杰（キノトニテハ見ユルソノ淫

ホモ脾胃ノ中ニアルモノヲトルナリ

○紅花辛温――温トヲモノテホヲトルモノシ消瘀ホトテ物ノカケニコモリテ居ルホヲトルナリ瘀血トヲイ物ノカケニコモリテ居ルモノホ皆瘀ホトヲシ亡ニ傷寒論ニ發黄ニ瘀ホ在裏トアル畜血ノ症モ瘀ホトアリ比皆物ノカケニアル亡ノヲシ瘀血ヲリノ一ニ非シ水テモ瘀テモソノ蔭ニアルハ比皆瘀ホトヲモノヲシ紅花ハ至テ血ヲメリテスモノデユニ多則ハ経閉ノモノニ用ユルト経ヲ通スルヲ是ハ行血ノ基レキユニナリケ血ノ行リヲ能ノシテ養ナルナリソヲテ是ハ温合セテ色ニアル大黄ト組テ血ヲ運ラストヲヤフナモノシ桂支ト組テ血ヲ下ス桂支ホ風薬トヲモノテ宣剤輕剤ヲモノシ

○蔓荊子味苦――是ハ風ノ陽気ノ發達ノ扶ケテ表ヘハラセルモノシ風寒湿トヲヨリハ陽気ノ發達サスルカ主ノコトト見ユルシ大陽ニアル風寒湿ヲ陽気ヲハラセテシリヲ推シ出ストヲモノテ苦頭痛ニ用ユルナリ拘攣モ發スルユニヨシ涙眼ナミダ目ノコトテ涙ノ泄ルヽ大陽ノ津液本海道ノ邪ノミナルモノカアルト外ヘナギレテ泄ルナリソノ大陽ノ部ヲトルユニヨキナリ

○蔓荊子苦寒――是ハ上ノ條リ近代用ヌモノナルカ用ヲハヽテヲヌモノヽ多クニ肺大腸ノ湿ホヲ薫スルモ大腸ヘ入ルヂノコヽ唇渇ハ大腸ノ湿ホノアルカラナリ豆喘消痰肺ホ久嗽ヲ皆ホヲトリテノ治スル叓テ是ハ下気スルモノテ此ノ喘痰久

嗽ハ皆大腸ノ辺ニ湿热ノアリテソノ上ヘ逆シテアル喘疾嗽ヲ治スルヨリ兎角能アルニテ下ヨリ逆シテ肺ヘ升ルテ咳嗽ニナル病テヲヲクアルモノニ檳榔子ヲ用ルナリ根ハ青木香トニシ古方ニ青木香トアルハ真ノ木香ノ一明ニ方書ニアル青木香トハ此ノ馬兜鈴根ノコト心得ベシ根ハ気ヲ散スモノナリ病気ハ肢ニアリテ下ヘクダルモノニ檳榔ハ肺ノ付ク湿热ノ痰ヲ推スモノニテ下ニ気トニモノ青木香ハ湿热ニ用ヒテ肢内ノ気ノタマルヲウチヤブルトニモノハパット散ラスモノナリ

○百合味甘ク――味甘性平ナモノニテカタヨリヌモノナリ胸中ノ热ヲサマシテ潤スモノニ胸中ト心肺トナレモ心肺ヨリデハツキヌ

ニ用テ定膽ト下ニアルナリ心肝ハ五ニ用ヲ為シテ此ニ三ハカ定安ナヌト夜中ニ寐テレス心気ノ落付ヌモノニ胸中ニ热カアルト逆シテ嗽ニモナルナレモ久嗽ヲ(キカヌモノ丹水ノ久咳方ニ松用テアルニ消浮ハ浮ハウソバレヨニテ外ヘボット腫レルニ此カ如何トナレハ胸中ノ热ノ為ニ津液ノハヂカレテ外ニ及テ水ニナリテ腫ヒ浮腫ヲトルニヨテ胸中ノ湿热トニハキハ雑ニモシケレニシタモノト斗リ思テ居ル者モ湿热トニハサハアル(キフニソレハ通例ノ一又此ニ能湿热ニソカ乾テ及テ外ハウルオフモノカアルソレハ热ノ為ニ水ヲハヂク上ニ水カ外ヘツテ内カ乾ノモノゾコノ湿热ニモ乾湿ノ二ツノアルコニ乾湿热トニハ热ノ為ニ陽気ノサヒレフナルモノニテ此ノ百合ハソノ乾ノヨウルオレテ

ホヲトルコトニヨキシソコテ是カ為ノ薬ナリ二ノ久嗽ニヨキシ癰疽可咲テ癰疽ノ毒ホ熱ノ為ニ胸中イホノタメニ辛生食物ニシテ居テヨキモノ是ハ何モ癰ヲヤブルノ効ハ無レモノ為ニタメル胸ホヲトルシ又胸中ノ間ニ湿ホノアル処ヘ傷寒ノ邪カツメ入レ百合病トヲモノニテルソレヲトルモノソコテ百合病ヲ治スルニ百合名アルニ非スソレハ百ニ各名ツクル所以アルコソ兎角百合ハ胸中ホトハニモノ下焦ヨリ升ル湿ホノ胸ニアルヲトルモノシソコテ百合病トニモノカ婦人ノ帯下ノ病ホニヨクアルモノ下痢便毒ノ毒ニ等ノ類トアルニヨクキソレハ必用ノ薬ナリ

○秦艽徹寒、——寒スモノテ先ツ條下ニ攻手テハ湿ト風トヲ字カアル受手ハ筋骨肢節血ホ陰ホ骨ホノ字カアルヲサスハ筋骨肢節血ホ入レハ見ヘス扱テ是ヲ下焦陰ホニ風湿ノ第ノ舎リ結ンテ甚為ニ尉シテ九ノ肘ノ扨トニ辺ノ折ニ痛ヲ治スルモノナリ又此ノ類ニ手ニ等トニテカアル脈ニヨリ出タ字ヲテモ手ノアカラヌ験結ノ扨ノナラヌヲヌ手ニ気ニヨリ下血ニキクハ如何トナレハ下焦ノ肝蔵ノ風湿カコモルトソノ為ニ下血ニナルコトアルシ当時ハ虚労扨ニ秦艽扶羸湯扨ノ用ニ件ノ遣而已ナルカ面白キモノナリ

○此ノ苑苦辛——是ヲ多ノ咳ニ用ニモノ此虚労ヲ治スルモノシ苦トニニノ推下シ辛トニテ散ヲ

シテウルオシナカラ寒ストキモノ肺ニ火熱カアルト氣ヤ痰ノ塞ルモノ痰喘咳逆ナドシ或肺癰吐膿ホドナルモノシ寒ホスルトキモノモ兎角陽氣ハ力ナリカナリ◎ナルト寒ホナルモノテ日輪ノ日中ニアルト日蔭ナレモ少シ轉スルト蔭ノ出来ルモ日ノサシ傾キユルナルニ即寒ホト同シテシカ肺癰ニ〻ソノ日ヨリモテト日蔭ノ出来ルハ久シクナルトキモノ

○款冬花甘温——甘温トキモノ是ハ温散スルモノテハット散ラスニ理肺痰ヲモ消スルナリ肺ハ苦ヲ苦ムモノソノ苦ヲ散ラスニ〻ヨリ肺癰喘咳ヲモ治スルトキト蔓蘆ホト似タヤフナレモ此ニ別カアリテ補労陰煩テ肺氣ノ虚シテノミスホラシフナリ労タヤフナヲ補カ〻テタヘスルヲモトルニ〻ホヲモトルニ〻ホ煩トキナリ此カ款冬ノ正味ノ処テ他ト異ナル処ナリ必竟此ノ四字カ眼ニソコニテ款冬ハ宗虚シテ居ル処オカ〻テホヲトルモノ紫苑ト同シモノナリ大抵紫苑疑冬ハ但テ用ユルモノソ

○金沸草寒——是諸本草皆温トアレ寒トハ驚氏ノモノテ沈香ヲ代赭ノ類ノ如リ上ヘ逆シテ居ルヲ推下スモノ肺ヘアツマル氣ヲトルモノニ〻消痰止嗽トキニ〻アリテ降気スルトキモ此ノ旋覆花ハ軽浮ノモノテ降気スルニソノ降気ノ仕

ヤハ沈香蘇子ノ如ク上ヨリ推下ス鎮墜ニアラザルナリソノ輕浮ノ性テタ上ハ燻ノコモリテ居ル処ノ風カ吹来ルトソノ燻ノハツト散ルヤフナモノテ輕浮ノ性ヲコモル氣ヲハツト吹散スニソノ氣ハ下ラネハナラヌユヘニ降気トナモニ往アルヤフニ思フ傷寒論ノ旋覆代赭ノ旋ハ輕浮代赭ハ降鎮テニ味共ニ組テアルヒ旦ニカ浮浮ヲハツト散ラスユヘニ明日ヒ輕浮ノ性ユヘニ上ニ向ヒ風ヲ招ヒ内風ニ非ス外来ノ邪風ヲ指スヒ逐水トハ水ニ氣ニ因テ流ルヒモノ今気逆ヒテ不順ナト下焦ニ水カタマルヒソノ逆気オ下スユヘニ水モ通利カツクヒユヘニ逐水トイヘリ気滞ニ因ル水オ逐ヘリ

○茉白皮甘辛――茉トイヘモノハ誌木ニスクレテヨク用ユモ

ユヘニ根茎実皆用ユレトソノ中ニ白皮ヒ功優レ上品ノ茶ナリ甘ク辛リ寒スモノテ下氣スモ下氣ノ中胸中ニアル氣ヲ散ラス胸中ノ氣ヲ散ラスニ因テ下氣トイヒヒ内裏ヨリ起ル火ヲヲユヘニ火邪トイヘリ是ハヌヘル処ハ杰テモ氣テモ火テモ水テモ何テモ此ノ力ヒアルヒヲ以テ肺ニセアガルヲヲト散ラシテ推下スモノヒ尤モ是ハ燥剤トイヘテ燥カスニモノヒ此燥ハ氣水ノ逆ヒテ巻アケラレテ湿杰ノ胸中ニアリテヒケ――スルヲ潤ヲ燥カシテヤルトイヘモノニアラス浮肺火邪トアルユヘニ内ノ火邪斗リトルヤフニ聞ユレモ尤モ外来ノ風寒テ

水トハ氣カ逆スルトソノ為ニキアケラレ故ヒ

寒リテ閉ノ二ツ下気スルトイフカ主ナリ

ホニモキリナレ氏正ニ表ニアレ熱ヲトルヿハ無モノノ風寒ノホノ胸ニセルヲトルモノテホノ胸ニアツルヲトルモノナリ二ツ久咳嗽ニモ用テ久咳テホカ胸ニアツルヲトルモノナリ二ツ久咳嗽ニモ用テ

○杏仁温苦、――風痰ハ風寒ノ邪ヨリ胸ニ痰ノ出来ルヲイヒ風痰喘嗽テ肺ニアリテキノトヲハカラレル大腸ノ気閉トテ肺大腸為表裏ニ肺大腸ニ入ルヿ是モ下気スルモノナレモ気白皮ハ散ラストイフ力ニ下気オナレ杏仁胸中肺ノ分ニ塞リテ居ル故ニ閉ノ下ヘ推トルトイフモノ水注ノ如キモノテ兎角便難ナルハ上ノ方ニ気カ塞閉スルモノヽ風邪寒邪ノ閉テ気ノ上ヘ逆スルヲ閉テヤルソコテ肺ヘヒリト思ハヾ一身気道ヘキクト思フガヨキナリ苦平温ノモノニテ燥功カアルナリ仁ハ皆固燥ハアルモノナリ

○烏梅酸温、――是渋トイフモノ肺蔵ノ気ノ散ラカリテオルモノヲ収斂シ一処ヘヨセモノシテ止渇生津シ浮利モ左ヘ是ヲ渋ト云ヒ滑脱ノ虚シタモノヲ用ユルヿノ早キト邪ト共ニシメ留テ大害ヲ為慎ベシ此ニアルヿハ苦菜ヲ酸モノテシメルモノナレモ入心協力遠ニ此ノ協ヘキクヿハ無シ苦ハ入肝ニ肝ニ行テ栄シメルニヘ血ノ補ニナル烏梅ハ脾ヘ入ルニ脾ニ入ルニ栄ラシメルシ此等カ菜ノ効妙ナル場シ此ノ烏梅ニ殺虫ノ効アルトイフモ酸テキヒシテ湿気ヲ湿ホノ湿ヲシメテ燥スニヘ虫ハ湿ヲ失フテ死スヤフナモノナリ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

○天仏粉寒――仏薬根ヨリ生スルモノテ是ハ花上品ノ
葉ヲ去ルサニレ潤スモノニ胸中ニ止渇祛煩シ胸中
ニ去リアルヨリ過ニ膿ヲナシ毒ヲ結フサニレテ消ス功カアル善ク
痰ヲ除ル化ニ妙ナルカアリテ去痰モ膿ニナモ同レトモ亡ニ排膿
ノ功アルヲ勿論胸中ヨリ胃脘ノ辺ノ間ノ膿ヲニシク扨テ此ノ
天花粉仏薬根ト同レテ品根茎花實ノ論トニト天花ハ
上集ノ去ルニ用ルヨレ仏薬ハ下方ノ去ニ用ルカヨキナリ
○仏薬仁寒――是モ天仏薬根ト同モノテ胸ノ去痰
ヲトルモノナリ結胸モ熱痰ノ結ニ亡ニヨキナリ只仁ニ潤燥ノ効ノ
アル是異ナルノミ

○密蒙花甘――此ヨリ四五味ノ間ハ眼科ニ専ラナリ目トニモ
ハ治療ノ六ケレキモノテナセレハ目ハ五蔵亡府ノ精ノソク処亡ニ他
トハ違テ肢内ノクヌト同レテテ至テ
ハ承家扶テ名家モアレ氏ソノ為スル
ニモ皆ソレ〳〵各ソノ筋力違ナリ四味ナカラ皆サツ〳〵功異シ此密
蒙補剤ニソノ補剤ニモ温補涼補調補別アリ是ハ肝ヘ入リテ補
養補剤ニソノ中ニ亡ニ此ノ物外ニキカ又ニ非レ氏
除リ外ノハタラキハニモノ明目スルモノニ是モ眼得血能視トアリテ
目ハ血カ主ルヨリ見ヘスモノソレヲ肝ニ入テ血ヲ補フ亡ニ明目ニナル
ニ血サヘ能ケレハ見ヘスモノソレヲ肝ニ入テ血ヲ補フ亡ニ明目ニナル
ニ血サヘ能ケレハ見ヘスモノソレヲ肝ニ入テ血ヲ補フ亡ニ明目トニモニ虚労テ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

是モ火ノ逆上シテノ發狂ナレハキカヌ肝藏ノ氣ノ虛シテ發狂ガアヲ
治スルシ青亡ヨリヒキ同クラノヲテ同ノ色青ノ見ユルモノシ時ニ肝
藏ニ血モノ立ニ是カ虛スルト燥クナリソコテ此ノ密蒙トモノハ肝
ノ虛ノ補ヘナカラウルオシテヤルモノ立ニ目ニキクナリ

充花ノ色ニ拘ラス甘キヲ使フカヨシ苦カヨイトイハアレハ

○菊花味甘――是ハ格別ノ功アルモノ常ニ用ユルナリ目ヤ
上ノ病ニ祈ニ用ユルノミヲテ菊花ノ性ノ知ラヌヘカラス惜ムヘシ味甘性
平ノモノヲテヲダモスシテスル位ノモノ当リ風ヲ上焦陽ヲ亂テオ
ルヲ取ルモノシ風熱カアルト頭暈眼赤淚ニモナルモノシ是ハ目ニヰ
リキクモノニ非ス常程廣ク功ノモノシ神仙服食家ハモ用ユルモノ
充モ是ハ四季アルモノ秋ヲ以テ上トス秋ノ末冬始ニ花咲モノ充花
ノ終リシソコテ金水ノ氣ヲ受ヲ居ルモノテ金水ニ藏ノ行クナリソコテ神
仙家ハ菊花黃精石昌松ト同ク用テアル菊花ハ肺陰氣ヲ
補フテ胸中ヲ清ヲカニスル石菖蒲心ノ陽氣ヲ補フモノ如此オヨソヒロムルト大ナル功ナルナリ

是又コハ輕剤ニテ發汗剤ト組合ト散スルシ是トテモツ
テハ肝氣ヲハラス技ノソ兎角中ノ平ナルモノハ發スルモ
ノ黃ノ類ヨリ強ニコレハ輕剤デ温トヲモノテ發スル意ハアルモノモ

○木賊味甘――是ハ温劑テ陽氣ヲ扶ケルモノ立ニ何テモ肢
氣ヲ助ケルモノハ陰氣ヲ排フモノシソコテ此ノ木賊ハ肝藏ノ氣カ
虛スルト肝ノ主リノ血ノ上ニ曇リタル濁ナルモノカ出来ル然ルニソノ肝
藏肢氣ヲハラフモノ立ニソノ濁リハトルモノナリ肝ノ藏ノ氣ヲタメカ
ニヲ補血モノシ能止月經モ月經ノ餘リ通シ過ルモノヲ止ル心是
モ肝ノ氣ノ虛シテクモリノ出来ル立ニ更消積聚モ古人ノタト一ニ水

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

賊トニモノハ木ヲコソケルト
タモノハ皆テアトヲキレイニスルモノテ
アノ如ク少シツヽ削リ取カアルトキニテアル尤面白キコトテサフアルコトテソコテ血ノ上ノ濁リヲ上ク
○決明子甘――是ハ肝ノ热ヲトルモノテ肝ノ藏ニアツリテ
居ル热ヲトルモノニシ肝ニ热カアルト司咳シ涙出シ止鼻血モ肝ノ左リ
方ヨリ逆ニテ外ルモノニハヨキニ右ヨリ逆スルニハ効ナシ鬼角肝ノ
热ノアリテノ上ヘ逆スルヲ引サケルモノテ何レサケルモノナリ尤下
氣ニ非ス根莖花実ノ論ニハ及子ハサケルモノニシ
○犀角酸寒――此二例アルコテ角トニモノハ何ノ角テ
モ解毒スル陰分ヘ入ル性ノ寒ルトテモノハ當リニノコトシレハナセスル

トナラハ角トニモノハ牙上同シテ牙歯骨ノ餘リシソコテ骨ハ陰
物ニシソノ余リニ陰分ヘ入ルヲハ勿論シソ角
トニモノハ骨ノクツトノヒタツタ暢スルトソノ中ニ毒ヲ含ムモノニシ然ルニ角ハカヽルモノニクツトノヒタツタ
所モノニ是カノヒメツタ所テ骨ヲ解スルトテ効アルソ
是ハ角トニモノヲ用ニ例ニシ尤是斗リニハ限ラネト一例ニソコテ
犀角ヲ化毒シ祛風ヲ風寒暑湿ノ外邪斗リニ非ス鬼神ノ
邪ノ幽霊亡者生霊死霊古社ノ祟墓原ノ怪物ノヤ子鬼
神ノ祟リヲモトル裡ノ霊物ナルモノニ止血ハ血分ニ热カアルト血ヲ涌
アガルニソノ涌アガルヲ热ヲトルニヘヨリテルニソノ血ヲノ中ニ毒気ヲ結

脾肺主皮肉故ニ瘡痲癘瘍ニ用テヨキシ皆皮肉ノ病ナリ

ナト腫物ニナル二ハ其ノ腫物ヲモ消スル且ツ蛇毒ヲモ消スルナリ此ノ犀角ハ脾胃ニ入ル経ニハ陽明ニ入ルモノニシテ脾胃ニ入ルト脾肺ニ入ルトハ同ジ故ニ犀角ハ肝ニ入ルモノニシテ羚羊角ハ肝心ノ血分ニ入ルモノニシテ犀角ハ脾肺気分ニ入ルモノニシテ犀角ハ庶瘡痲疹腫物喉腫癰類ニヨク用ユルモノナレトモ羚羊角ハ大ニ異ナリ味苦鹹寒トニモノニテ角ニ皆解毒ノ働アリ明目ニ同ジ羚リモノナレトモ羚ハ肝ノ熱ヲ清スルモツトモ肝ニアリテ居ル熱ヲトル丸ト解毒スルモノモノニシテ此ノ熱毒ヲ消スル且ツ蛇毒ヲモ消スルナリ

○羚羊角寒――是ハ前ニ云通リ犀角ト似タモノナレトモ肝ニアリテ明ニスルモツトリハ肝ノ熱ヲ清スル丸ト解毒スルモノモノニシテ此ノ熱毒ヲモ消スル且ツ蛇毒ヲモ消スルナリ

モ亦毒ヲ解ノモノヲトルナリ兎角肝ニアツテ血中ノ神気ヲ舎スルモノニシテ血カ無ト神魂ヲヤトヒ舎ルモノニシテ血中ノ神気ヲ扶ケ又ハ神智ヲ安ンスルナリ又小児ノ驚癇ナトニ用テアルナリ産前後ニヨク用テ血ヲ入ルノ効ナリ

○亀甲味甘――是ニ例アルコトニテ甲トイフモノハ総テ金ニ属スルモノニテヨロヅノ象シ是ノミナラズ蛤蜊ノ類皆外ニ堅キ殻ノアルモノハ金ノ属シ又内ニ円経ニ甲介トアリテ叓テソノヤフニ堅クナルトイハ如何ナルコトニモ軟ナルモノハ外ニ堅キモノハ出来ハ金ノ粛殺ノ陰気ヲ受ケ又ニ生スルモノニシテソノ外ノ堅キヲ以

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

テ先ノモノヲツキヤブリ亦破リテノウトニ一ハ此ノ甲分ノ類ニ持アハシテ居ル切ル又角ト同類ナリ扱テ是ハ敗亀板トテノ諸説アルナレモヤフレメリサレキツメルヲ遣フカヨキシ是ニモ二アルテシ扱又亀甲ハ古ハ上甲下甲差別ニテナレモ別ニ隷ハ来レツカリト亀甲六甲ヲ遣フ二二下甲トモニシ鷺甲ハ上甲ヲ用ユル二上甲トニナリ勿論上下甲モ二アルコシ敗亀板トニモ敗トハ雨露ニウタレタルヲ用ユコナリ思ニソレデハキ、サフモナヘヤフナモノナレモ光カ菜テソノ雨露ニウタレサラサレタル陰気斗リナルヲトリタモノゾ此カ菜チソノ雨露ニウタレサラサレタル陰気斗リナルヲ取メモノゾ二二是カ板別ノ補陰ノカアルモノシ本モ古ク灼亀トテ亀ヲ燒テトヲ為スソノアトヲ山野ヘ捨ルソノ雨露ニウタレタル陰気斗リナルヲ取メモノゾ二二是カ板別ノ補陰ノカアルモノシ本モ古ク灼亀トテ亀ヲ燒テトヲ為スソノアトヲ山野ヘ捨ルソノ雨露ニウタレタル

モノヲ遣トアル板別ソノ火気ノ温ヲモチ且ツ霊妙ナルヲ以テヨリトアル時珍モ従是ク補陰滋腎トテ陰気ヲ補フモノシ亦ハ腹内陰気ノ衰ナトノ為ニカワカサレテ瘀ミタルヲ用テヨキシ茹松ヲモ続スル切アリ腎ノ陰気ヲ補フト水生木トテ肝ヲモ補フシ腎ハ主精肝主血シソシテ下焦ノ肝腎精血ヲ補フモノナリ更鬱顙顙トハ児ノテ小児ノ系経立頭脳ノ系ヲ称ハ皆下焦ノ陰気ノヨワキ二ヘシ扱テ又亀ハ至テ長寿ノモノ此ヲ対ニ鹿トニ方至テ長寿ナモノナレモソノ長寿ノ仕ヤウカ異ナル亀ハ陰気ノ至テ強キモノ鹿ハ陽気ノ強キモノテ右腎命門ノ気ノ至テ強ヲ得モノシ然ラハ此ノ寿命ノ長短左

右ノ腎ニテルト見ユルヨリ此ノニツテ道家ニ養生メ（ニ亀伏息運トニテ至テ大切ナルソノ意ハ亀トニモノハ兎角伏隠スルモノニテ手足頭迄モ脇中ニ伏シ屈メルモノニテアノ頭ヲ股内（カメルハ股ハ任脈ノ通ル所陰気ノ宗ナリ腹（頭ヲ屈メルハ陰気ヲカリ看ルニ亀ニ兎角陰ハ隠蔵スルヲ以テナラヌモノユヘ亀伏トニモノハ能カリ見ルモノニテ尾ヲ見ルモノソノ尾ハ腎脈ノ通ル真中テ陽気ノ宗ナリ依頭ヲ運ラシテ見ユルヨリ息運トニテリ

○鼈甲酸平――是モ補陰ノモノナリ陰気ノ弱ヨリ水カ出来ルト労嗽ニナリ骨蒸ニナルト瘀血ニナリ腫物モナリ心ニ落テ死ニテリ血中ニ熱動スルト崩漏ニテルナリ是ハ上甲ヲ遣フモノニテソレユヘニオモニ肝蔵ニ入ルナリ亀甲ハ下甲ヲ用ユルユヘニ陰下ノ方ニ行クモノソレテ腎ニオモニユクシソレテ鼈ハ肝薬ニテ陰気ヲ増シテ熱ノアツリ結シテ居ルヲ折破リテトルモノシ立ニ虐ヲノ用テアルガ虚モト結ヲ病ニヨキ筈ノニシ腎蔵ニ入ラヌニハ非ズ肝ニ入ルカ主ナリ

○海鰾鮹鹹――是ハ烏賊ノ甲ノコシ又桑鰾鮹ト云方アリテ是ハ力ニキリノ巣シソレヲヌクカメリテアリテソノ巣ノ形海鰾鮹ニ似タトニコテ桑鰾鮹トニトシ海鰾ハ素問モ用テアリテ血ノ燥キ枯レタヤフナル所ヲ破リテトルモノニ破血除癌経脈オ通シ目腎心疼皆血ヨリ邪アリテ燥タ如クナルヨリナルモノニヨキシ時ニ是

カ水血分利ノ剤トニモノテソレハ如何トナレハ伸景ノ水入於経其血即
成トアルハ水ハ経脈ヘ入リ先天ノ血ニアヤカルト色変レテ血トナルモノナリ
ソノ血ト水トカ入レアワスト水腫ヤホニナルソノ水ト血トヲ仕ワケヲツケテ
水ハ水典血ニスルカ分利トニモノナリ

○桑上寄生――ヤトリ木シ桑ノ木ノ上ニ生ズ寄生ヲヨリ
是ハ諸説アレモ外ノモノニ非ス矢張桑ノ木ノ性ノ溢レテ生スルモノシ
丹渓ノ鳥カ木ノ実ヲクワヘテソレヲ消スルテソノ生スルモノトヲハ非シ桑
ノ木ノ溢レテナルモノユヘニ深山海浜ノ葉ハヨクアルナレモ餘リ奏ヲトルト
幸フナ木ニハ出来ヌトシ是ヲソフアルツキーデ奏ヲトルモノハ葉ヲ取リ枝
ヲソウケテ寄生ヲ生ズル祖ノ気ハヨイユヘシ是ハ補薬テ肝腎ヲ
旦ニ乗レテ入ル風湿ノ邪ヲトルモノシユヘニ此ノ腰痛風湿腰痛トテ
モツカトハ用ヘラレヌ肝腎ノ虚ニ乗レテ入ル風湿ノ邪ノ腰痛サスルモ
ノナラハ左ヨリキクモノシ下焦肝腎ノネヲ固テ胎動スルヲ安スルシ
血分ニ弱ミカアルト崩ニモナル腫物ニモナル此ノ寄生ニ普敷スルトヲ程ニモ
アラザレ風気ヲ払ヒ用ユルト普敷スル効アリ是ト似利水ノアルハ
草ヲ解ナリソコテ同シノ筋骨ノ弱ミノアルヲ補フモノナレ共普スル意
ノアルハ寄生ナリ利水ノ切アルハ草ヲ解ナリ

○火麻味甘――大腸ノ虚ノ燥ヲ潤シテ艸スモノナリ下乳催生
潤腸水水触妙皆何ノ道竅ヲヘテアル所ノ通ヲ触スルモノシ潤
腸通綾ハ世人ノ知ル所ナレモ小水触行トヲコハ知ラヌモノ是ハ大腸ヘ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

斗リ入ルモノニアラズ小腸（モ入ルモノ何レ大小腸（入リテ通利オ
触スルモノ行ル小大腸ヒ此ノ二ツカ乾リト胸中ニ於カタメルナリ此ノ
大小腸ハ津液ノ主ル所テ此カ乾リト胸ニ熱カタメルソ大小腸ヲウル
ヲシテルニ胸中ノ熱ヲサケテ肺ニ於テ肺ヲヤトルトニヨリテモアルナリ是ハ本
經上品ノモノヒ
○豆根一一 切ノ狀キモノテ毒ソキヒシフヤブルモノヒ咽痛
テ濕ヒソ上（逆スルト咽痛スルヒソ濕痛ノ甚シキヲヤトルトニヨリ見
セン考ニ蛇虫キスニヨリ付テヨ（トニヨリ蛇虫ノ濕ヒノ悪気テモ
逆取ル程ノモノトニテヒ病ハ咽喉病狂ナルモノヒモ飲食ノ
通スル所ニ（ニ是ハ常ニ畜テ急用ニ備テ可ナリソリハ濕ヒ

癌ヲ去ニ（ニ非ノ生スルヨリ

ノ咽ノ方ヘ逆スルヲ治スルモノテ切ノセハキモノヒ
○益母草甘一一 是ハ産前後ニ必用ノ菜テ母ヲ益ス伝
ニテ益母トヨヒシソレ位ノモノテ女科ノ主菜ヒ産後胎前ニモ餘リ
博ク屑ヤフナレモ能ニテアルヒ是カヨキ筈テ先ツ菜ハ行血アリ調勞
リ種ニアルヒ行血トハ無血ヲ指フテニ非スアル血ノ滞リ運ラヌヲ行ラヌ（調
血トハ補フテヒソコテ此ノ益母ハ行血ニ有調血ヒソコラ滞リ留リテ居ル
血無運行ラレ無キ血ハ調（補フ伝モノニ（ニ産ノ前ニモ后ノ虚レタニモ
ヨキヒ是水血分利ノ剤トテ鬼角産后ハ水血ヲチリヤス（モノ彼ノ
水入於經テ水ト血トハ互ニ入レアテ血トニモノニナルモノヒソノ血カ弱
（ト水ト血ト交ルフナラヌヒソノ水ト血トヲ水ハ水無血トシテヤルカ此益母ヒ

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377　ガラス使用

故ニ是ハ産後ニ必用ノ薬ニシ故ニ四物ニ芎母脾胃虚ニ四君ニ芎母ト何レ芎母ヲ多ク加ヘテ用ユ可シ此ノ実ハ芫蔚子ト下ヲ目ニヨク下ル

○紫草苦寒――此根茎葉皆遠フモノ近来薬ニ用ユルコトナルカ多シ色ノ美ヨナルハ紅花蘇木ノ如ク血分ヘ入ルモノニ紫艸モ紫ニ位ニウツクシヤ故ニ血分ヘ入ルモノ血ヲサマスモノニ血分ニ力アルト九竅ノ病ニヨルモノニ鬼角是ハ水血結レヲトルモノニシテ血ノ結レル中ニ水ヲ含テ居ル血ヲヨクトルニ水氷ヲヒヘ血ノ血分ヘシワケテヤルモノニテ利水消腫トニテ下ル症モ血ノ気ノ盛ナル目的ニ用ユルナリ名内ニ水ホノアリテ出ヌホモ権ニ

従テ用テ可ナラン

○紫蔵味酸――ノブゼンカヅラトニモノニノ餘リ用ユヌモノ古方ニハアルモノ血分ノ気ヲホドヘテトルモノ為ニ血ノ気キッキクヤフニナリメルヲ取ルモノニシテ微痰トニヤフナ血塊ホノ類ヲモホドヘテ取ントヒルナリ経ノ不調止痛崩中帯下皆血分ニ気アリテナル症ナリ

○地膚子寒――苦寒ノモノテ苗ニ気ヲヨクスルモノ名ソノ気モ勝光ノ気ヲトルトニテカイデシ是ホ水気分利トテ此地膚子ハソノ場ヘ用ユシ皮膚瘙痒テ是ハ勝光気ト同シテ皮膚ト勝光トハ同シテ皮膚ニ風気ナトカアルト痒ヒヲシ此ニ

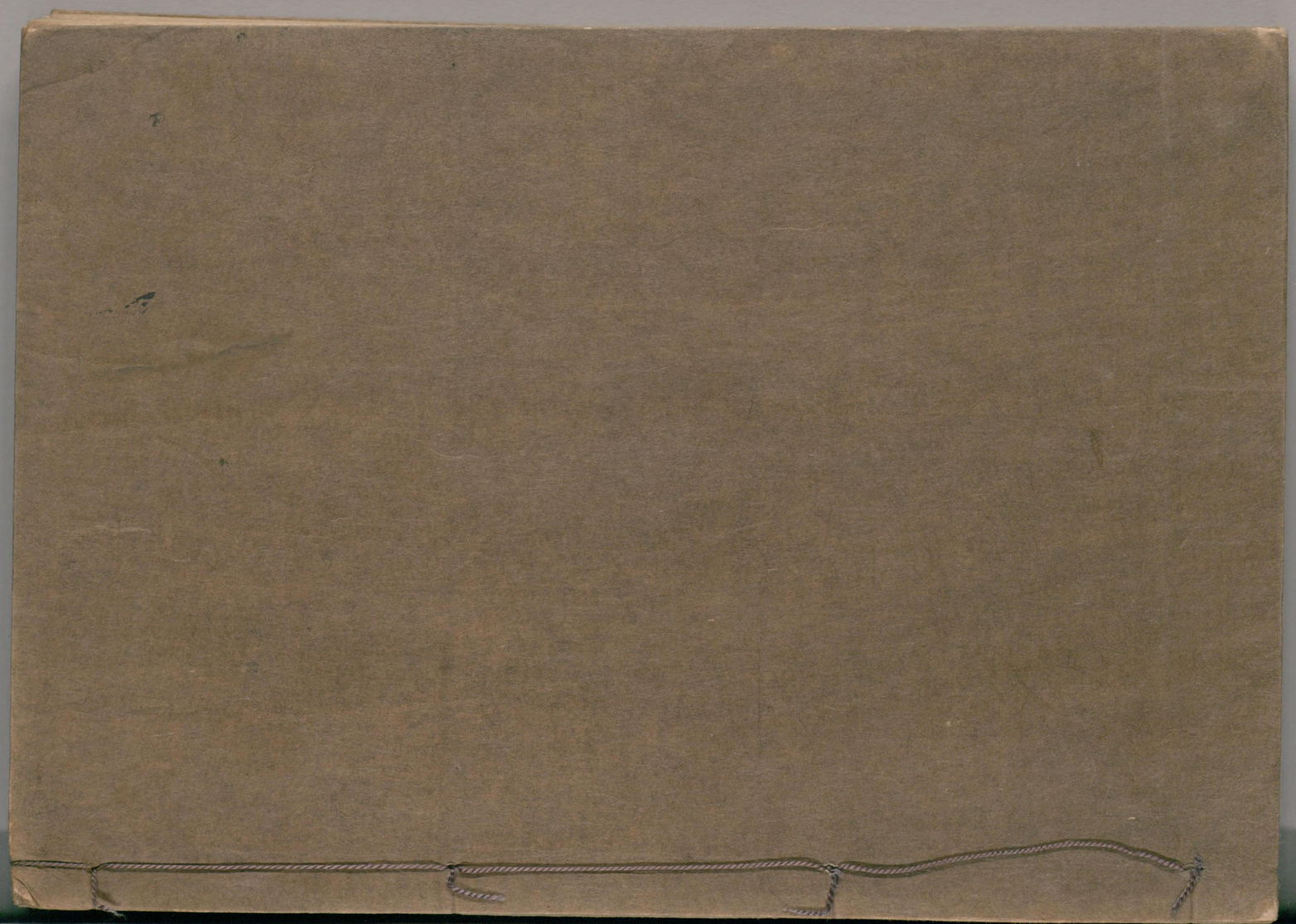
古人ヨリ地膚ハ帚木ヲ自然ト埃ヨハラフモノユヘ皮膚ニアル
ホウキノ帚ヲ掃フヤフニ取ルトニテノアル是ハ花ノナシ此ノ理アル
ヒ是ハ木賊ナトノ意ヲ自然ノ触トニモノヒ是ハ本經ヲハ上品ノ
草ヲアルナセ上品ノ草トニニ此ノ皮膚ノ垢ノ為ニ痒スルモ垢ヌル伝
ハ永ノネ豆ユナリソノ垢ヨトリソノ垢ヨトリテ水ニ扶助スルユヘニ
上品ノ中ニアルナリ

藥性歌兼記卷之壹終

特 1
3377

国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『薬性歌浅井氏筆記 2巻』 請求記号 特1-3377
ガラス使用